

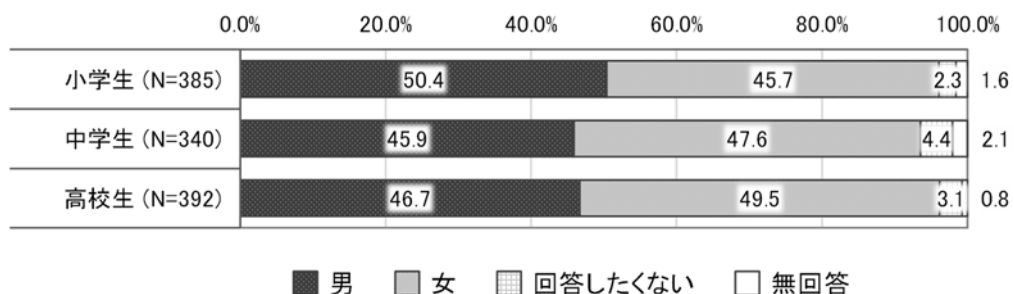
Ⅲ. アンケート集計結果（小学生・中学生・高校生）

1. あなた自身のことについて

小学生・中学生・高校生共通設問

（1）あなたの性別はどちらですか。

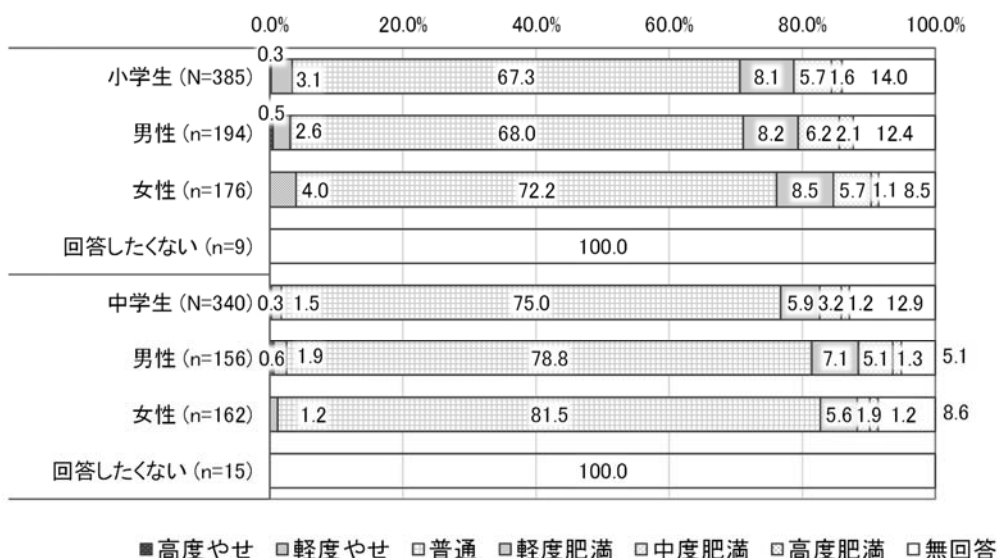
➤ 中学生と高校生では、「女」の割合が若干多いが、同程度となっている。



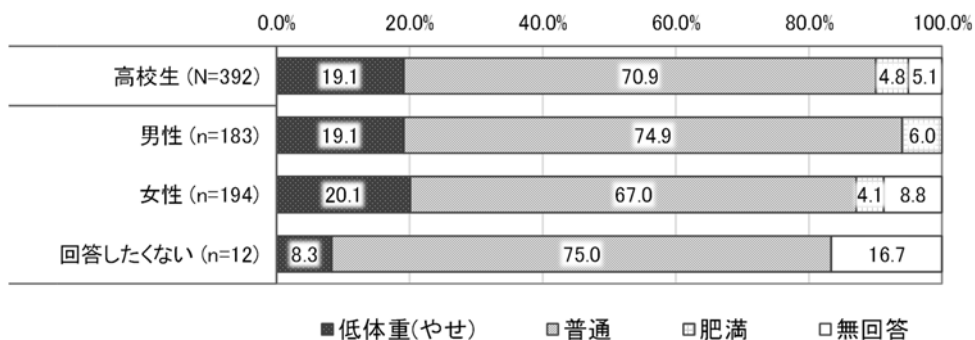
(2) 肥満⁴⁷の傾向 (※身長と体重から算出)

- 全体では「普通」の割合が最も高い。
- 小学生と中学生の性別では、男女ともに肥満傾向の割合が高い。
- 高校生の性別では、男女ともにやせの割合が高い。

《小学生・中学生》



《高校生》



⁴⁷ 小学生と中学生の肥満度は、年齢別、身長別標準体重（学校保健統計調査方式による区分）から判定。高校生は、BMI から判定。

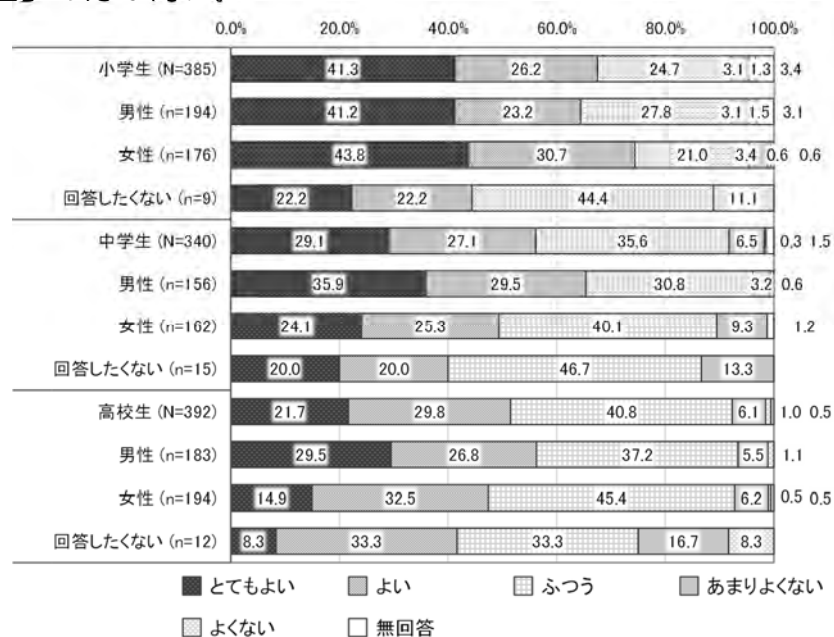
式：小学生肥満度

$$= (\text{体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}) \div (\text{身長別標準体重 (kg)}) \times 100 (\%)$$

判定基準	指数	-30%以下	-30~-20%以下	-20~+20%未満	20~30%未満	30~50%未満	50%以上
	判定		高度やせ	軽度やせ	普通	軽度肥満	中等度肥満

(3) あなたの現在の健康状態を次の中から選んでください。

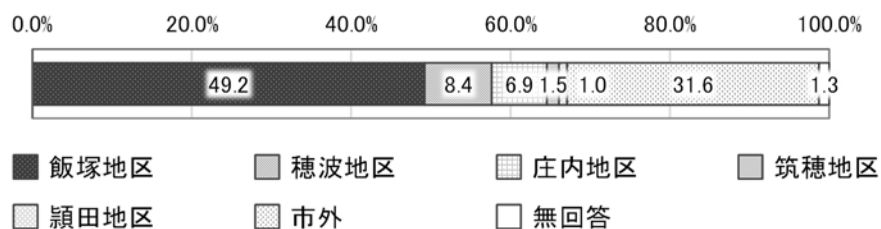
- 全体で見ると、「とてもよい」は小学生が最も高く、中学生・高校生にかけて低くなっている。
- 小学生では、「とてもよい」が41.3%と最も高く、性別に大きな差異はみられない。
- 中学生では、「ふつう」が35.6%と最も高く、性別では「とてもよい」割合は「男性」の方が高い。
- 高校生では、「ふつう」が40.8%と最も高く、性別では「とてもよい」割合は「男性」の方が高い。



高校生のみの設問

(1) あなたがお住まいの地区はどこですか。

- 「飯塚校区」が49.2%と最も高く、次いで、「市外」(31.6%)、「穂波地区」(8.4%)となっている。

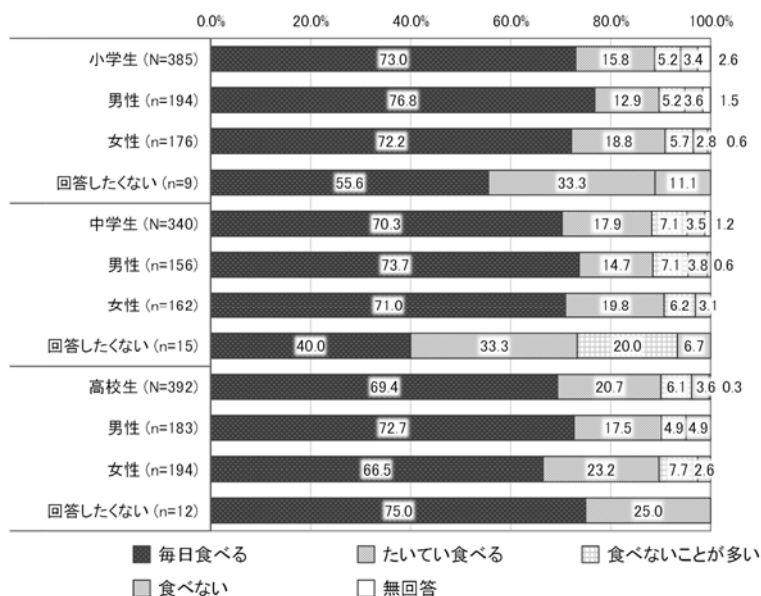


2. あなたの食生活や食事の考え方について

小学生・中学生・高校生共通設問

(1) あなたは、朝ごはんを食べていますか。

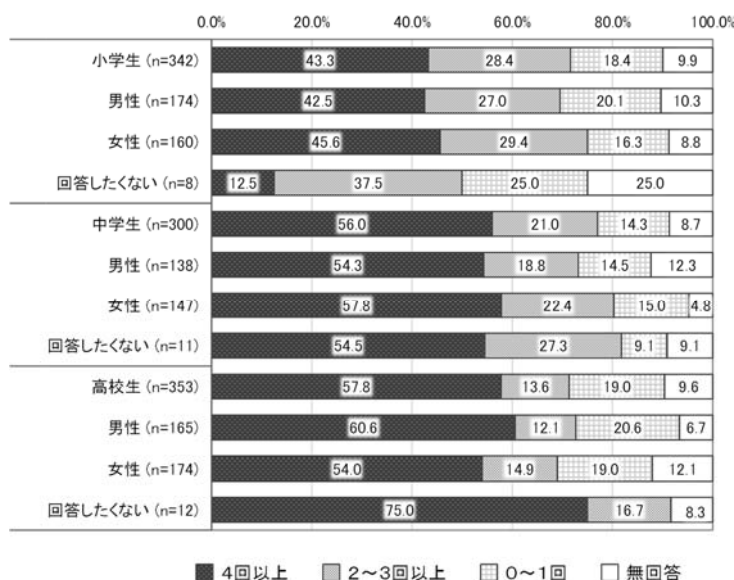
- 全体では、「毎日食べる」が約7割を占める。
- 性別では、「毎日食べる」の割合は「男性」の方が高い。



(1) -1⁴⁸ 次の食べ物や料理は朝ごはんとして1週間に何回くらい食べていますか。

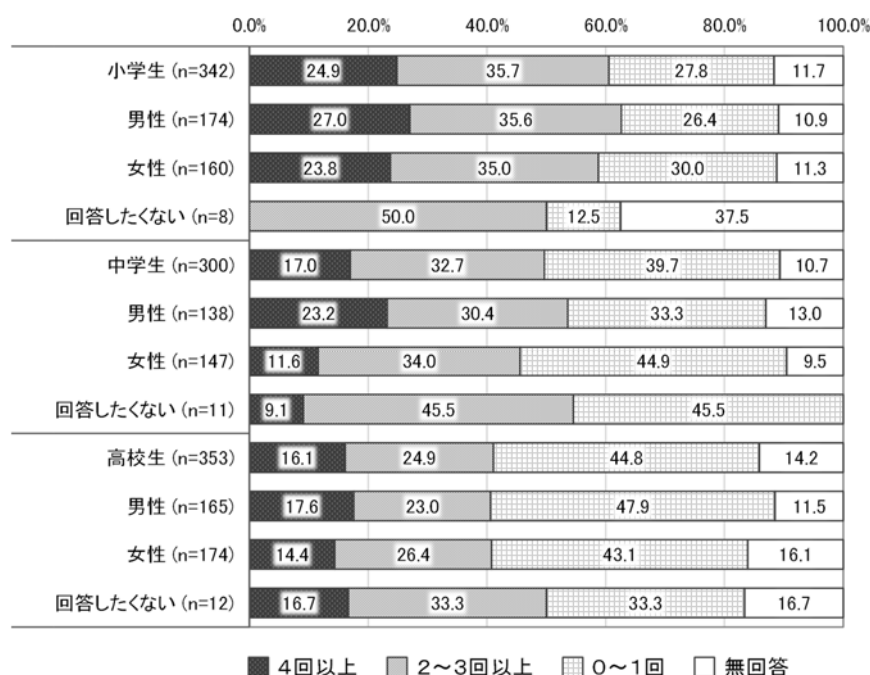
《ア. ごはん・おにぎり》

- 全体では、「4回以上」が小学生では約4割、中学生・高校生では過半数を占めている。
- 中学生の性別では、「0～1回」の割合は「女性」の方が高い。



《イ. パン(甘くないもの)》

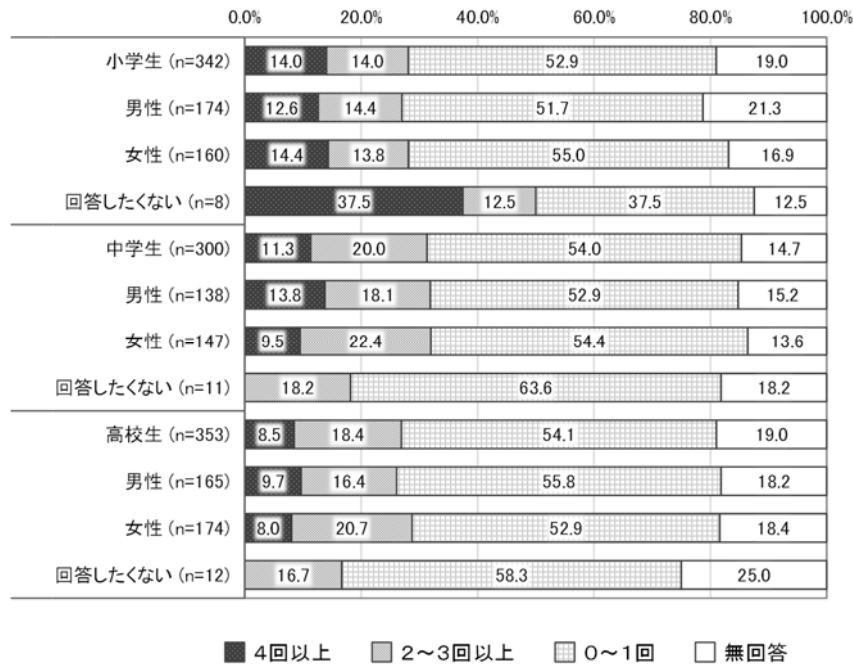
- 全体で見ると、小学生では「2～3回以上」の割合が最も高く、中学生・高校生では「0～1回」の割合が高い。
- 性別では「4回以上」の割合は「男性」の方が高い。



⁴⁸ (1) で「毎日食べる」「たいてい食べる」に○をつけた方のみ回答。

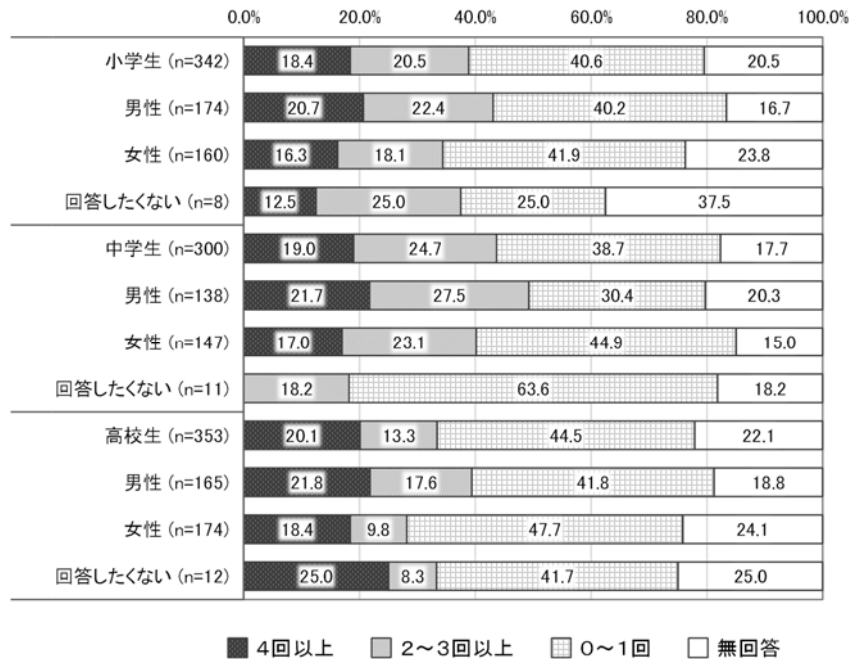
《ウ. 菓子パン》

- 全体では、「0～1回」の割合が最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。



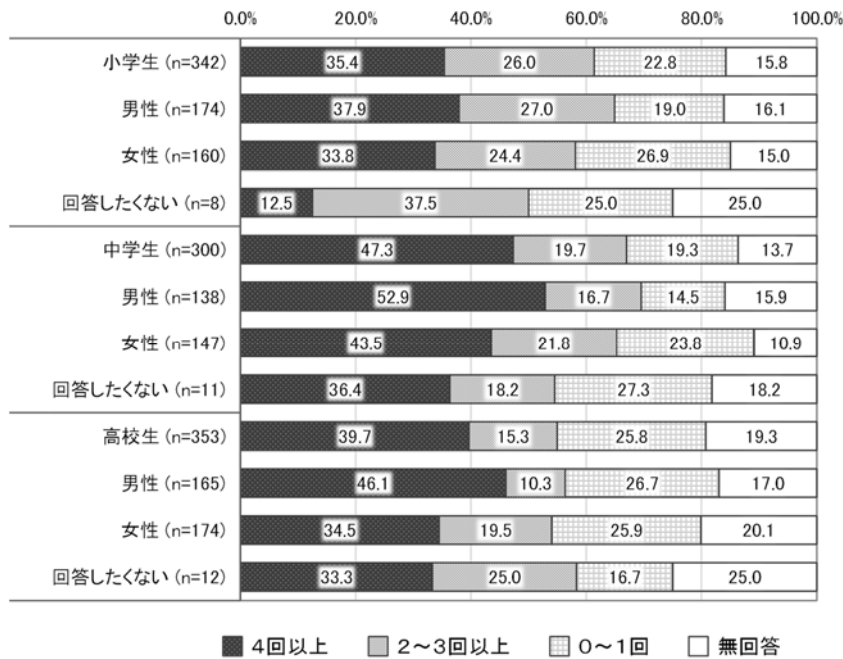
《エ. みそ汁》

- 全体で見ると、「0～1回」の割合が最も高い。
- 性別では、2回以上の割合は「男性」の方が高い。



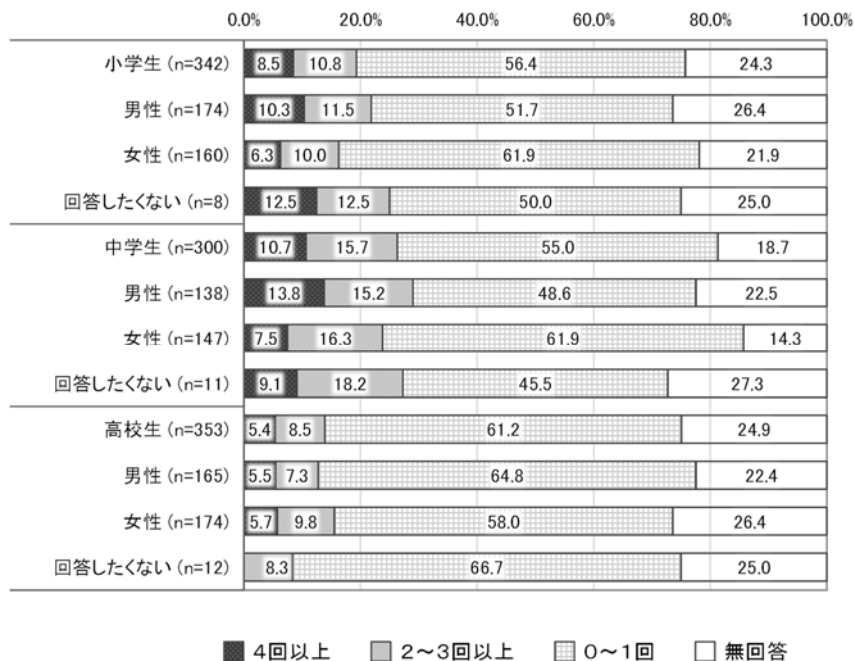
《オ. おかず(卵・納豆・ハム・ウインナー・肉・魚・野菜など)》

- 全体では、「4回以上」の割合が最も高い。
- 食べる頻度は「中学生」が最も高く、「高校生」が低い傾向にある。



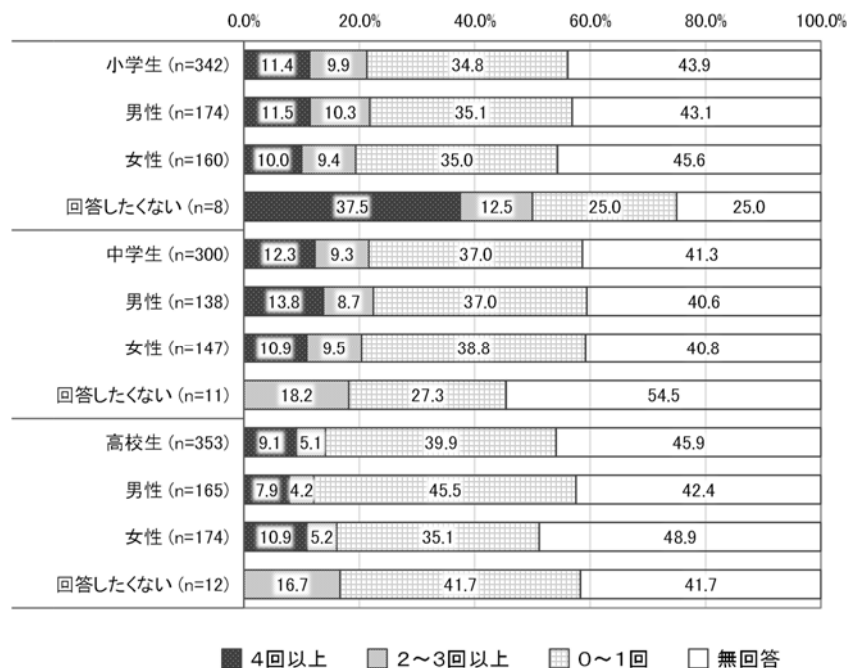
《カ. 菓子やジュース》

- 全体では、「0~1回」の割合が最も高い。
- 性別では、飲食をする頻度は「小学生」と「中学生」は「女性」が高く、「高校生」では男性が高い。



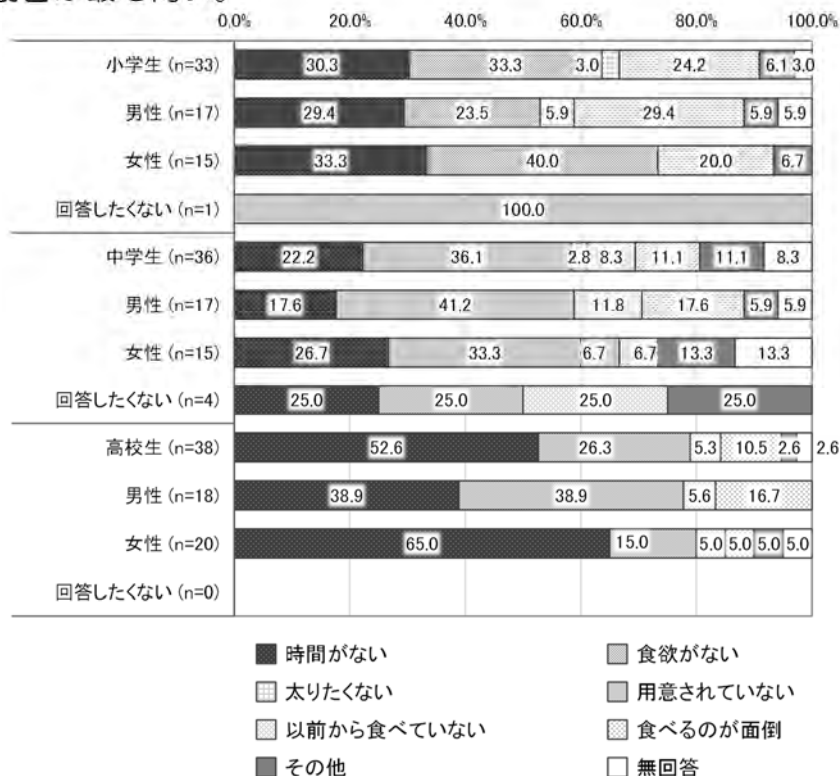
《キ. その他》

- 全体では、「0～1回」の割合が最も高い。



(1) -2⁴⁹ 食べない一番の理由は何ですか。

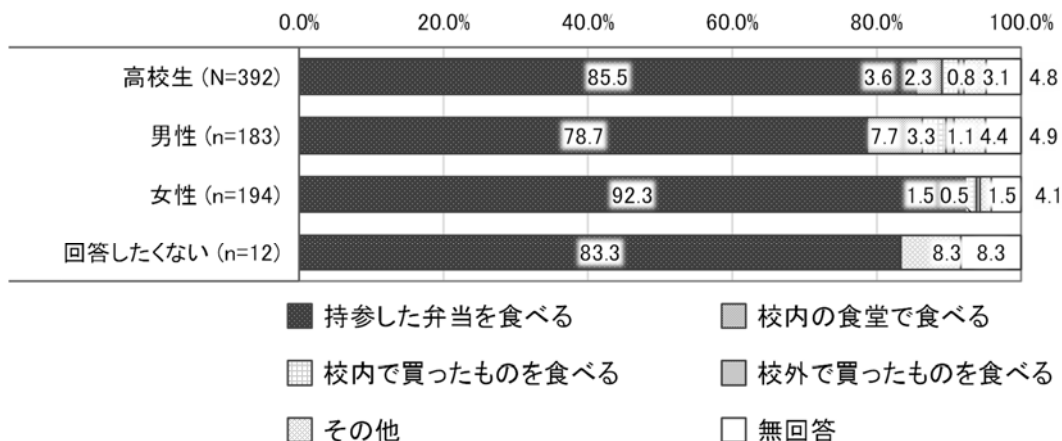
- 全体でみると、「時間がない」割合は高校生で52.6%と最も高く、次いで小学生で30.3%、中学生で22.2%となっている。
- 小学生・中学生では、「食欲がない」割合が最も高く、高校生では「時間がない」割合が最も高い。



⁴⁹ (1) で「食べないことが多い」「食べない」に○をつけた方のみ回答。

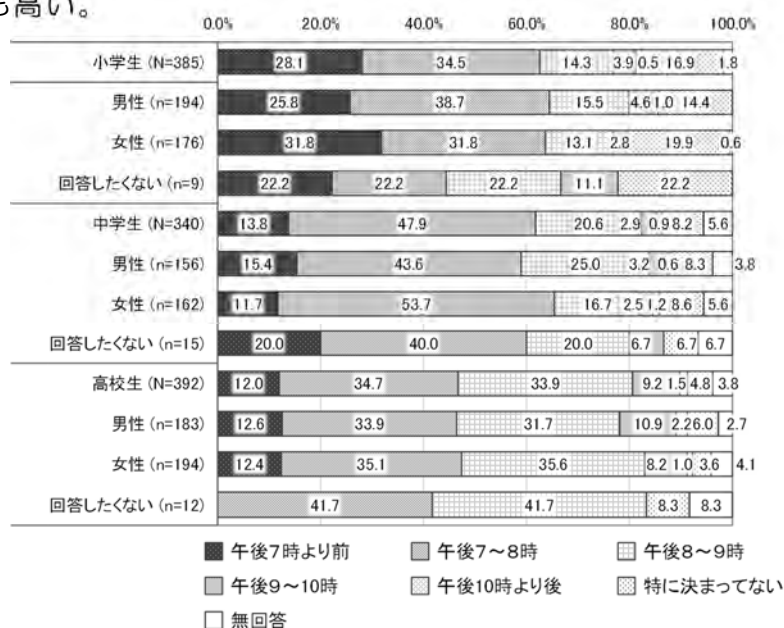
(2) あなたは、平日の昼食をどのようにとることが最も多いですか。

- ▶ 全体では、「持参した弁当を食べる」が85.5%と最も高い。
- ▶ 性別では、「校内の食堂で食べる」割合は「男性」の方が高い。



(3) あなたは、夕食を何時ごろ食べますか。

- ▶ 全体では、「午後7～8時」の割合が最も高い。
- ▶ 「午後7時より前」の割合は小学生が最も高く、午後8時以降の割合は高校生が最も高い。



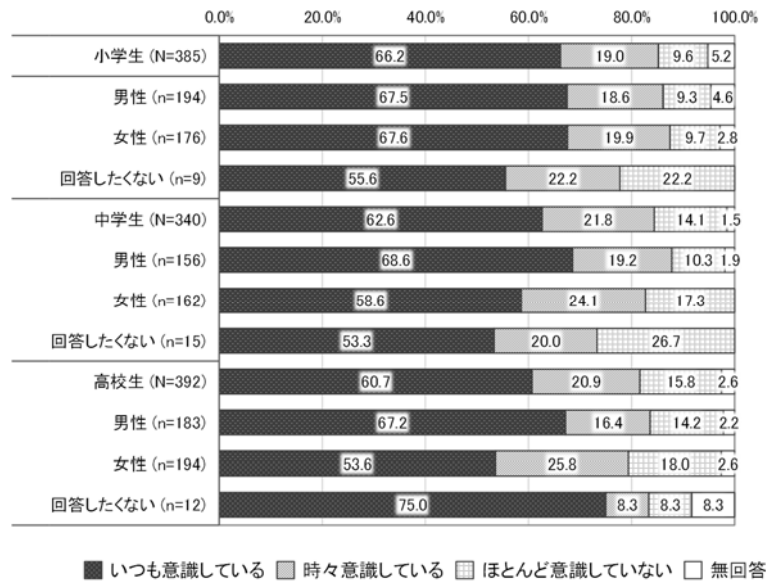
(3) -1⁵⁰ 8時以降になる一番の理由はなんですか。

- 全体では、「クラブ活動（学校外も含む）」の割合が最も高い。
- 「学習塾」の割合は高校生で 13.4%と最も高い。
- 「食事の準備ができていない」割合は、小学生・中学生の方が高校生に比べて高い傾向にある。



(4) あなたは、朝・昼・夕の3食を必ず食べるように意識していますか。

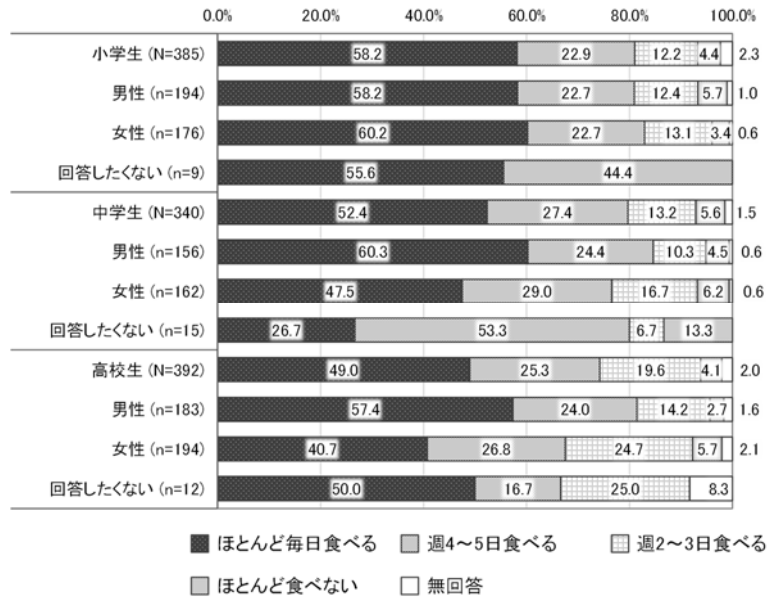
- 全体でみると、「いつも意識している」の割合が最も高い。
- 性別では、「ほとんど意識していない」の割合は「女性」の方が高い。



⁵⁰ (3) で午後8時以降に○をつけた方のみ回答。

(5) あなたは、1日に2回以上「主食・主菜・副菜」をそろえて食べることが週に何日ありますか。

- 全体でみると、「ほとんど毎日食べる」の割合が最も高い。
- 性別では、「週に2～3日食べる」の割合は「女性」の方が高い。

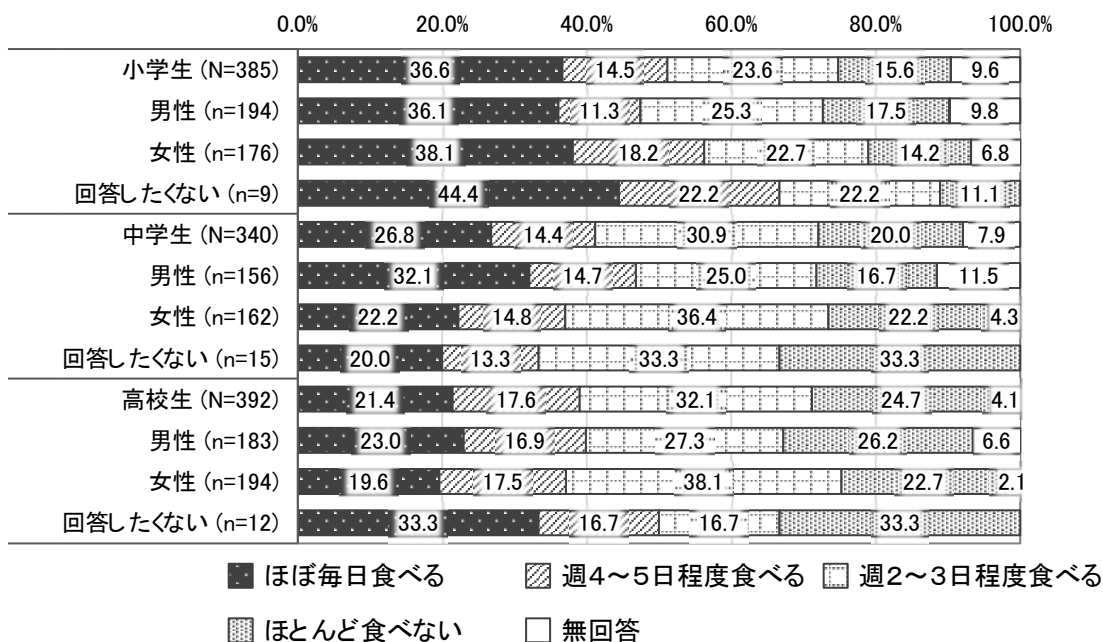


(6) あなたの間食の状況（昼食から夕食までの間、夕食から寝るまでの間について）をお聞きします。

《① あなたは昼食から夕食までの間と夕食から寝るまでの間に何か食べたり飲んだりしますか》

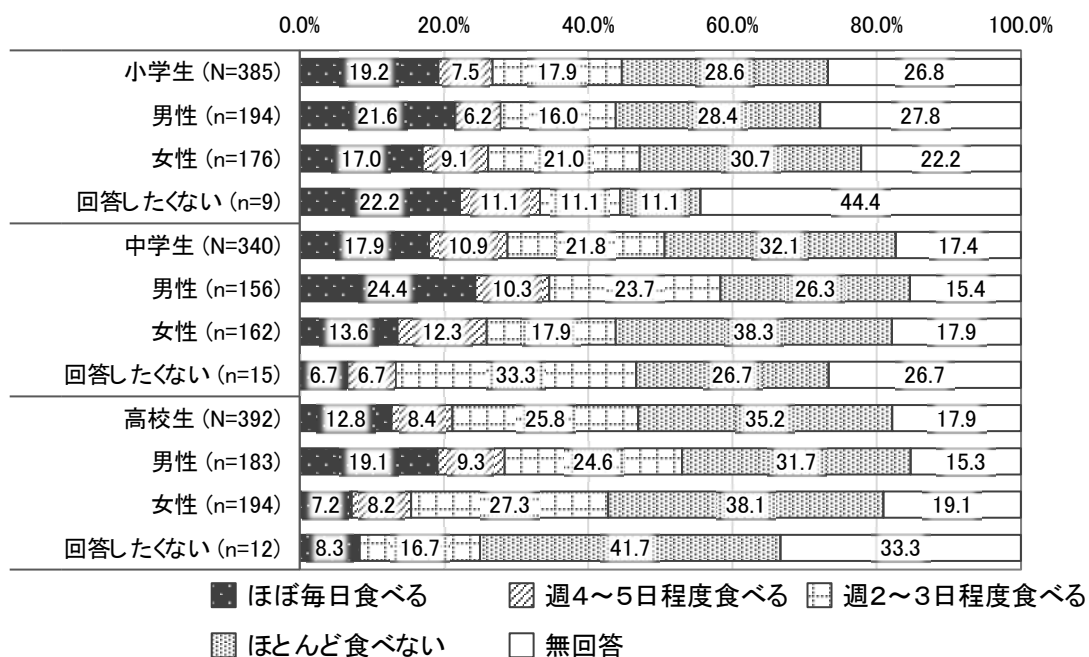
昼食～夕食

- ▶ 全体で見ると、小学生では「ほぼ毎日食べる」割合が36.6%と最も高く、中学生・高校生では「週2～3日程度食べる」割合が最も高い。
- ▶ 中学生の性別では、「ほぼ毎日食べる」割合は「男性」の方が高い。



夕食～寝るまで

- ▶ 全体で見ると、「ほとんど食べない」割合が約3割を占めている。
- ▶ 性別では、週2日以上食べる割合は小学生では「女性」の方が高く、中学生・高校生は「男性」の方が高い。



《②⁵¹ よく食べるものは何ですか》

昼食～夕食

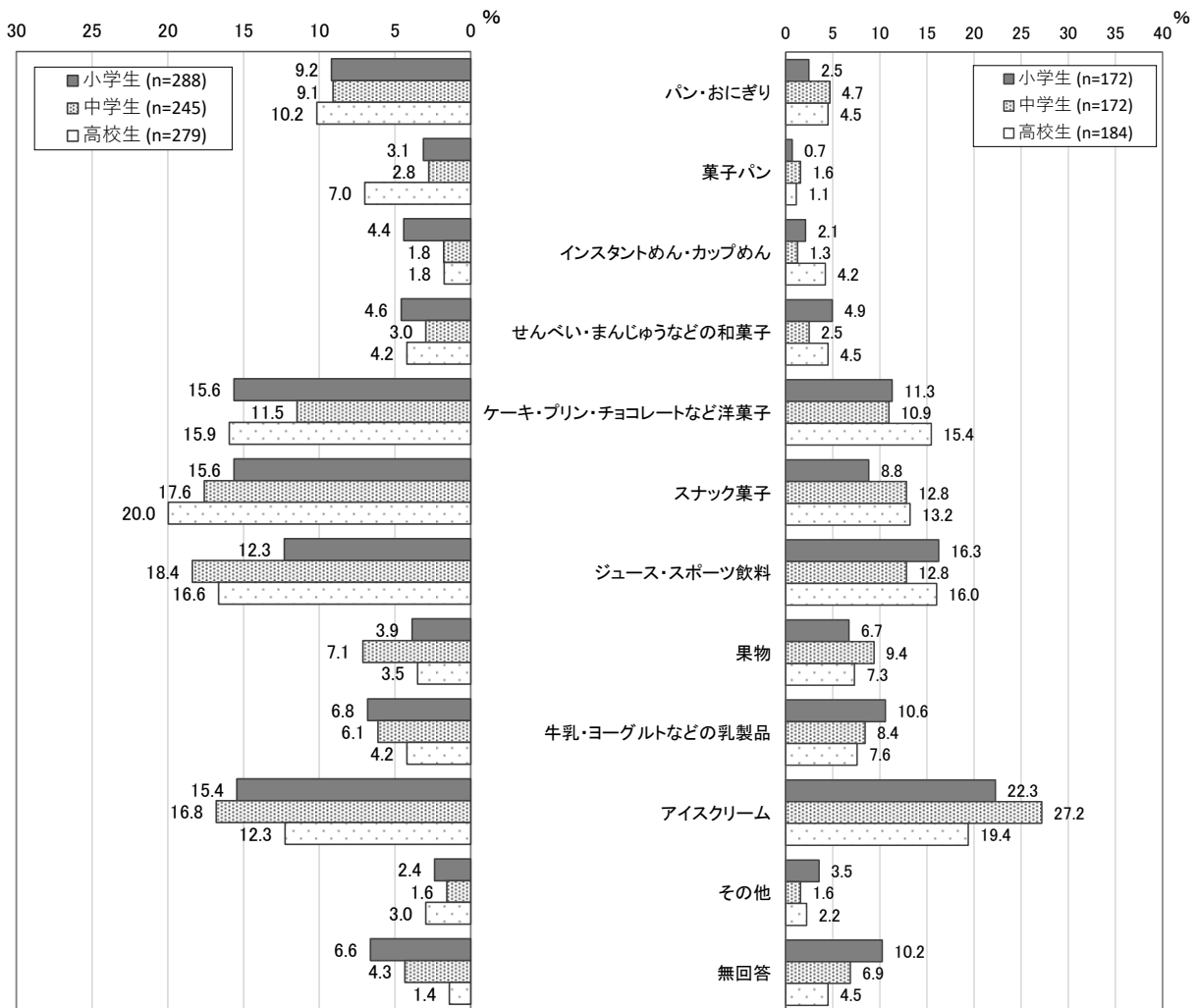
- ▶ 全体で見ると、小学生では「ケーキ・プリン・チョコレートなどの洋菓子」「スナック菓子」の割合が高く、中学生では「ジュース・スポーツ飲料」、高校生では「スナック菓子」の割合が高い。

夕食～寝るまで

- ▶ 全体で見ると、「アイスクリーム」の割合が最も高い。

昼食～夕食

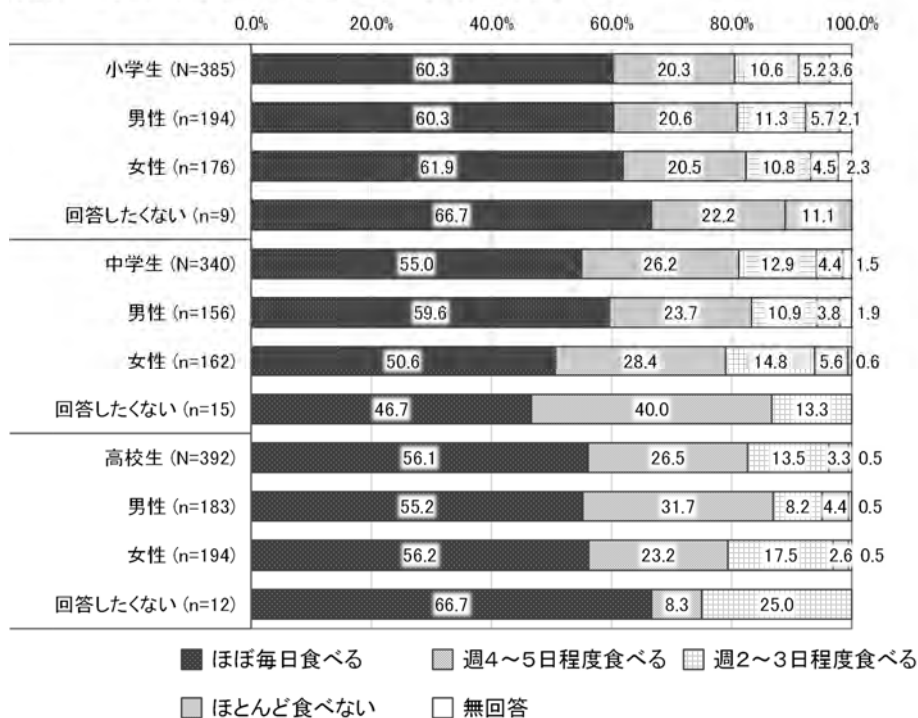
夕食～寝るまで



⁵¹ 前設問①で「ほぼ毎日食べる」「週4～5日程度食べる」「週2～3日程度食べる」を選んだ方のみ回答。

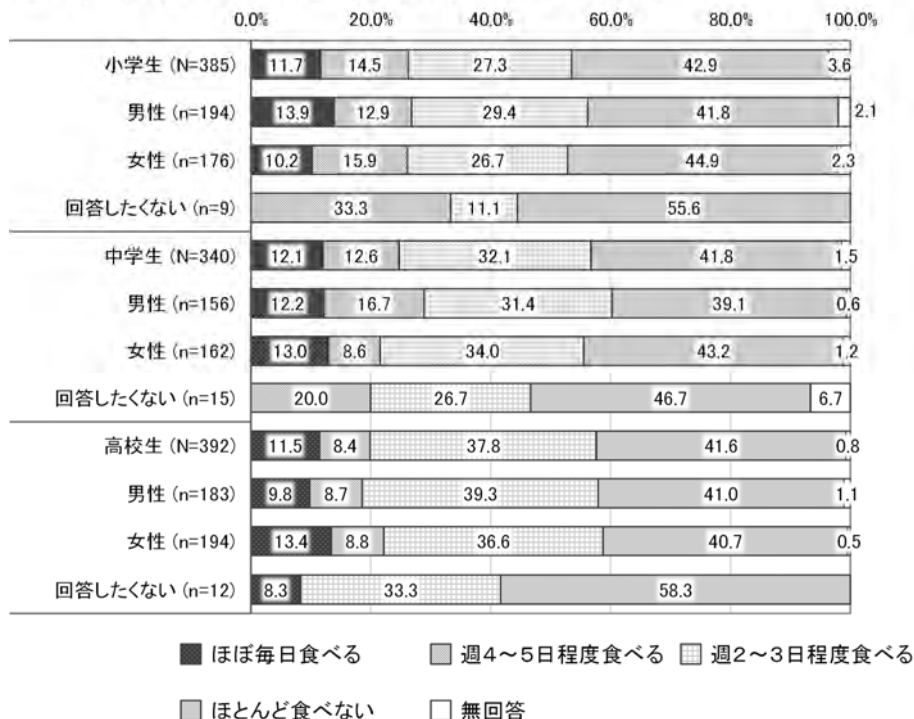
(7) あなたは、家の食事で野菜を毎日食べていますか。

- ▶ 全体で見ると、「ほぼ毎日食べる」が5割以上を占める。
- ▶ 学校別・性別では、大きな差異はみられない。



(8) あなたは、家の食事で果物を毎日食べていますか。

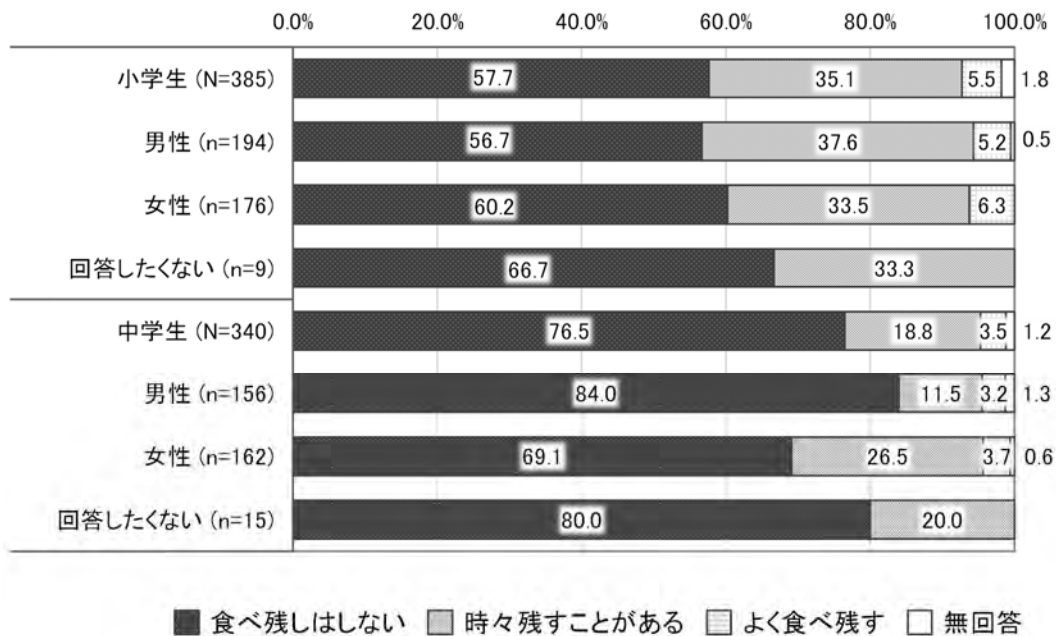
- ▶ 全体で見ると、「ほとんど食べない」割合が最も高い。
- ▶ 性別では、ふだん果物を食べる割合は、小学生・中学生では「男性」の方が高く、高校生ではほとんど差異はみられない。



(9) ⁵² あなたは、食べ残しをすることがありますか。

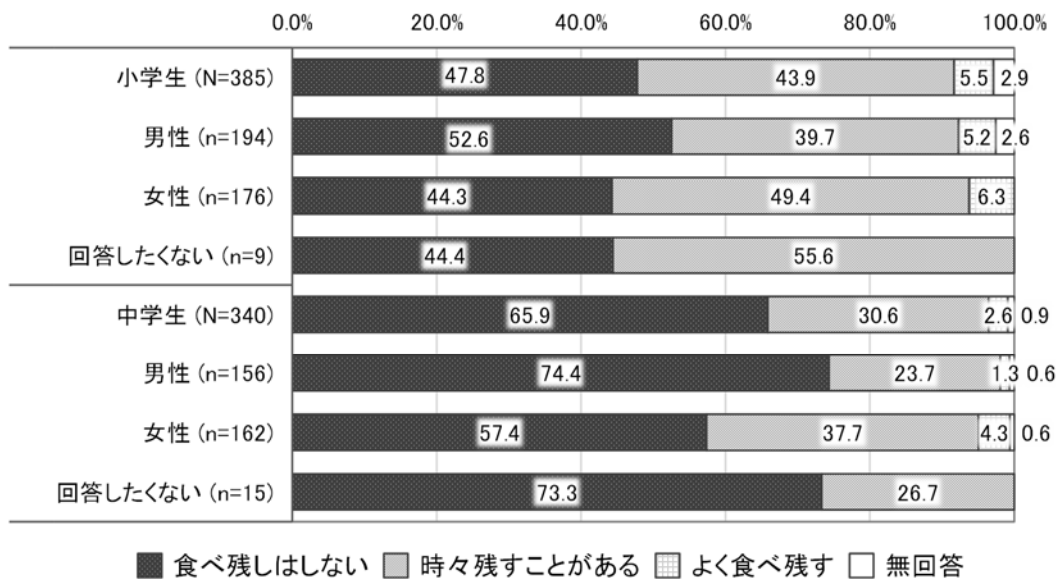
《小学生・中学生① 学校》

- 全体でみると、「食べ残しはしない」が5割以上を占める。
- 性別では、「よく食べ残す」割合は女性の方が高い。



《小学生・中学生② 家庭》

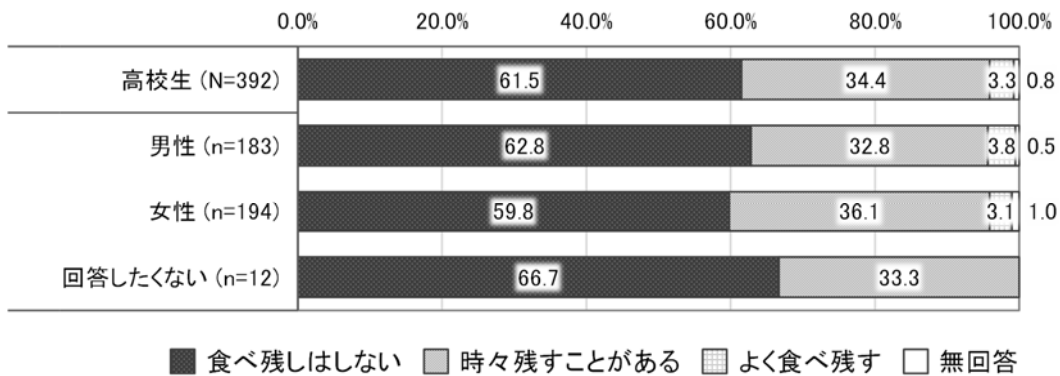
- 全体でみると、「食べ残しはしない」割合が高い。
- 性別では、「時々残すことがある」割合は女性の方が高い。



⁵² 小学生と中学生については、《① 学校》と《② 家庭》の2通りで質問。

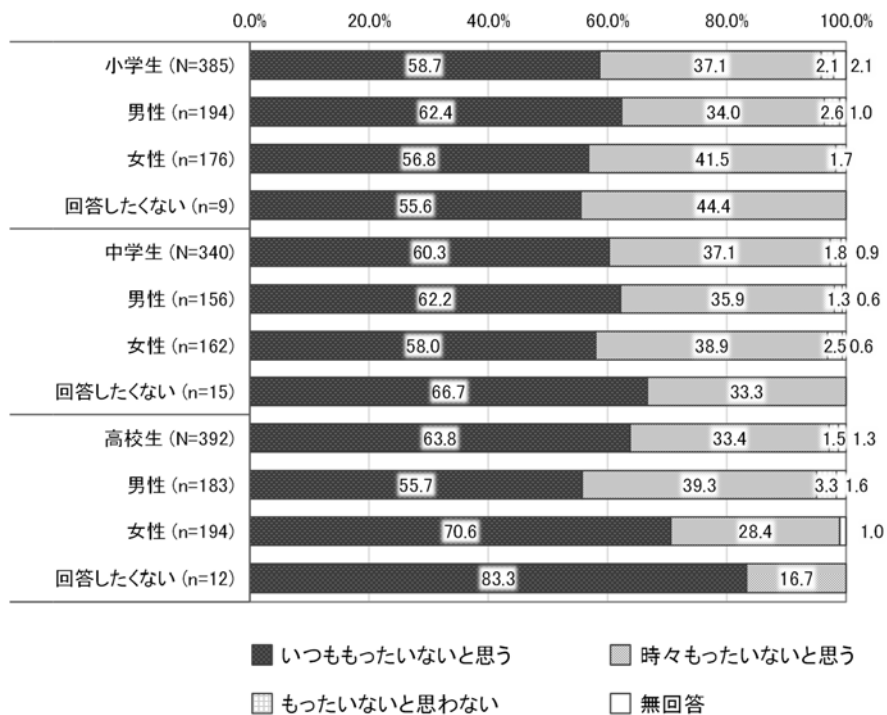
《高校生》

- 全体で見ると、「食べ残しはしない」が6割以上を占める。
- 性別では、大きな差異はみられない。



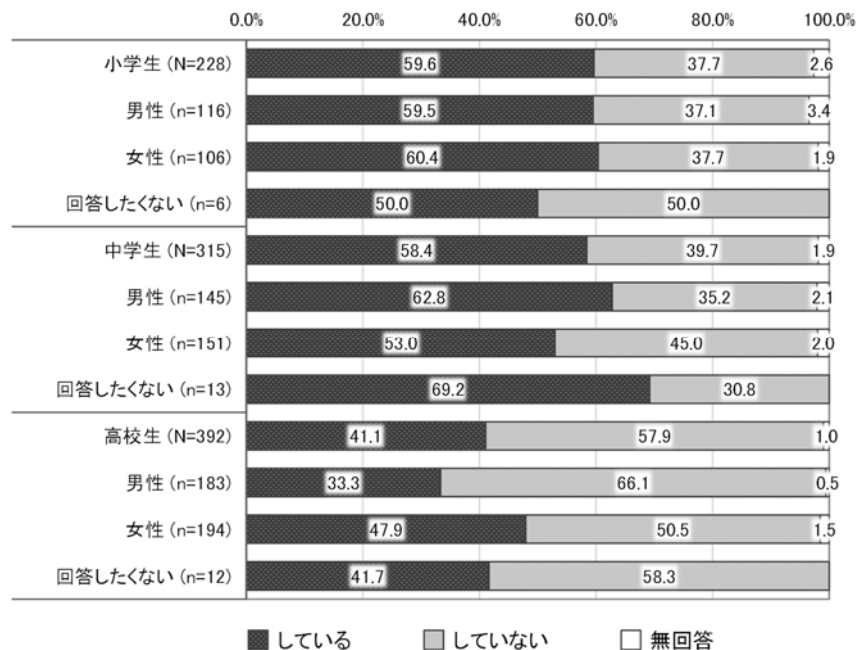
(10) あなたは、食べ残しや食品が捨てられていることに関して、日頃から「もったいない」と感じることがありますか。

- 全体で見ると、「いつももったいないと思う」割合が高い。
- 高校生の性別では、「いつももったいないと思う」割合は女性が7割を占めている。



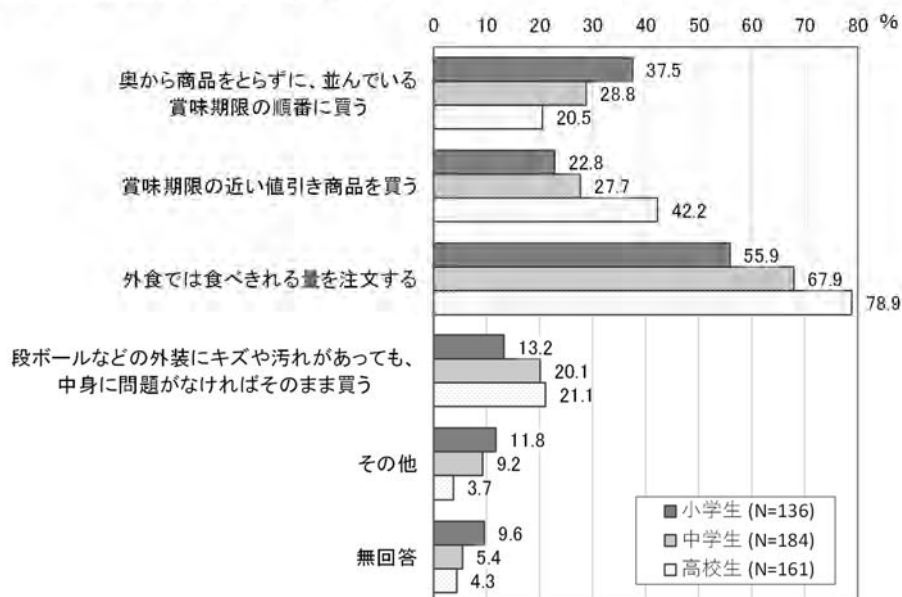
(11) ⁵³ 食品ロス削減のために何かしらの行動をしていますか。

- ▶ 全体でみると、小学生・中学生は「している」割合が最も高く、高校生は「していない」割合が最も高い。
- ▶ 性別にみると、「している」割合は中学生では「男性」が高く、小学生と高校生では「女性」の方が高い。



(12) -1⁵⁴ どのような行動をしていますか。

- ▶ 全体でみると「外食では食べきれる量を注文する」割合が最も高く、「段ボールなどの外装にキズや汚れがあっても中身に問題がなければそのまま買う」割合が最も低い傾向にある。

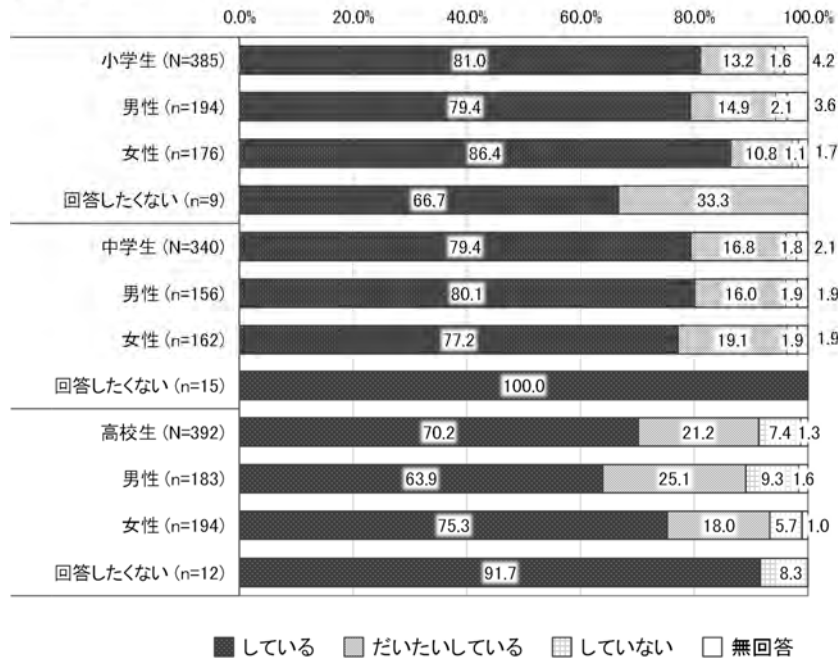


⁵³ 小学生と中学生については、食品ロスについての設問に「よく知っている」「だいたい知っている」に○をつけた方のみ回答。

⁵⁴ (10) で「している」に○をつけた方のみ回答。

(13) あなたは、食事のときに「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。

- 全体でみると、「している」割合は、小学生では81.0%、中学生では79.4%、高校生では70.2%とだんだん低くなっている。
- 小学生・高校生の性別では、「している」「だいたいしている」割合は「女性」の方が高い。

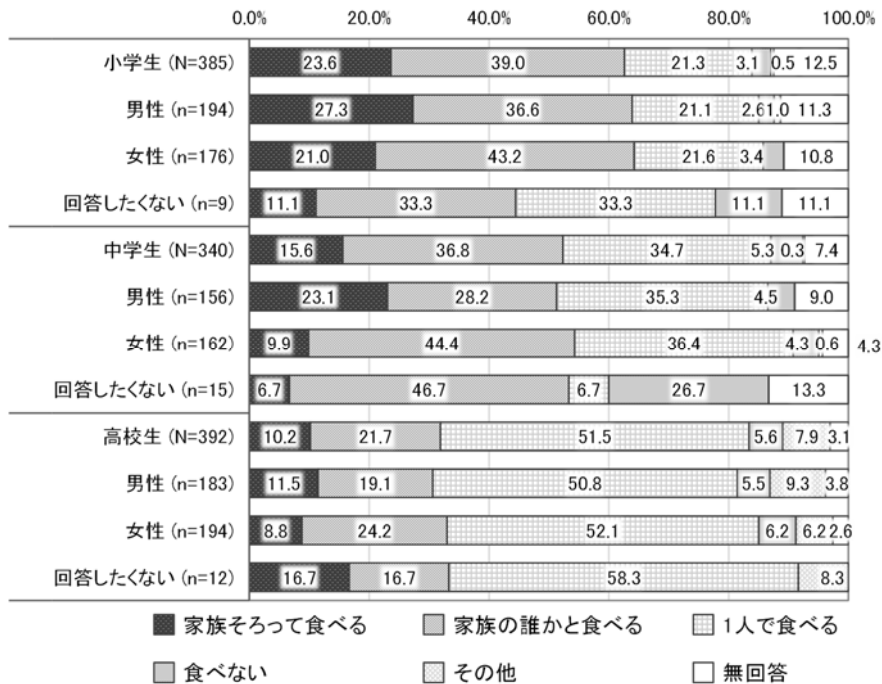


(14) あなたのふだんの食事の状況（朝食・夕食について）をお聞きます。

《① あなたは朝食・夕食の時、ふだん誰と食事をすることが多いですか。》

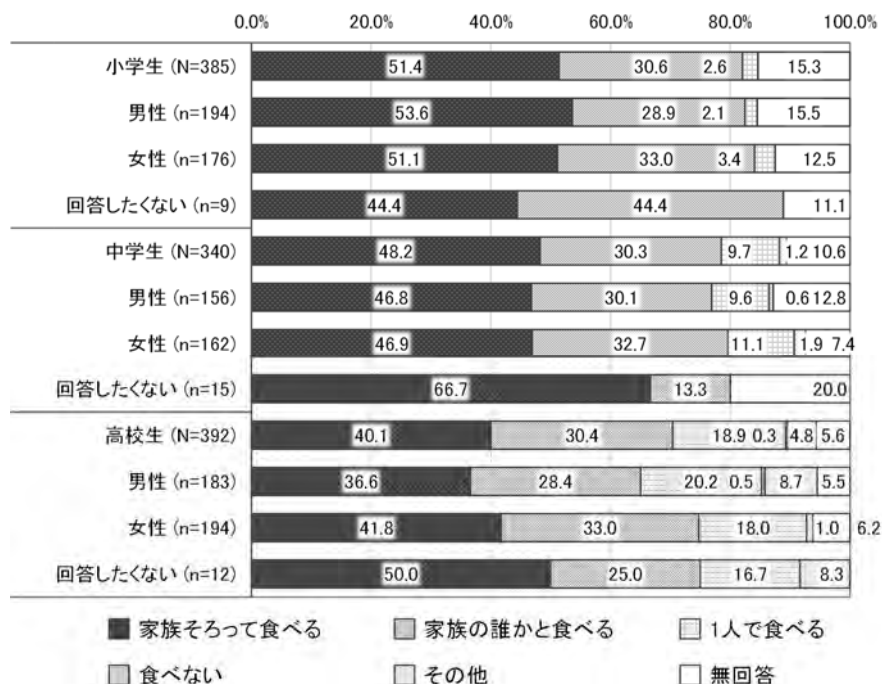
朝食

- ▶ 全体でみると、「家族そろって食べる」「家族の誰かと食べる」割合は小学生が最も高く、中学生から高校生にかけて低くなっている。
- ▶ 高校生では、「一人で食べる」割合は約半数を占めている。



夕食

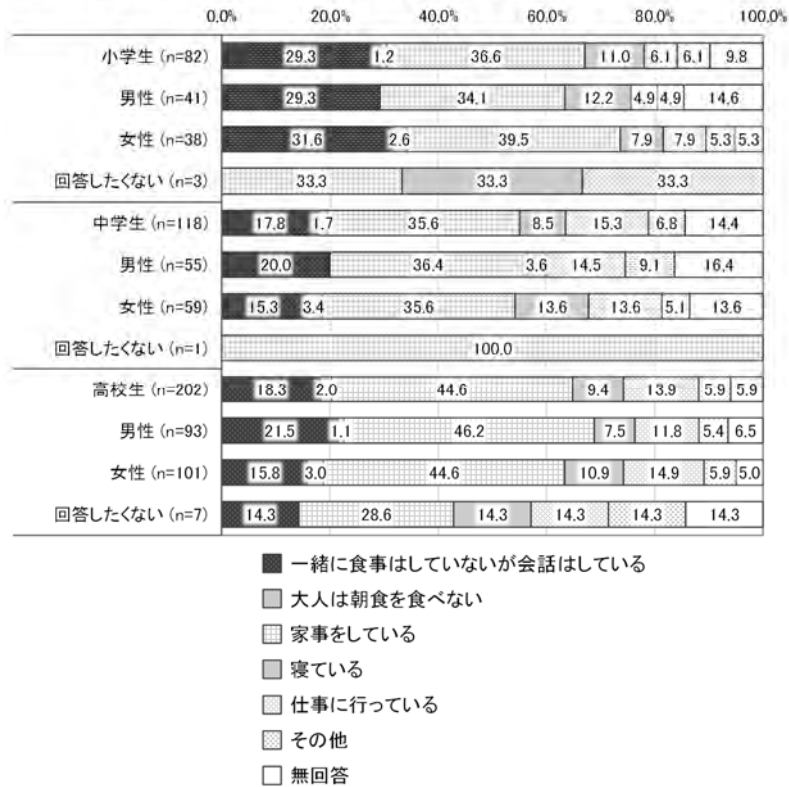
- ▶ 全体でみると、「家族そろって食べる」「家族の誰かと食べる」割合は小学生が最も高く、中学生から高校生にかけて低くなっている。
- ▶ 「一人で食べる」割合は、小学生では 2.6% に対し、高校生では 18.9% と約 7 倍に増えている。



《②⁵⁵ その時大人はどうしていますか。》

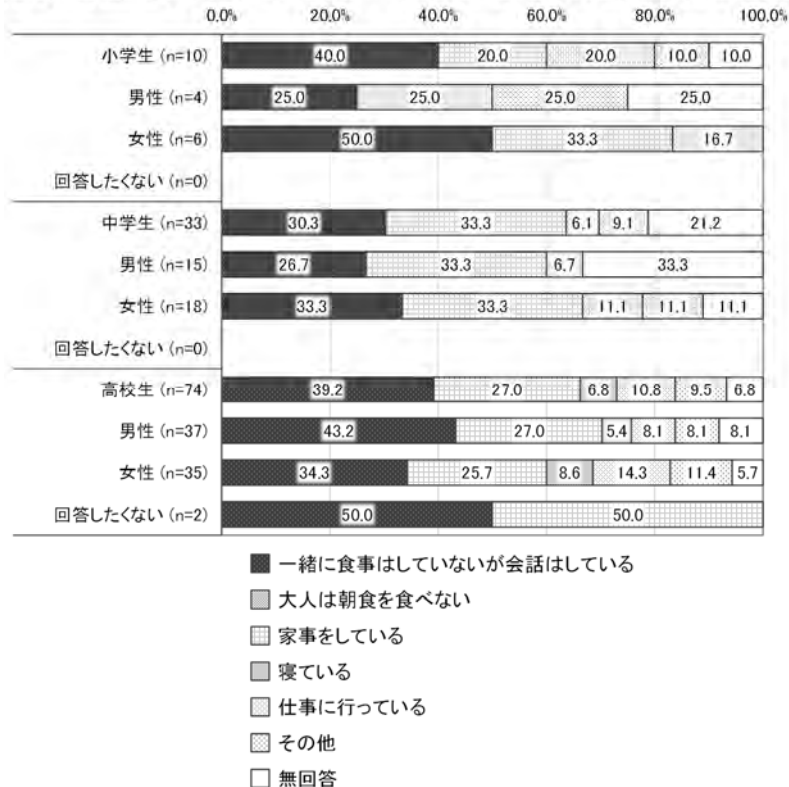
朝食

➤ 全体でみると、「家事をしている」割合が最も高い。



夕食

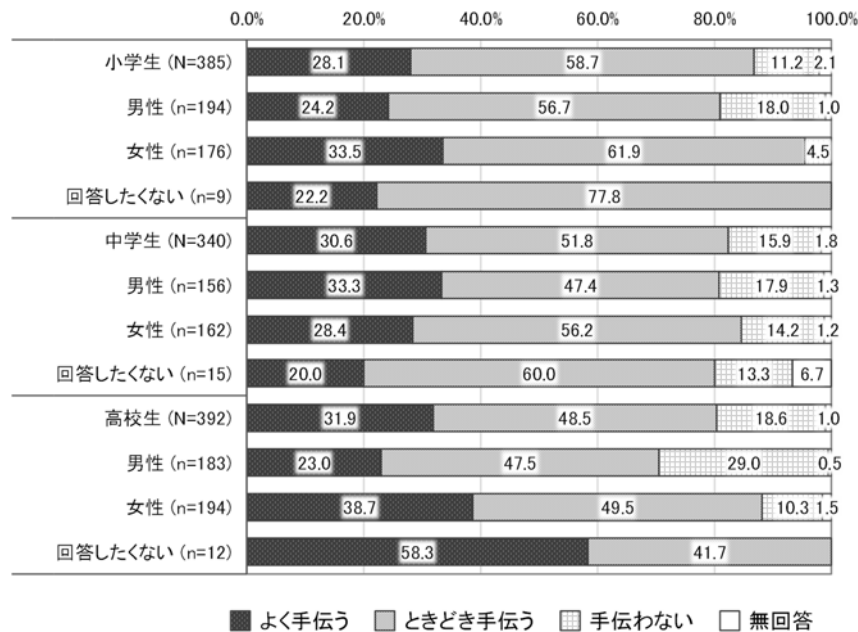
➤ 全体でみると、小学生・高校生は「一緒に食事はしていないが会話はしている」割合が最も高く、中学生では「家事をしている」割合が最も高い。



⁵⁵ 前設問①で「一人で食べる」を選んだ方のみ回答。

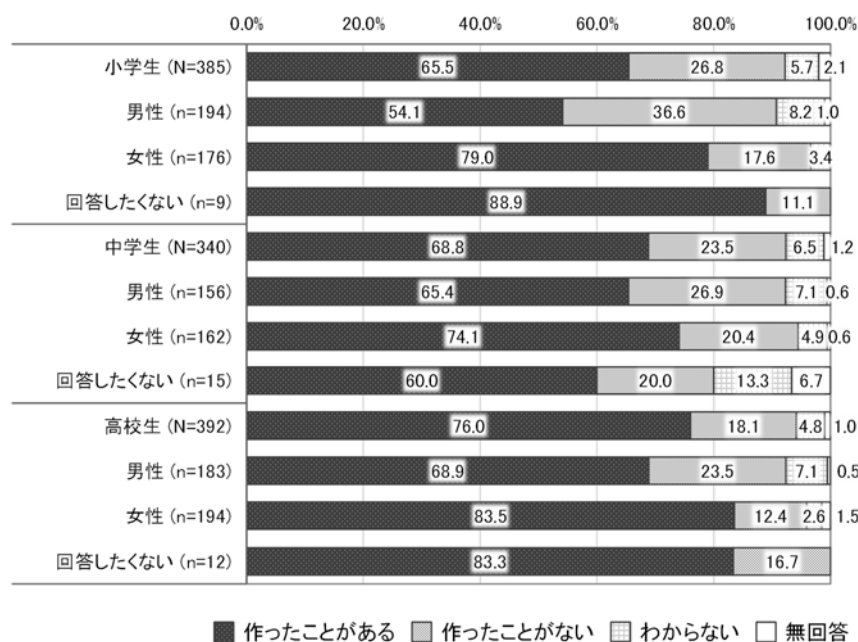
(15) あなたは、「食器をならべる」「一緒に料理をする」など、食事の準備や食事づくりを手伝っていますか。

- ▶ 全体でみると、「よく手伝う」「ときどき手伝う」割合は、小学生で86.8%、中学生で82.4%、高校生で80.4%となっている。
- ▶ 性別では、「手伝わない」割合は「男性」の方が高い。



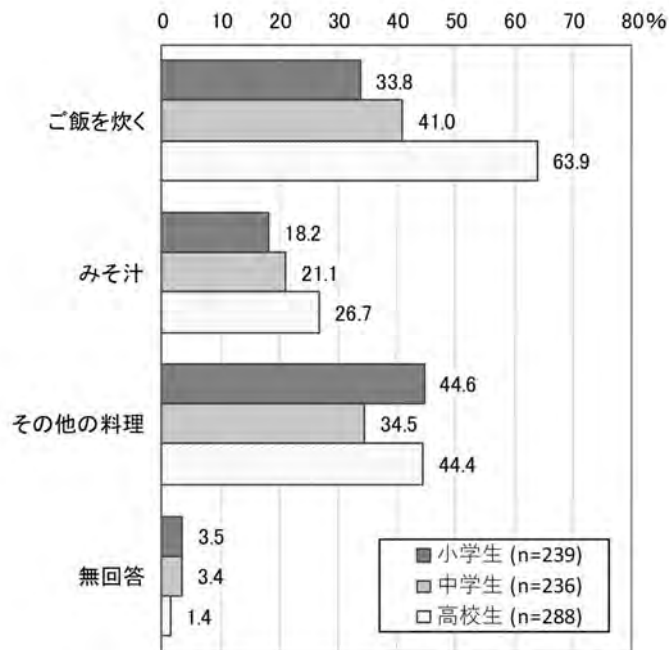
(16) あなたは、自分だけで料理を作ったことがありますか。

- ▶ 全体でみると、「作ったことがある」割合は6割以上を占める。
- ▶ 性別では、「作ったことがない」割合は「男性」の方が高い。

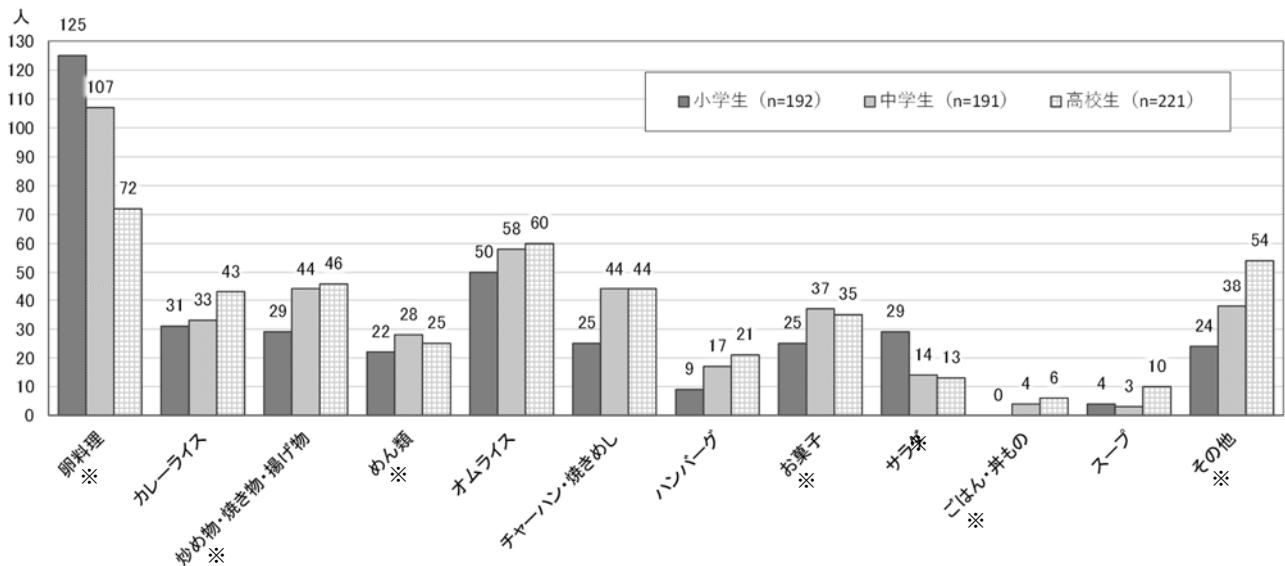


(16) -1⁵⁶ 自分だけで作れる料理は何ですか。

- 全体で見ると、「ごはんを炊く」「みそ汁」の割合は、小学生から高校生にかけて高くなっている。
- その他の料理では、卵料理、オムライス、炒め物・焼き物・揚げ物などの回答があがっている。



《その他の料理の内訳》

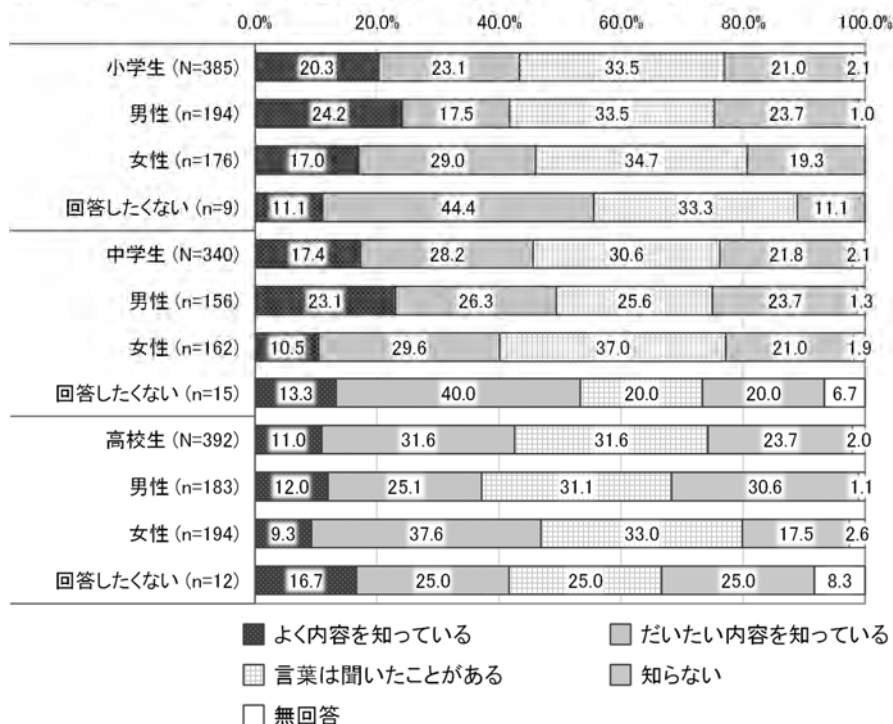


- ※1 卵焼き、目玉焼き、スクランブルエッグ、オムレツ 等
- ※2 野菜炒め、肉料理、からあげ 等
- ※3 インスタントラーメン、パスタ、うどん 等
- ※4 ホットケーキ、プリン、クッキー 等
- ※5 かつ丼、親子丼 等
- ※6 餃子、麻婆豆腐、肉じゃが、ハヤシライス、ドリア、フレンチトースト、おひたし 等

⁵⁶ (16) で「作ったことがある」に○をつけた方のみ回答。

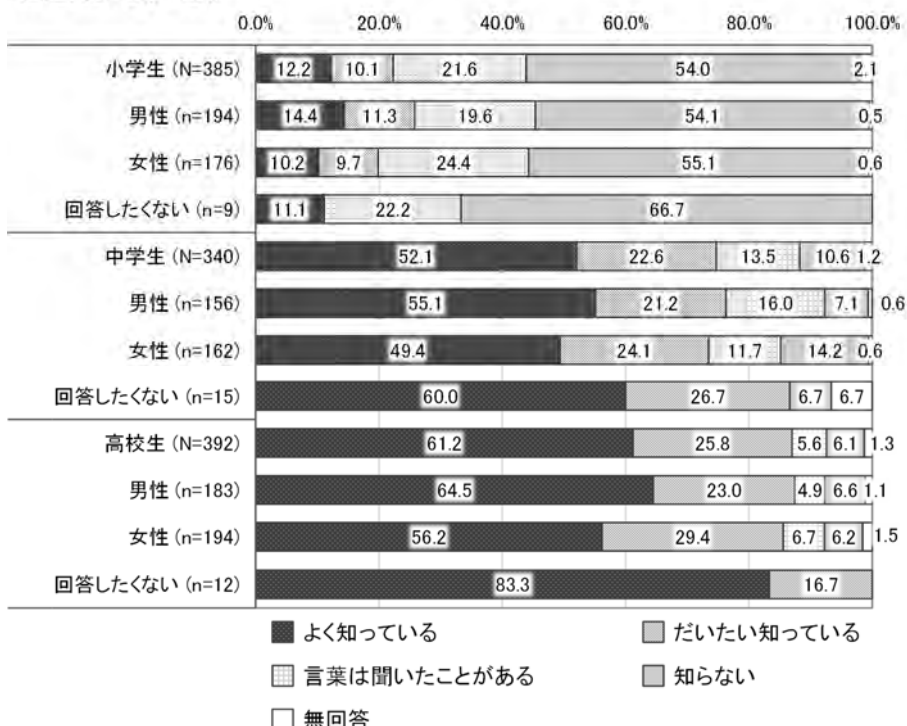
(17) あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。

- ▶ 全体で見ると、「言葉は聞いたことがある」が高い傾向にある。
- ▶ 「よく内容を知っている」割合は、小学生が20.3%と最も高く、次いで中学生が17.4%、高校生が11.0%となっている。
- ▶ 性別では、「知らない」割合は、「男性」の方が高い。



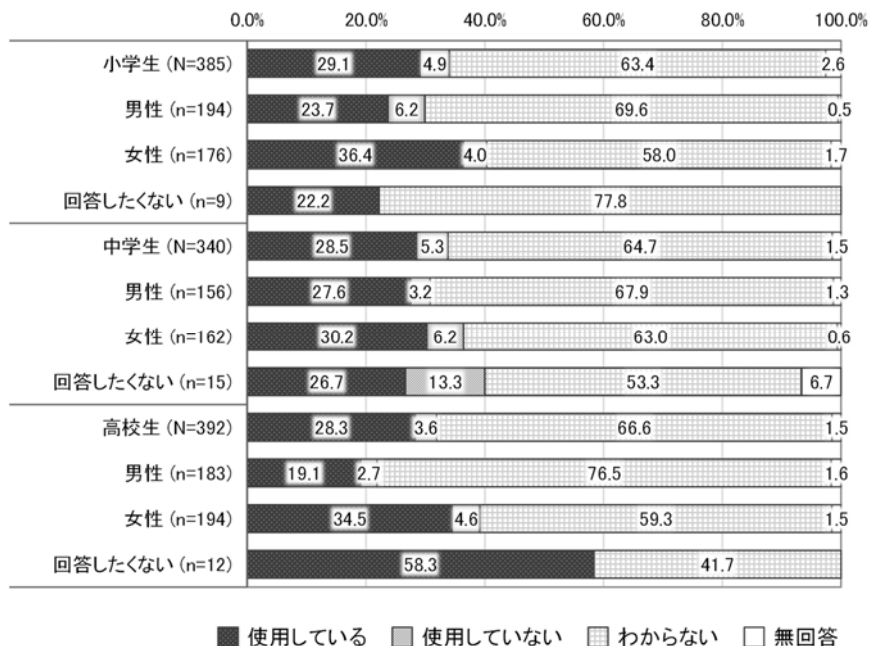
(18) あなたは、「地産地消」という言葉やその意味を知っていましたか。

- ▶ 全体で見ると、小学生では「知らない」割合が54.0%と最も高く、中学生・高校生では「よく内容を知っている」割合が最も高く、全体の5割以上を占めている。



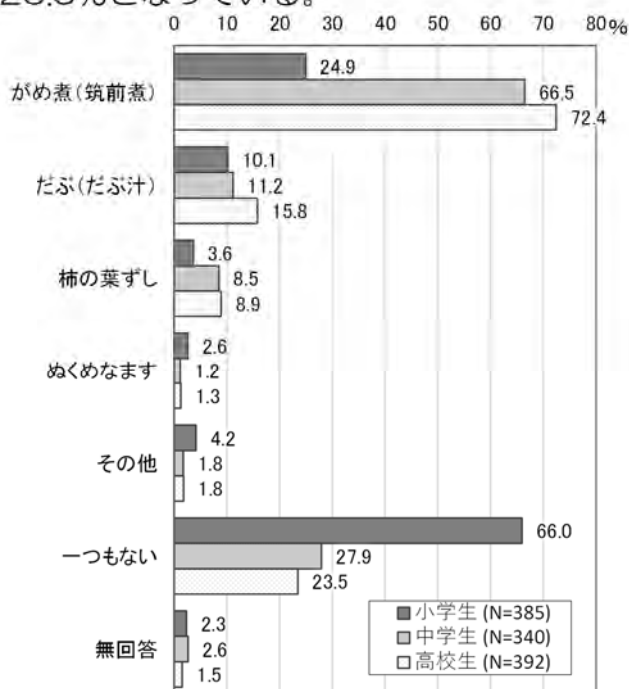
(19) あなたの家庭では、地元でとれた農畜産物を使用していますか。

- ▶ 全体でみると、「わからない」が最も高い。
- ▶ 「使用している」割合は、小学生が29.1%と最も高く、次いで中学生が28.5%、高校生が28.3%となっている。
- ▶ 性別では、「使用している」割合が高いのは「女性」の方で、小学生の「使用していない」割合は「男性」の方が高い。



(20) あなたは、次の地元の郷土料理を知っていますか。

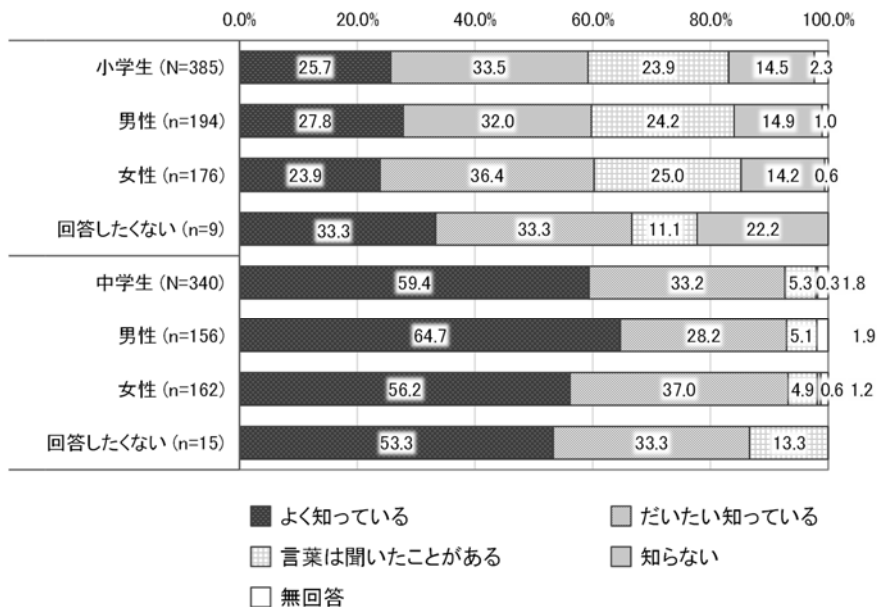
- ▶ 全体でみると、「がめ煮（筑前煮）」の認知度が最も高い。
- ▶ 「一つもない」割合は、小学生が66.0%と最も高く、次いで中学生が27.9%、高校生が23.5%となっている。



小学生・中学生のみ設問

(1) 「食品ロス」という言葉やその意味を知っていますか。

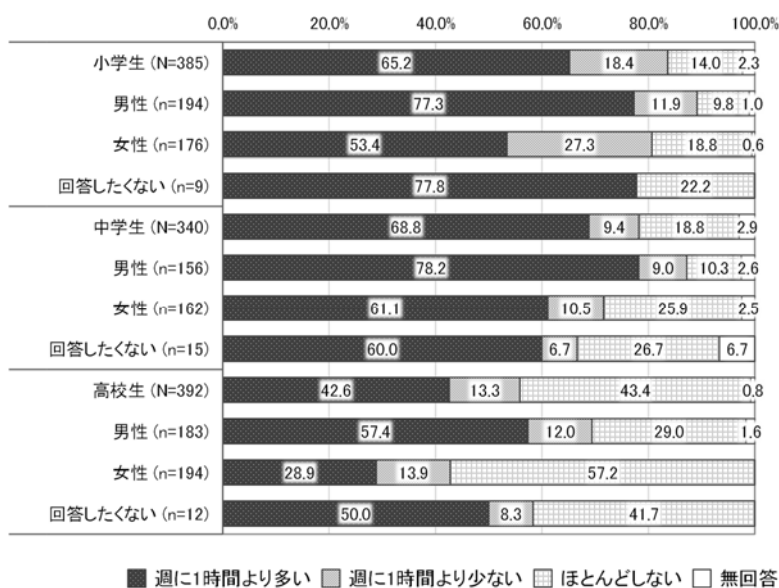
- 全体で見ると、小学生では「だいたい知っている」割合が33.5%と最も高く、中学生では「よく知っている」割合が59.4%で最も高い。
- 性別では、「よく知っている」割合は「男性」の方が高い。



3. あなたの運動習慣・身体活動について

(1) あなたは、昼休みや放課後に、なわとび、おにごっこ、ドッジボールなどの体を使った遊びやスポーツ（野球・サッカー・テニスなど）などの運動をしていますか。

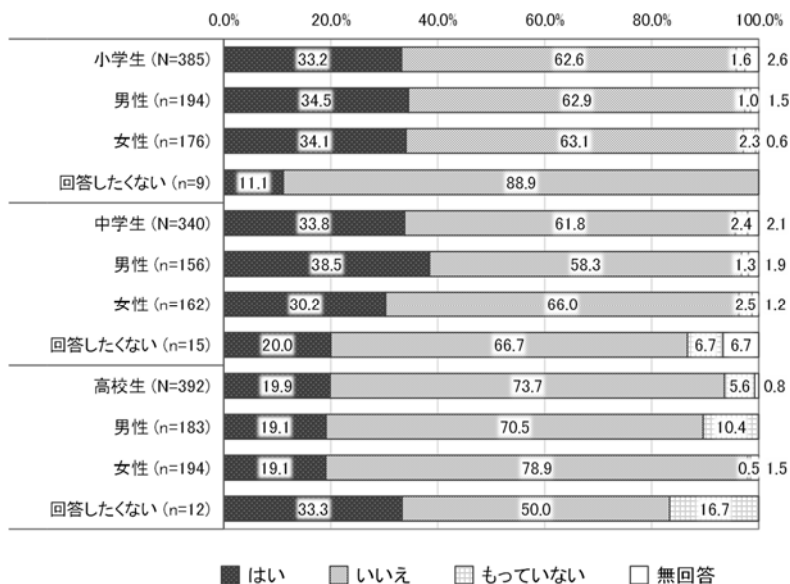
- 全体でみると、小学生・中学生では「週に1時間より多い」割合が最も高く、高校生では「ほとんどしない」割合が最も高い。
- 性別では、「ほとんどしない」割合は「女性」の方が高い。



(2) あなたは、時間を決めて、次の機械等を使っていますか。

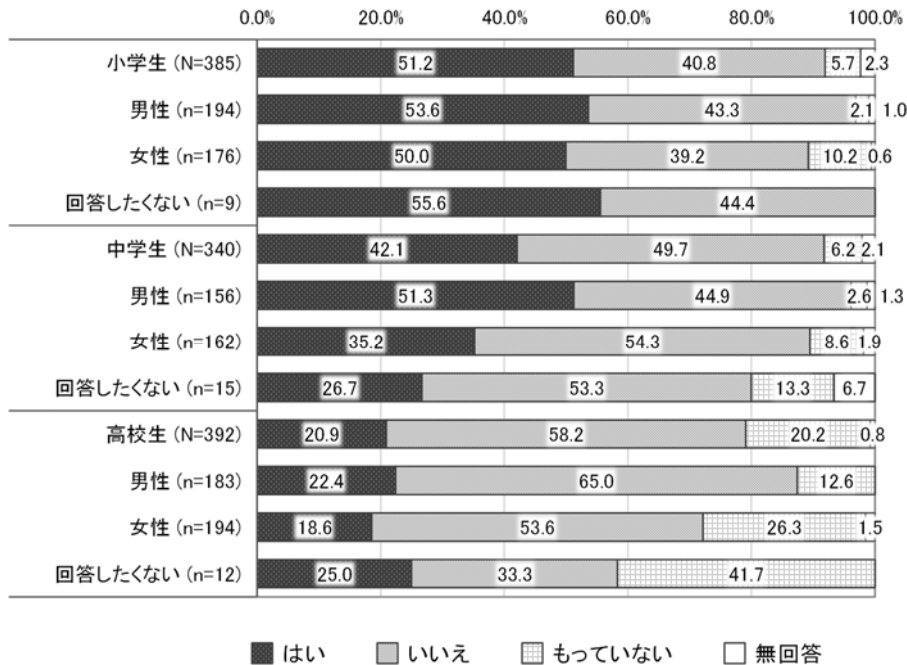
《ア. テレビ》

- 全体でみると、「いいえ」の割合が最も高く、全体の6割以上を占める。
- 学年別・性別で大きな差異はみられない。



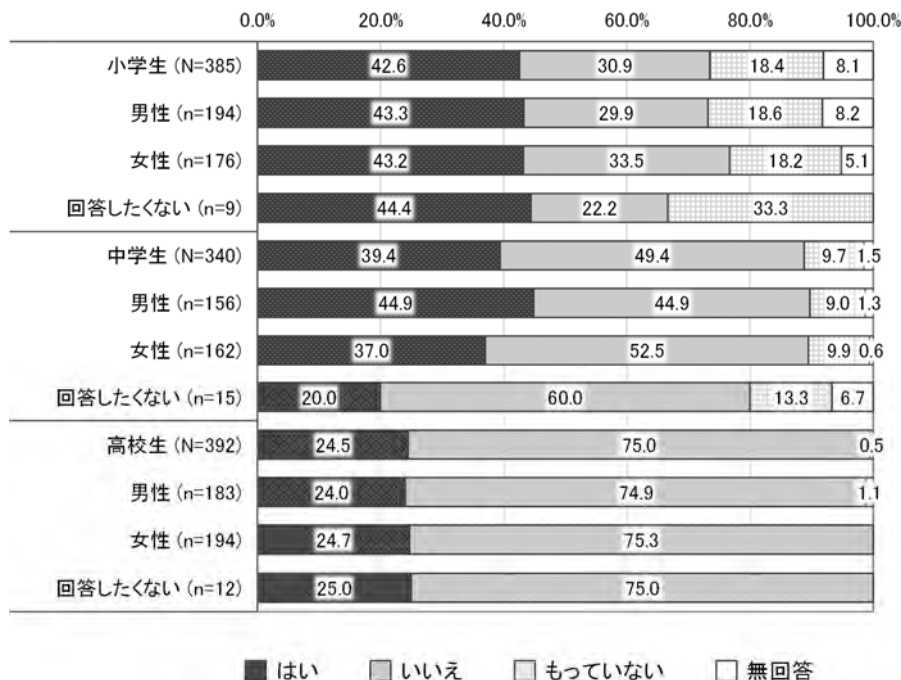
《イ. ゲーム(ゲーム機・スマホ・パソコンなど使ったゲーム)》

- 全体で見ると、「はい」の割合は小学校で51.2%と最も高く、小学生から高校生にかけて割合は低くなっている。
- 性別にみると、小学生・高校生では「いいえ」の割合は「男性」の方が高い。



《ウ. スマホ(電話・ライン・インターネット・ゲームなど)》

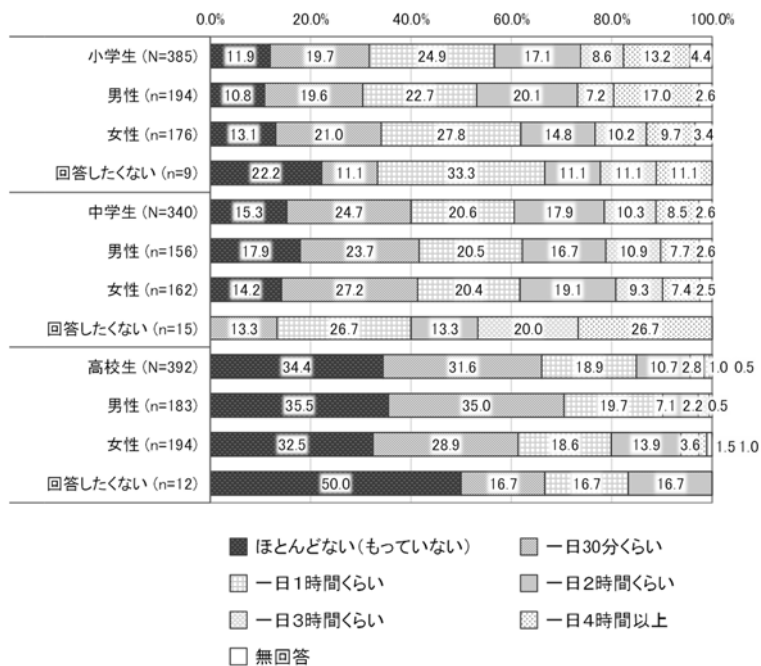
- 全体で見ると、「はい」の割合は小学校で42.6%と最も高く、小学生から高校生にかけて低くなっている。
- 小学生では、「もっていない」割合が18.4%と最も高く、小学生から高校生にかけて低くなっている。
- 高校生では「いいえ」の割合が75.0%と高くなっている。



(3) ふだん学校のある日は、次にあげる①～④のことについて、どのくらいの時間を過ごしていますか。あてはまるところに○をつけてください。

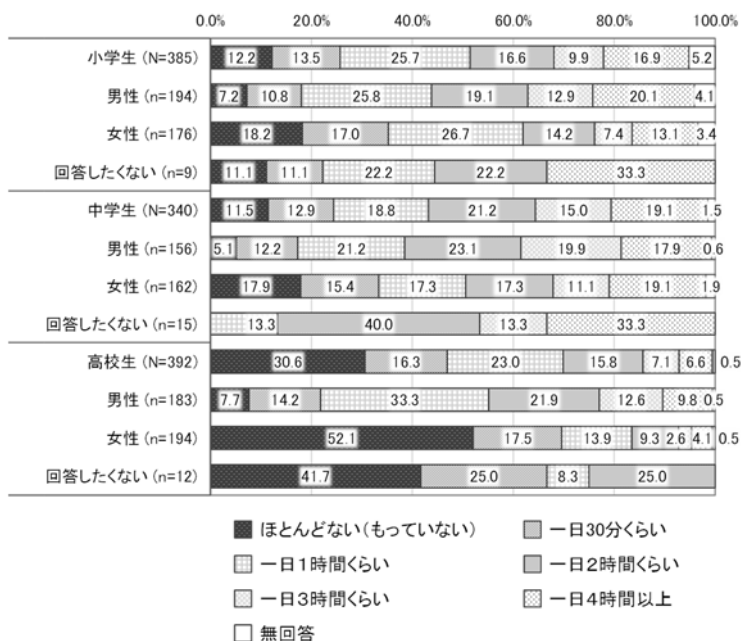
《① テレビやDVDを見る時間》

- ▶ 全体でみると、テレビやDVDをみる時間は、小学生から高校生にかけて短くなっている。
- ▶ 小学生の性別では、テレビやDVDをみる時間は「男性」の方が長い。



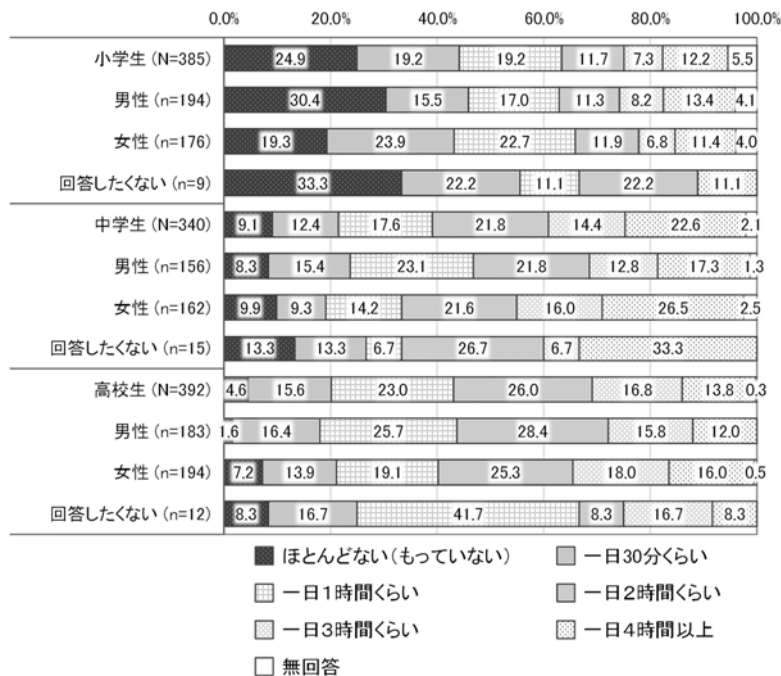
《② ゲームをする時間(コンピュータゲーム・携帯式のゲーム・携帯電話やスマホを使ったゲームを含む)》

- ▶ 全体でみると、およそ一日1時間以上ゲームをしているのは、中学生が74.1%と最も高く、次いで小学生(69.1%)、高校生(52.5%)となっている。
- ▶ 「ほとんどない(もっていない)」割合は、「女性」の方が高い。



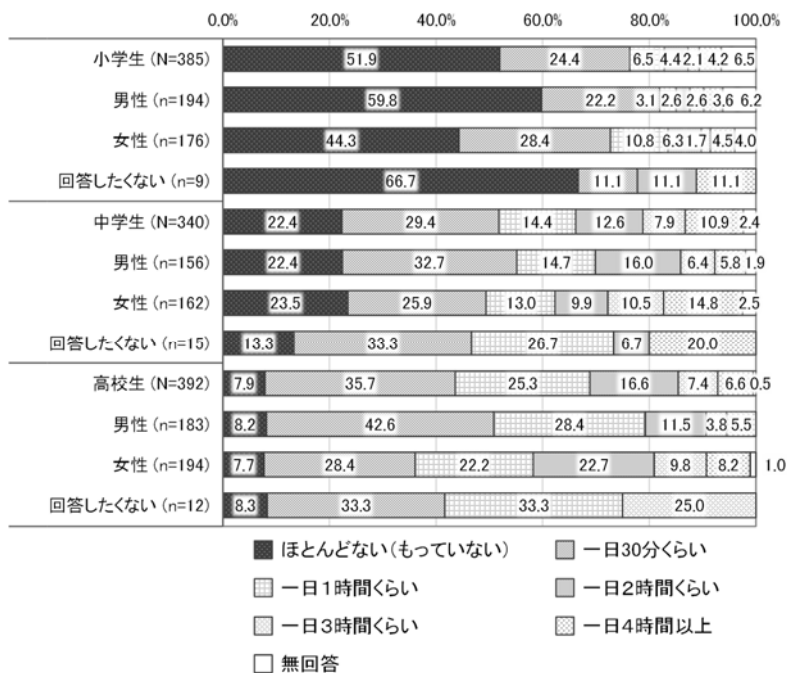
《③ インターネットをする時間(パソコン・携帯電話・スマホを使ってインターネットをする時間)》

- 全体でみると、およそ一日1時間以上インターネットをしているのは、高校生が95.2%と最も高く、次いで中学生(88.8%)、小学生(69.6%)となっている。
- 「ほとんどない(もっていない)」割合は、小学生が24.9%と最も高い。



《④ ライン・メール・電話・ツイッターなどをする時間》

- 全体でみると、ライン・メール・電話・ツイッターなどをする時間は、小学生から高校生にかけて長くなっている。
- 「ほとんどない(もっていない)」割合は、小学生が51.9%と最も高い。

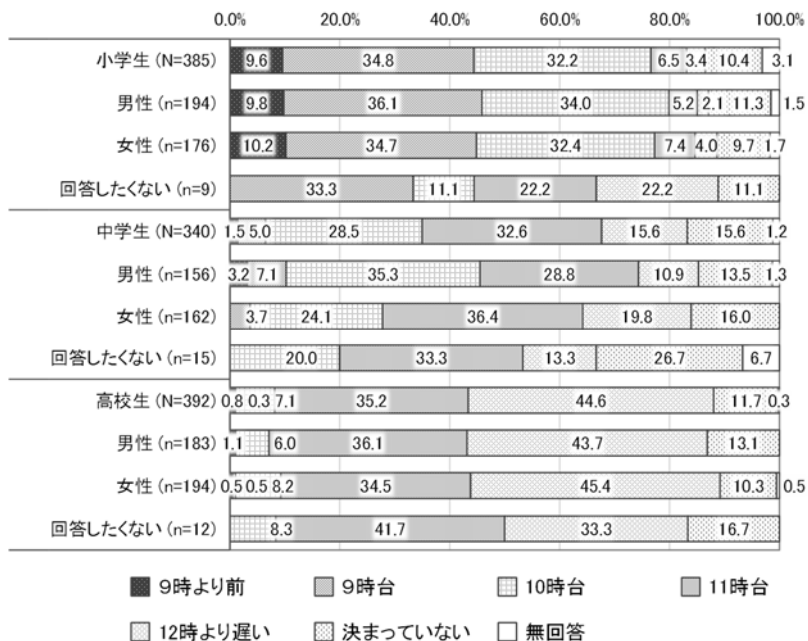


4. あなたの休養や心の健康について

小学生・中学生・高校生共通設問

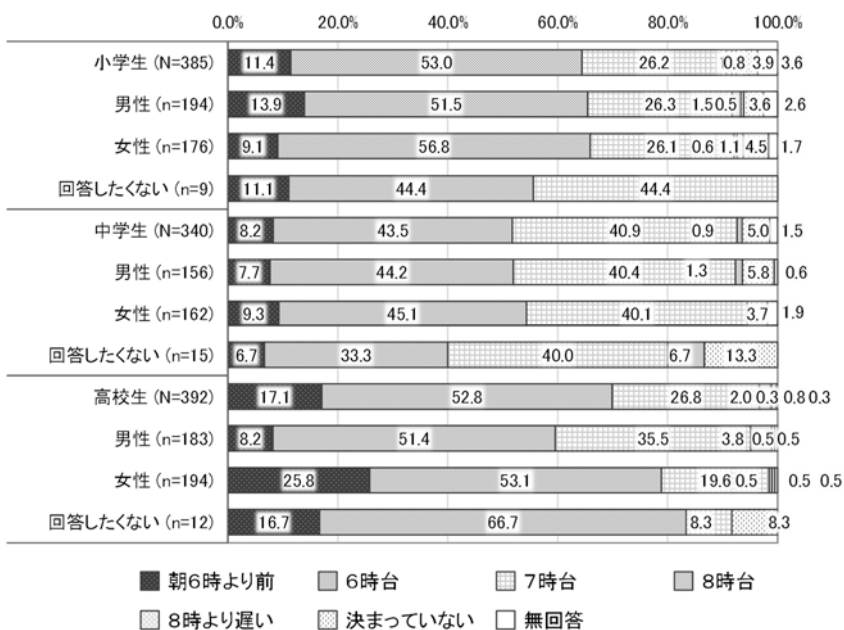
(1) あなたは、ふだん学校のある日は何時ごろ寝ますか。

- ▶ 全体でみると、小学生は「9時台」、中学生は「11時台」、高校生は「12時より遅い」の割合が最も高い。
- ▶ 中学生の性別では、寝る時間は「女性」の方が遅い傾向にある。



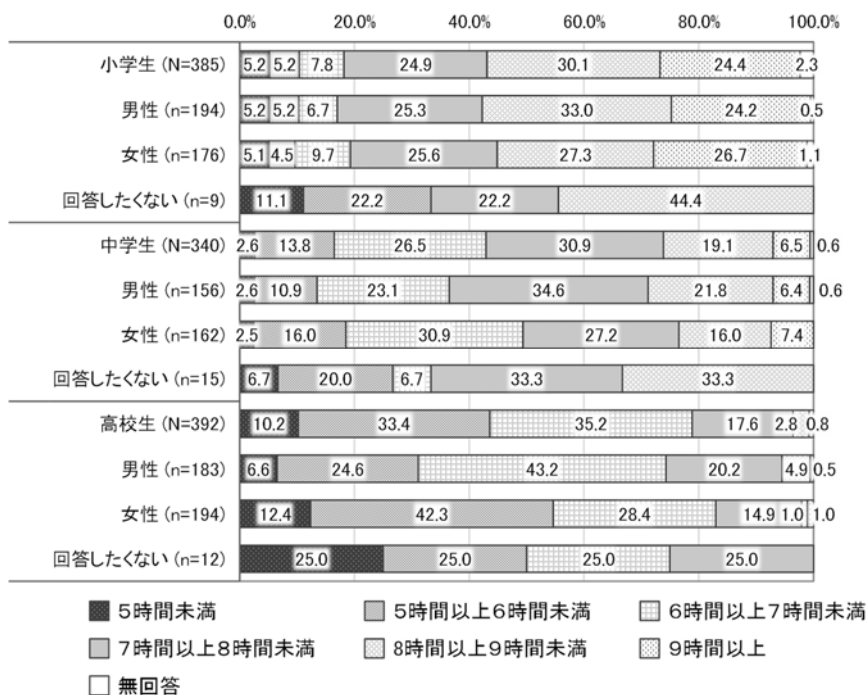
(2) あなたは、ふだん学校のある日は何時ごろ起きますか。

- ▶ 全体でみると、「6時台」の割合が最も高い。
- ▶ ふだん学校のある日に起きる時間は、「男性」の方が遅い傾向にある。



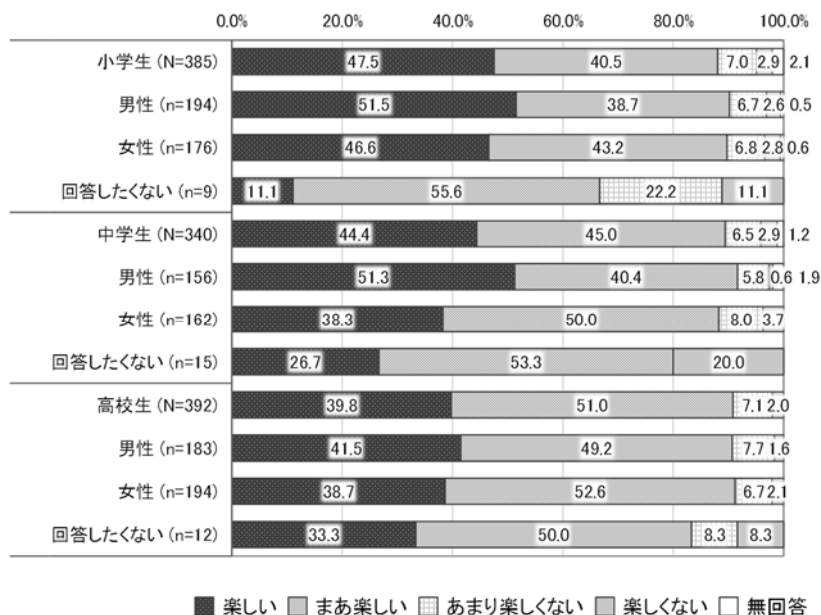
(3) あなたのこの1カ月の1日の平均睡眠時間（昼寝も含む）はどのくらいでしたか。

- 全体で見ると、小学生では「8時間以上9時間未満」、中学生では「7時間以上8時間未満」、高校生では「6時間以上7時間未満」の割合が最も高い。
- 「5時間未満」の割合は、高校生で10.2%と最も高い。



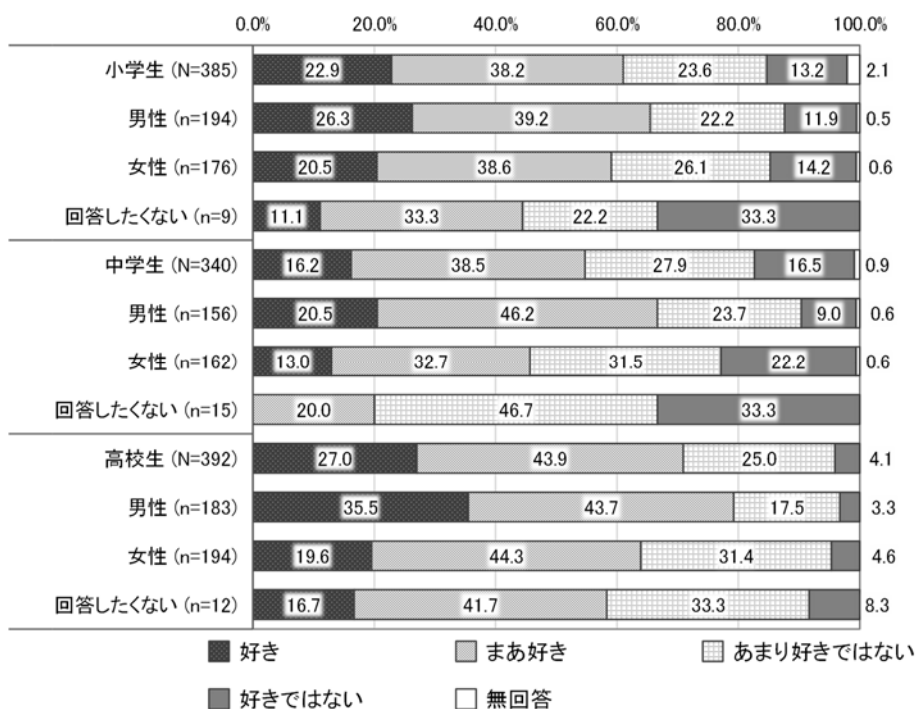
(4) あなたは、毎日楽しいですか。

- 全体で見ると、「楽しい」「まあ楽しい」割合は約9割を占める。
- 「あまり楽しくない」「楽しくない」の割合は、小学生から高校生にかけて低くなっている。



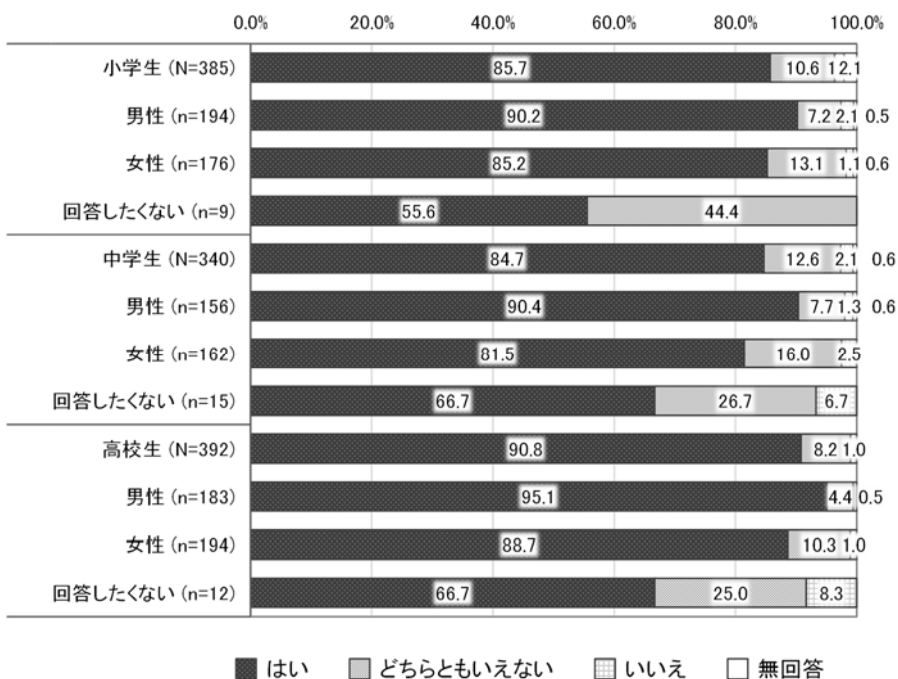
(5) あなたの自分自身のことが好きですか。

- 全体でみると、「まあ好き」の割合が最も高い。
- 「好きではない」の割合は、中学生が16.5%と最も高い。



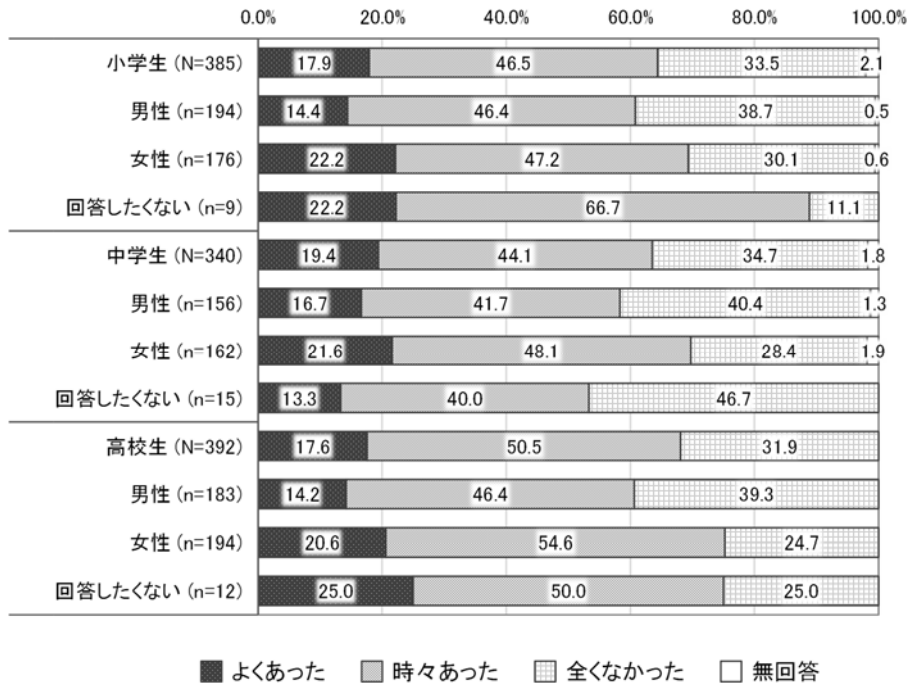
(6) あなたは、気軽に話せる友だちがいますか。

- 全体でみると、「はい」が最も高く、全体の8割以上を占める。
- 性別にみると、「いいえ」の割合は、小学生では「男性」が高く、中学生・高校生では「回答したくない」が高い。



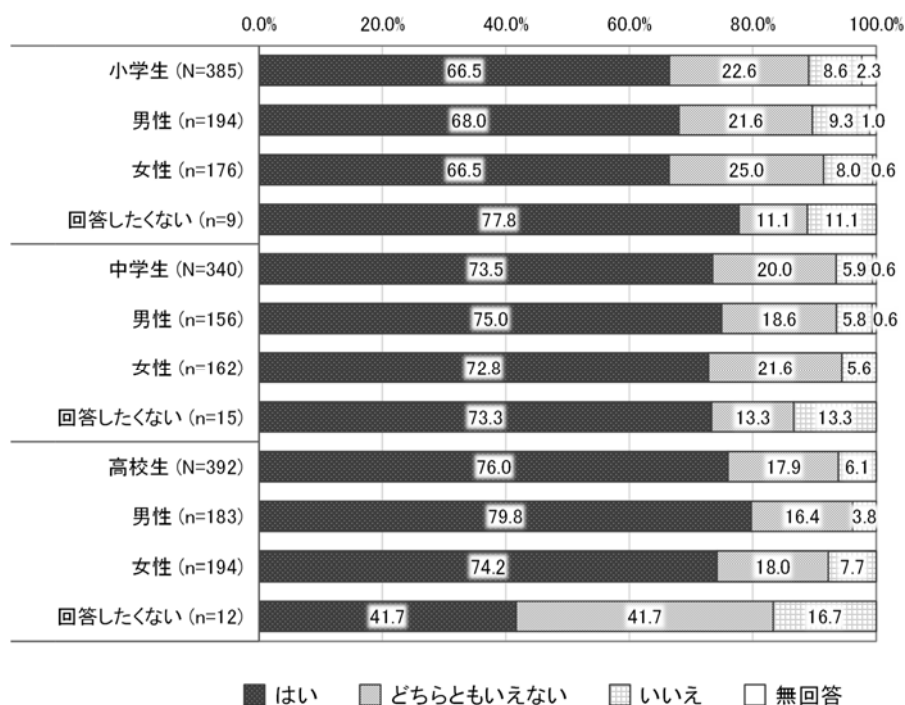
(7) あなたは、最近気分が落ち込んだり、ひどく不安になったり、興味や楽しみがもてなかったことがありますか。

- 全体で見ると、「よくあった」「ときどきあった」割合が6割を占める。
- 性別では、「全くなかった」割合は「男性」の方が高い。



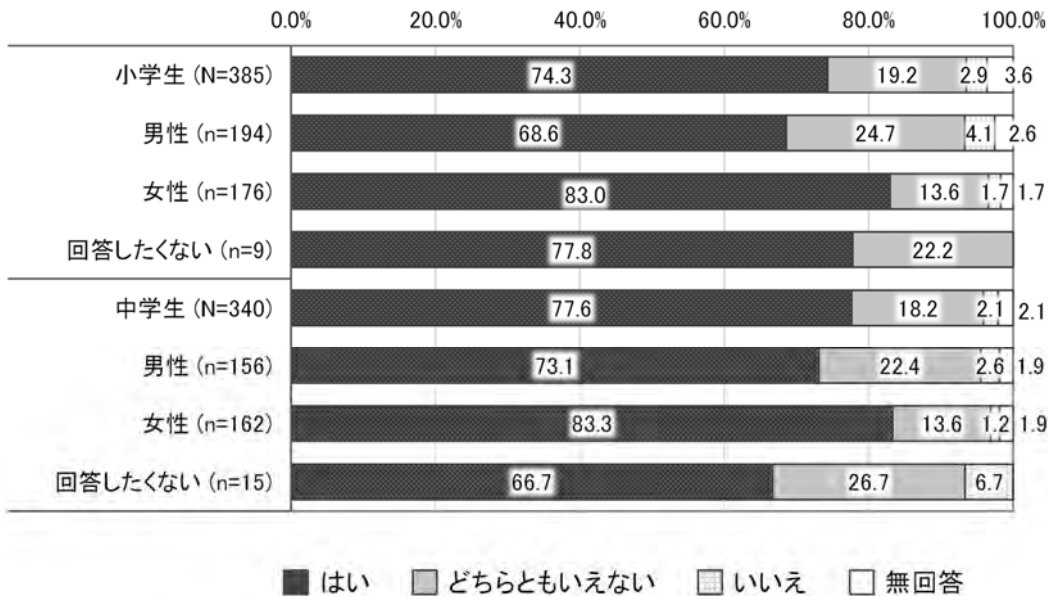
(8) あなたは、気分が落ち込んだ時や勉強や友達についての悩みを相談できる人がいますか。

- 全体では、「はい」の割合が最も高くなっている。
- 「いいえ」の割合は、小学生が8.6%と最も高い。



(9) あなたは、友だちや周りの人が困っている時、一緒に考えますか。

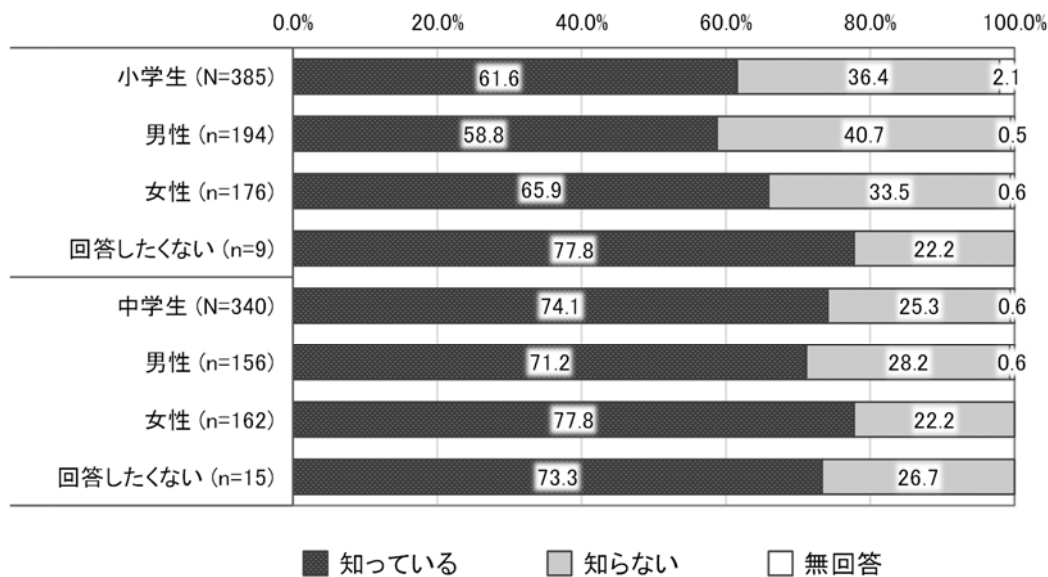
- 全体では、「はい」の割合が最も高い。
- 性別では、「いいえ」の割合は「男性」の方が高い。



小学生・中学生のみ設問

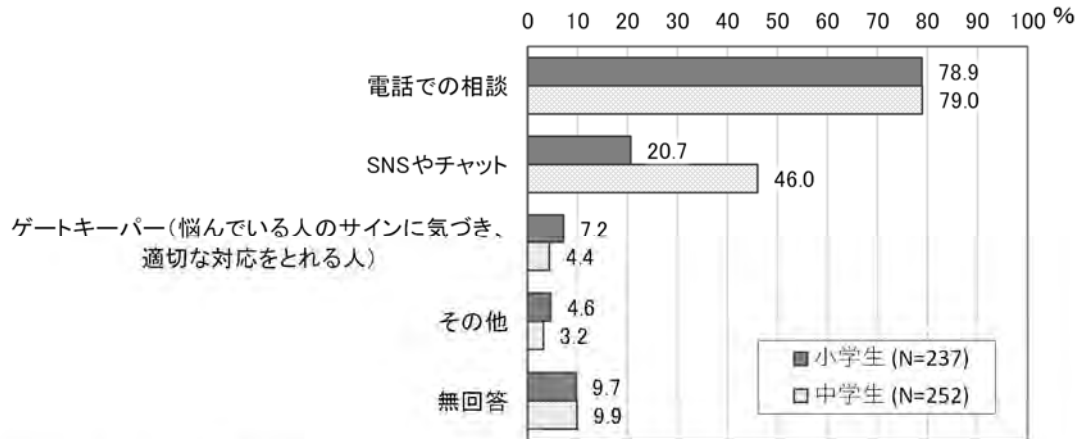
(1) あなたは、不安や悩みを感じた時に相談できる相談窓口があることを知っていますか。

- 全体では、「知っている」の割合が最も高い。
- 性別では、「知らない」割合は「男性」の方が高い。



(1) -1⁵⁷ 知っている相談窓口はどれですか。

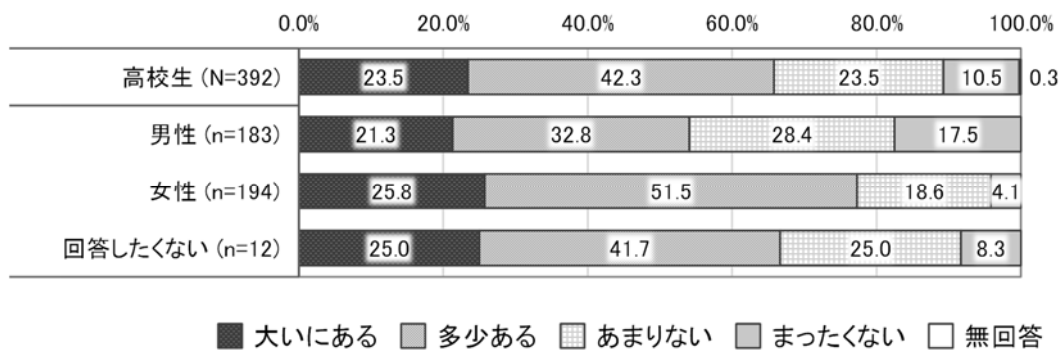
- 全体でみると、「電話での相談」の認知度が最も高い。
- 「SNSやチャット」の割合は、小学生では 20.7%に対し、中学生では 46.0%とおよそ2倍に増えている。



高校生のみの設問

(1) あなたは、この1ヶ月に精神的疲れやストレスを感じることはありますか。

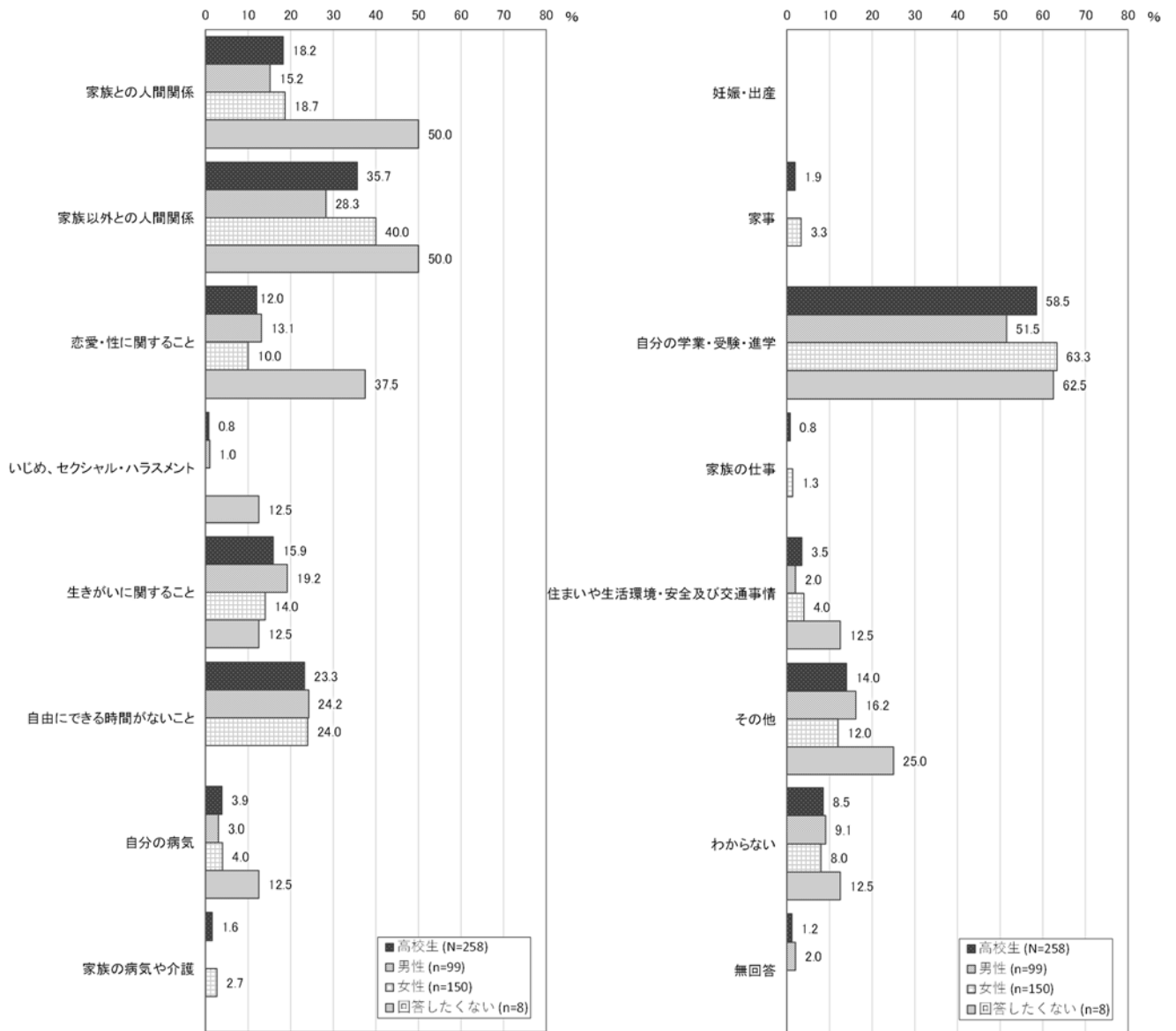
- 全体では、「多少ある」の割合が 42.3%と最も高い。
- 性別では、「大いにある」「多少ある」の割合は「女性」の方が高い。



⁵⁷ (1) で「知っている」に○をつけた方のみ回答。

(1) -1⁵⁸ あなたはどのようなことにストレスを感じていますか。

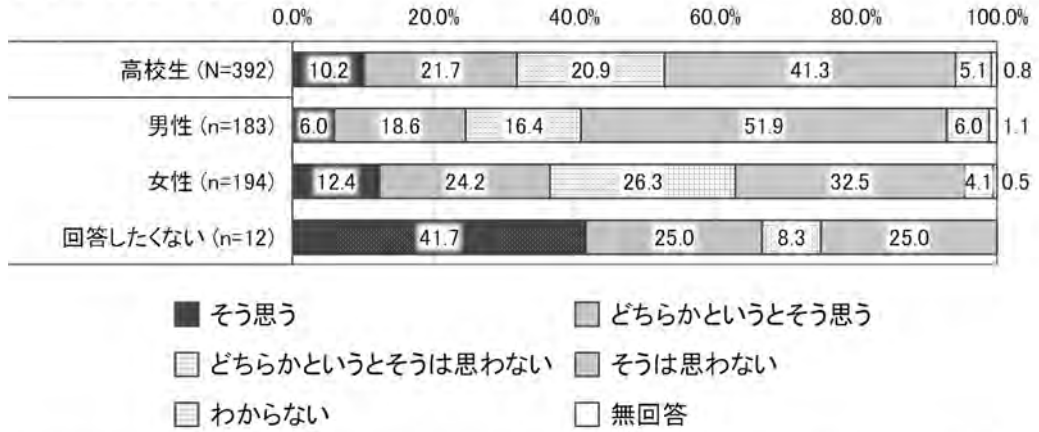
- ▶ 全体でみると、「自分の学業・受験・進学」「家族以外との人間関係」「自由にできる時間がないこと」にストレスを感じている傾向にある。



⁵⁸ (1) で「大いにある」「多少ある」に○をつけた方のみ回答。

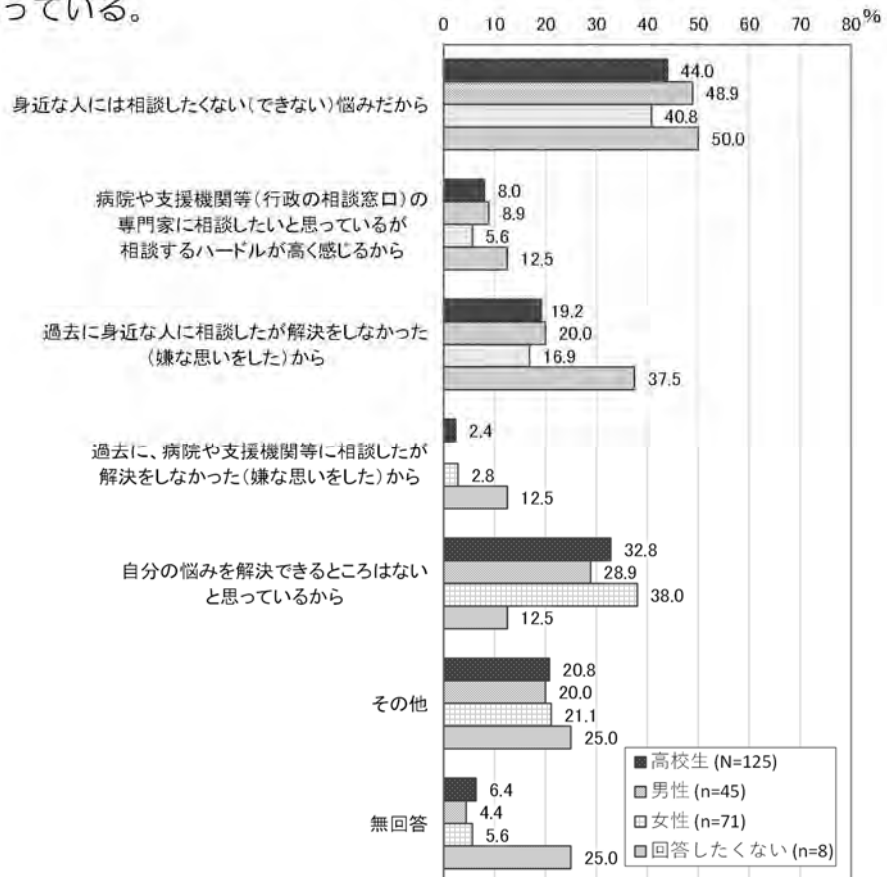
(2) 誰かに悩みを相談したり助けを求めたりすることにためらいを感じますか。

- 全体では「そうは思わない」の割合が41.3%と最も高い。
- 誰かに悩みを相談したり助けを求めたりすることにためらいを感じるのは「女性」の方が多い。



(2) -1⁵⁹ 誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由は何ですか。

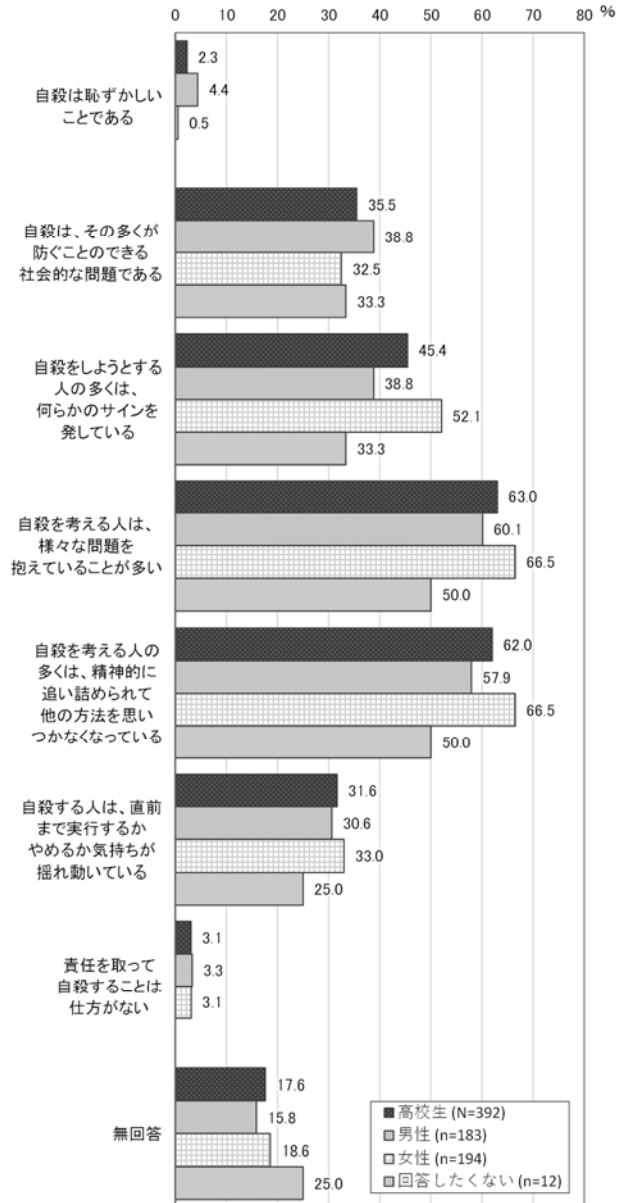
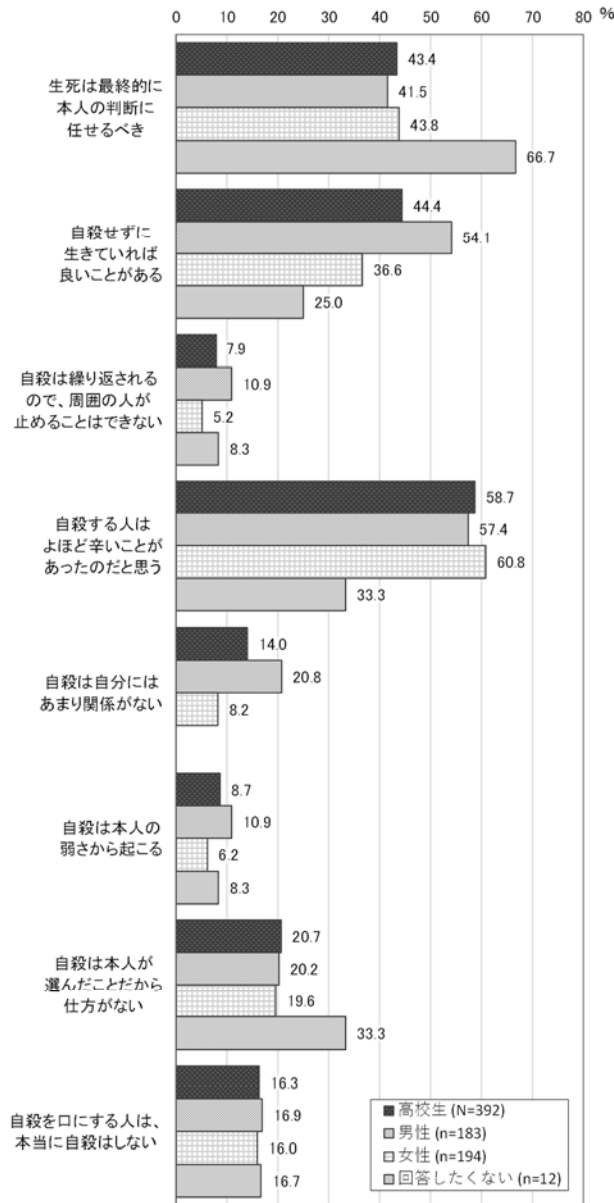
- 全体では、「身近な人には相談したくない(できない) 悩みだから」の割合が最も高く、次いで「自分の悩みを解決できるところはないと思っているから」となっている。



⁵⁹ (2) で「そう思う」「どちらかというと思う」に○をつけた方のみ回答。

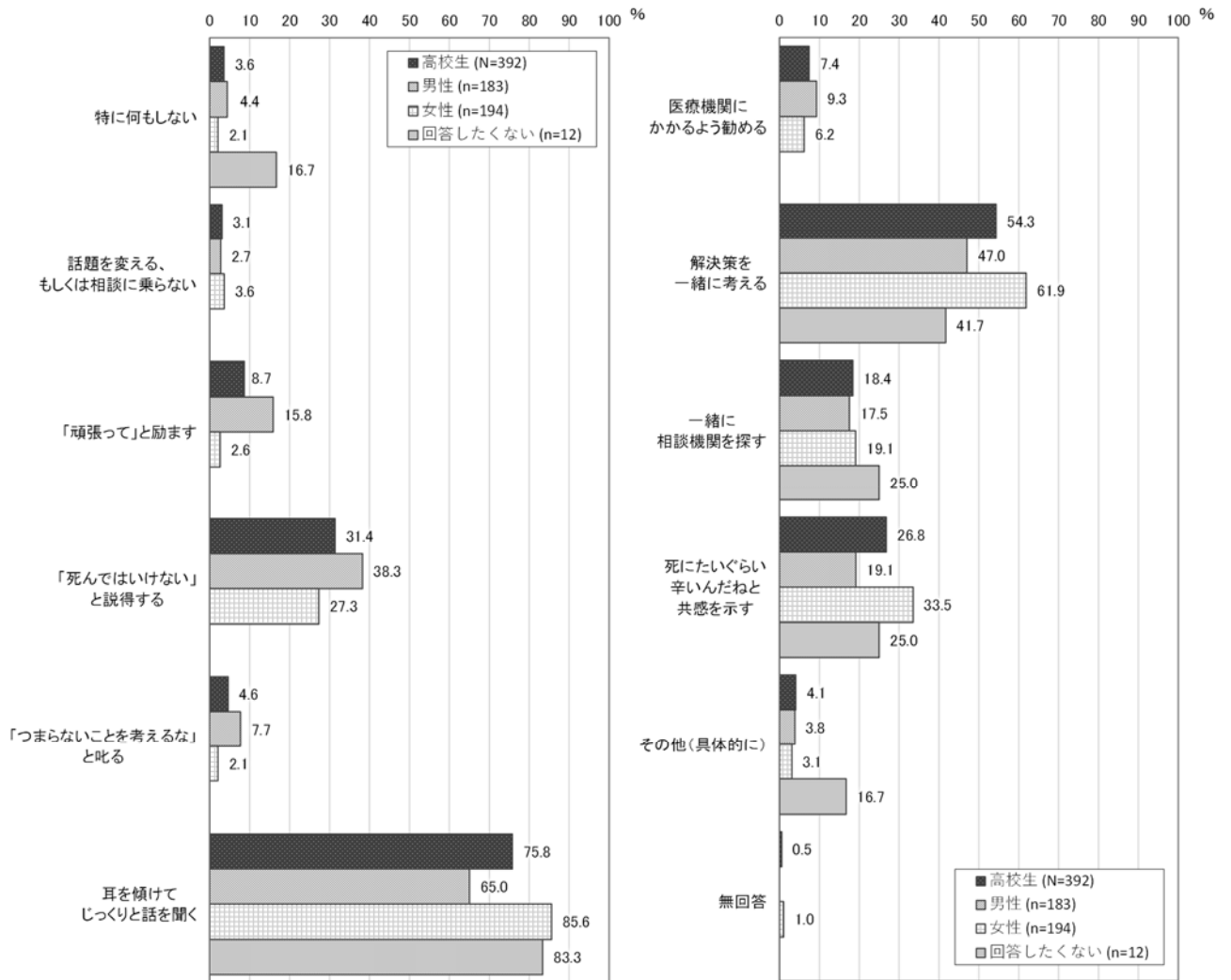
(3) あなたは、「自殺」についてどのように思いますか。

- ▶ 全体でみると「自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多い」が63.0%で最も多く、次いで「自殺を考えている人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている」(62.0%)、「自殺をする人はよほど辛いことがあったのだと思う」(58.7%)と続く。



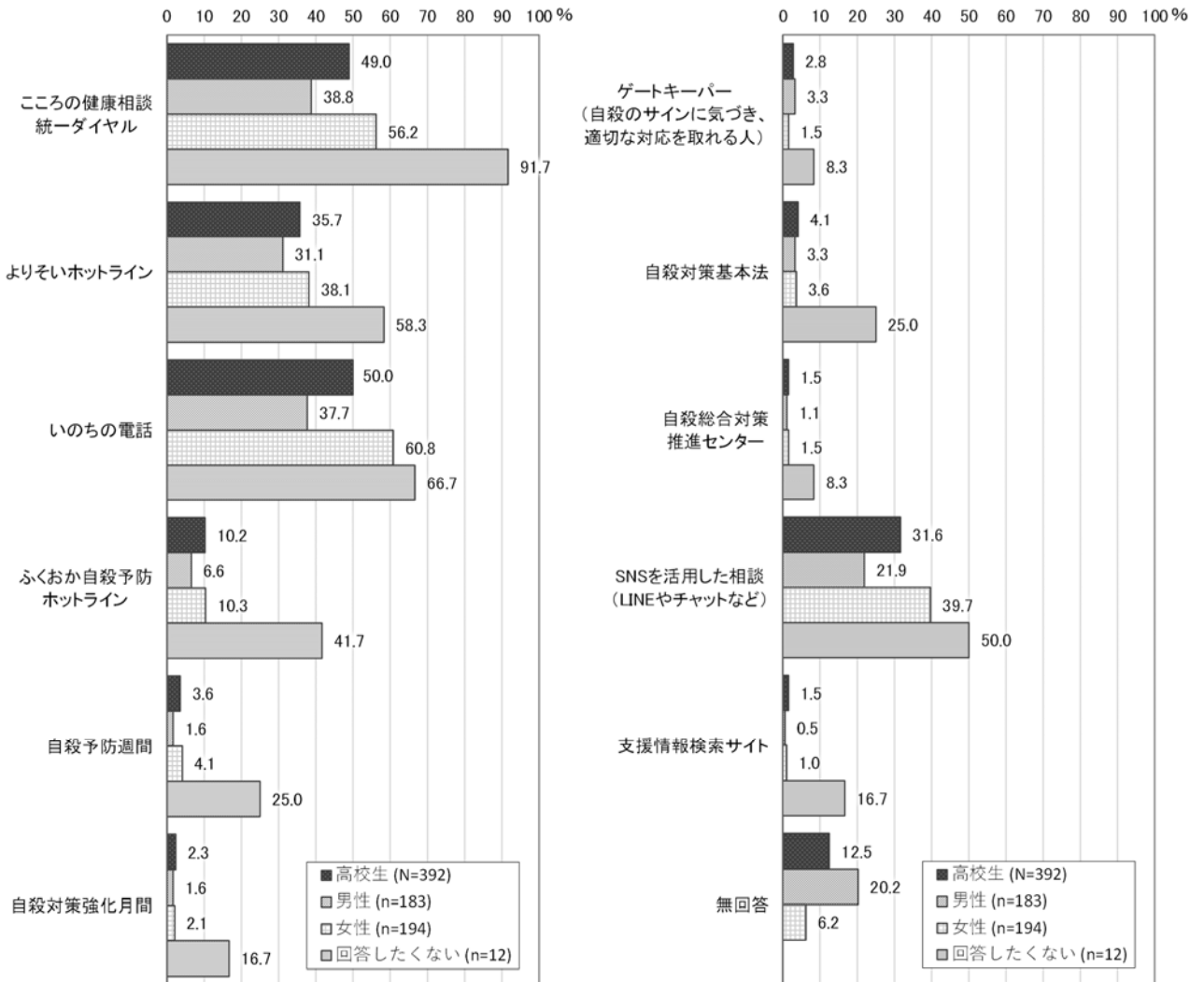
(4) もし身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時、あなたはどのように対応しますか。

- 全体で見ると「耳を傾けてじっくりと話を聞く」が75.8%で最も高く、次いで「解決策と一緒に考える」が54.3%となっている。



(5) あなたは自殺対策に関する以下のことを知っていますか。

- 全体で見ると「いのちの電話」が50.0%で最も高く、次いで「こころの健康相談統一ダイヤル」(49.0%)、「よりそいホットライン」(35.7%)と続く。

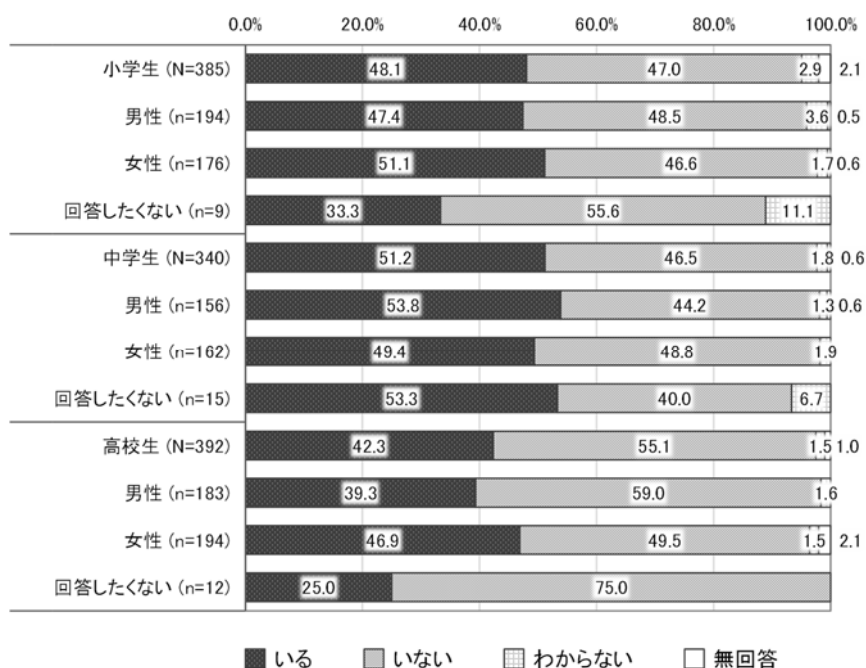


5. たばこやお酒について

小学生・中学生・高校生共通設問

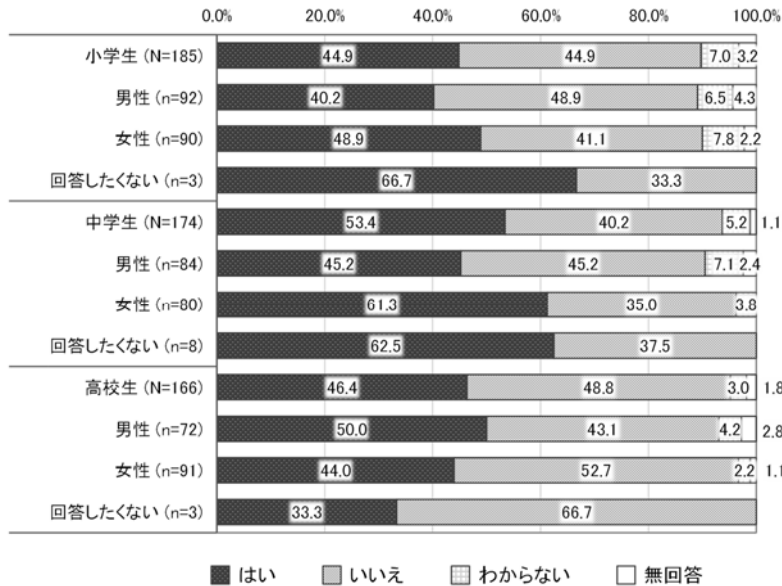
(1) あなたの家族でたばこを吸っている人がいますか。

- 全体では、「いる」割合は中学生が51.2%と最も高く、小学生が48.1%、高校生が42.3%となっている。
- 性別では、「いる」割合は中学生では「男性」の方が高く、小学生・高校生では「女性」の方が高い。



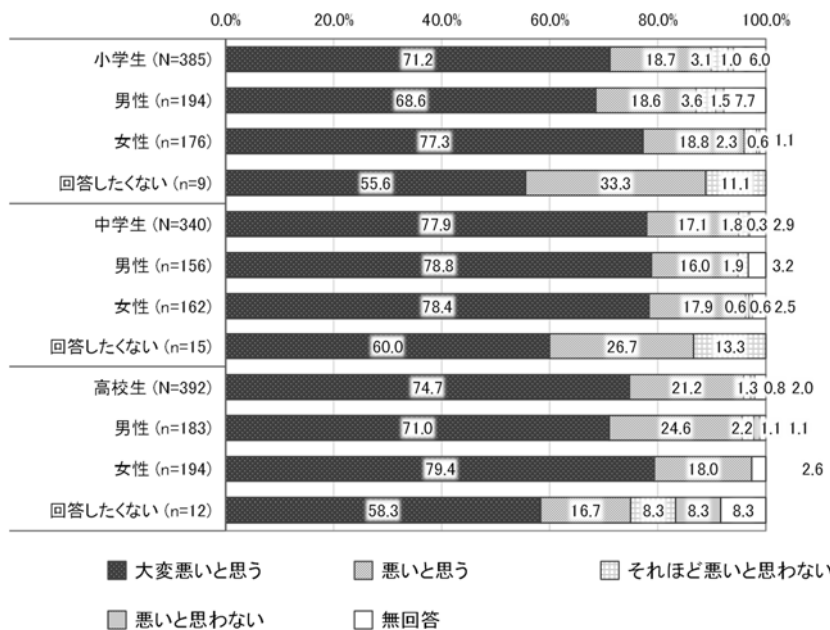
(1) -1⁶⁰ その人はあなたの前でたばこを吸っていますか。

- 全体で見ると、「はい」の割合は小学生で44.9%、中学生で53.4%、高校生で46.4%となっている。
- 性別では、「はい」の割合は中学生の「女性」が61.3%と最も高い。



(2) たばこを吸うことはからだに悪いことだと思いますか。

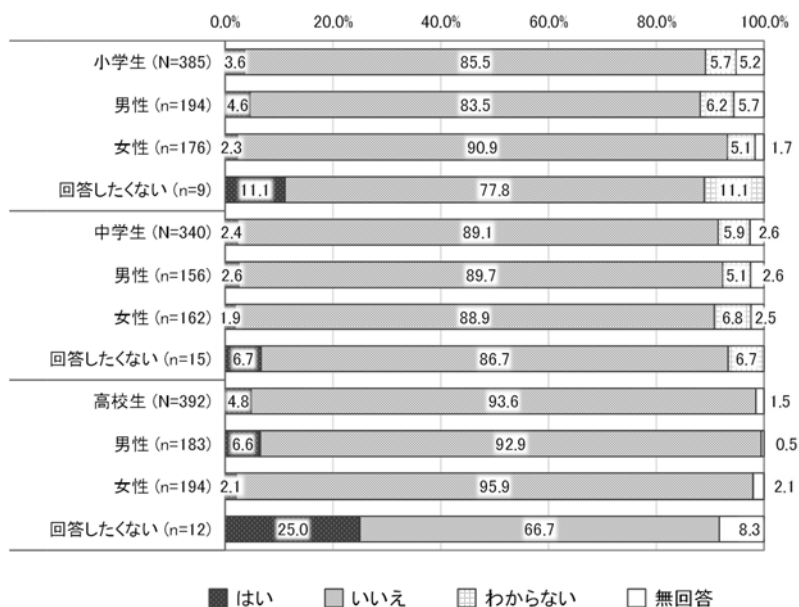
- 全体で見ると、「大変悪いと思う」が7割以上で最も高く、「悪いと思う」を合わせると、全体の約9割を占める。



⁶⁰ (1) で「いる」に○をつけた方のみ回答。

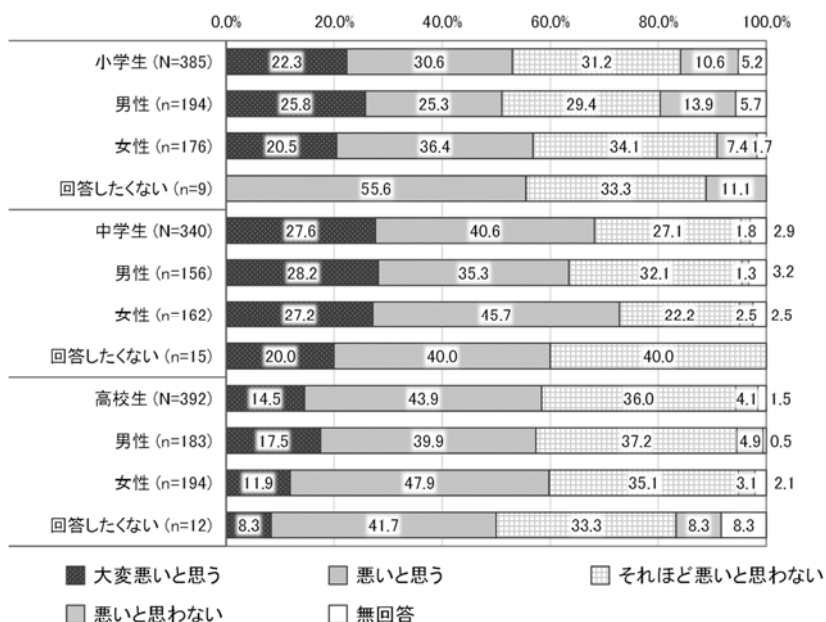
(3) あなたはたばこを吸ってみたいと思いますか。

- 全体で見ると、「いいえ」の割合が最も高い。
- 「はい」の割合は、高校生が4.8%と最も高く、次いで小学生で3.6%、中学生で2.4%となっている。
- 性別では、「はい」の割合は「男性」の方が高い。



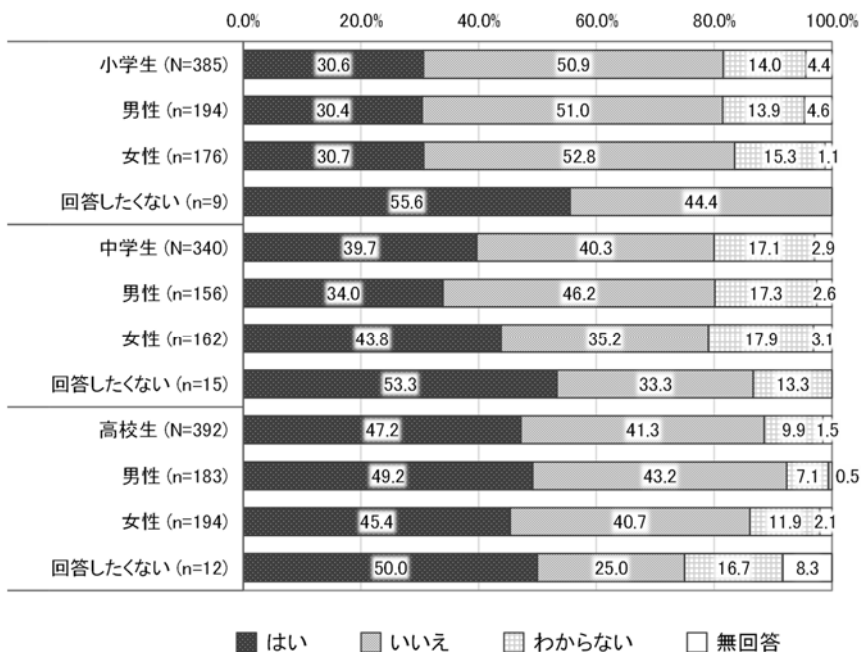
(4) お酒を飲むとからだに悪いことがあると思いますか。

- 全体で見ると、「大変悪いと思う」「悪いと思う」は全体の5割以上を占める。
- 性別では「悪いと思わない」「それほど悪いと思わない」割合は、「男性」の方が高い。



(5) あなたはお酒を飲んでみたいと思いますか。

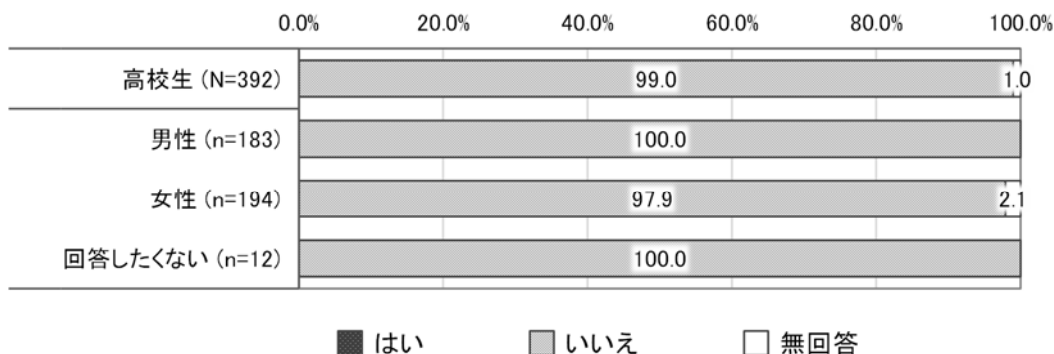
- ▶ 全体では、「はい」の割合は高校生で47.2%と最も高く、次いで、中学生で39.7%、小学生で30.6%となっている。
- ▶ 「いいえ」の割合は、小学生・中学生では「はい」を上回っているが、高校生では下回っている。
- ▶ 性別で見ると、小学生では「はい」の割合にほとんど差は無いが、中学生では「女性」が高く、高校生では「男性」の方が高くなっている。



高校生のみの設問

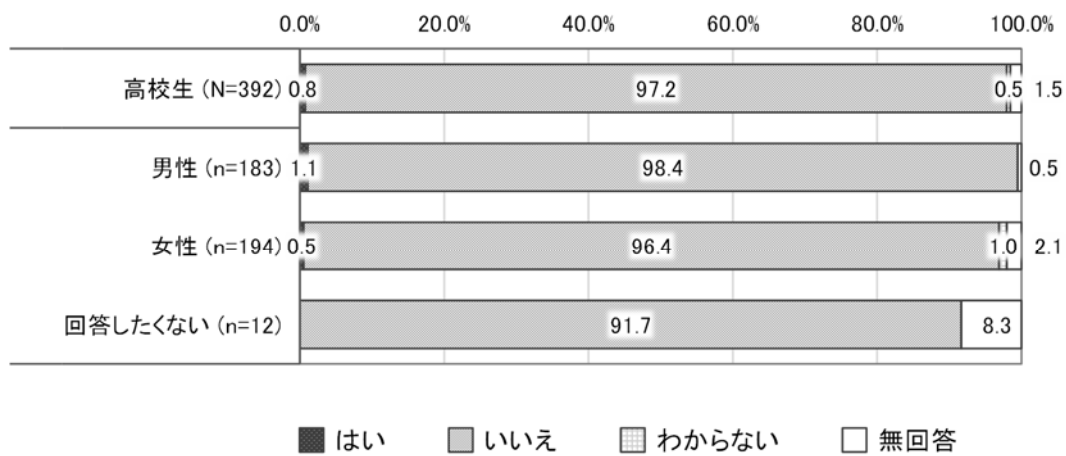
(1) あなたは、この1ヶ月間にたばこを吸ったことがありますか。

- ▶ 全体で見ると、「はい」と回答した高校生はいなかった。



(2) あなたは、この1ヶ月間にお酒を飲んだことがありますか。

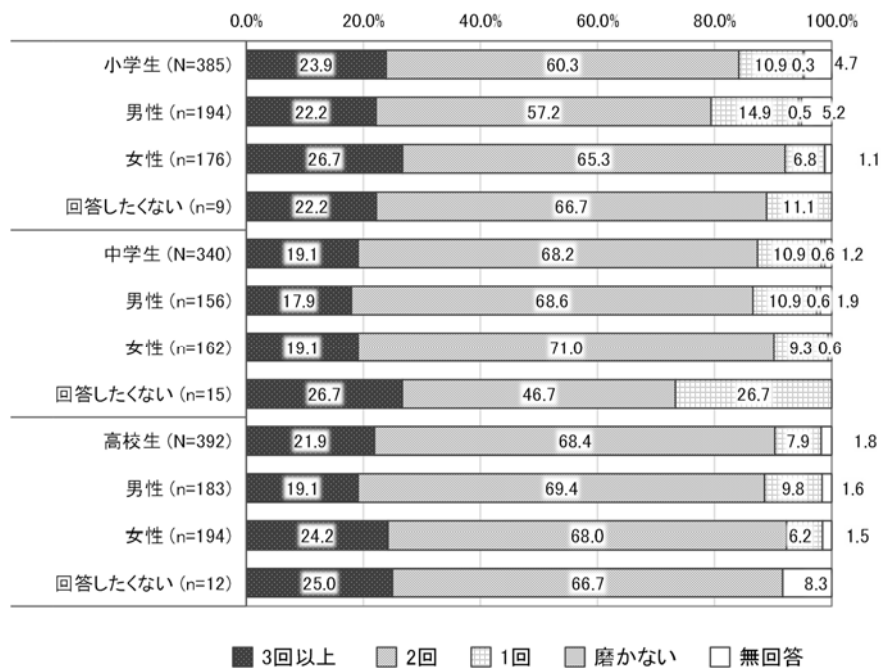
➤ 全体で見ると、「はい」の割合が0.8%となっている。



6. あなたの歯や口のことなどについて

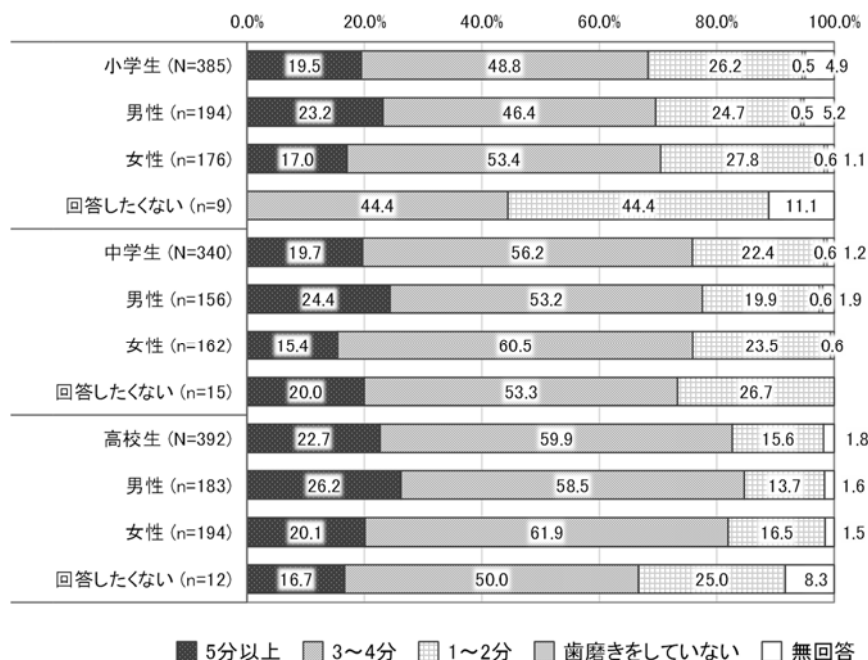
(1) あなたの1日の歯磨きの回数は何回ですか。

➤ 全体で見ると、「2回」の割合が最も高く、6割以上を占めている。



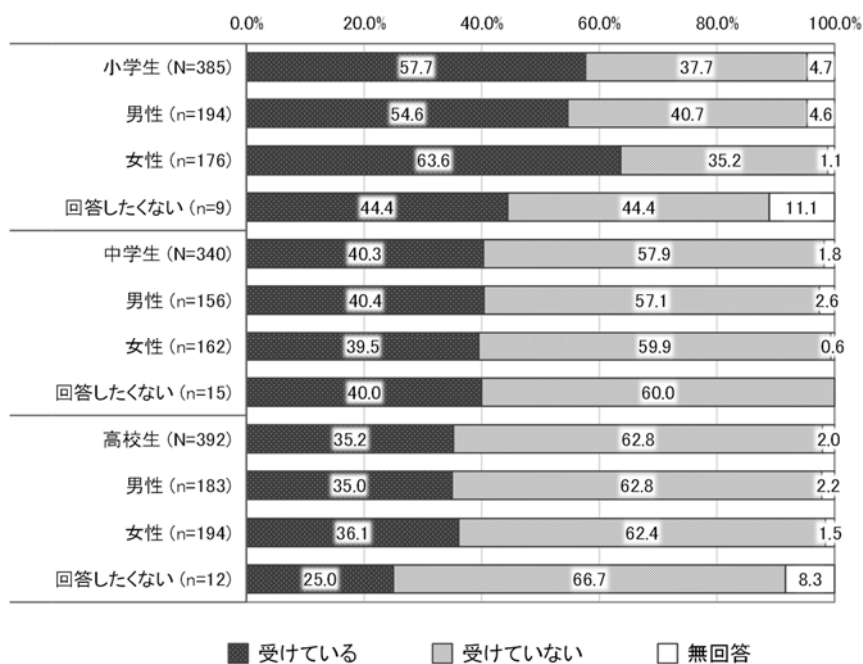
(2) あなたが、1回あたりの歯磨きにかかる時間は平均何分ですか。

▶ 全体でみると、「3～4分」が最も高い。



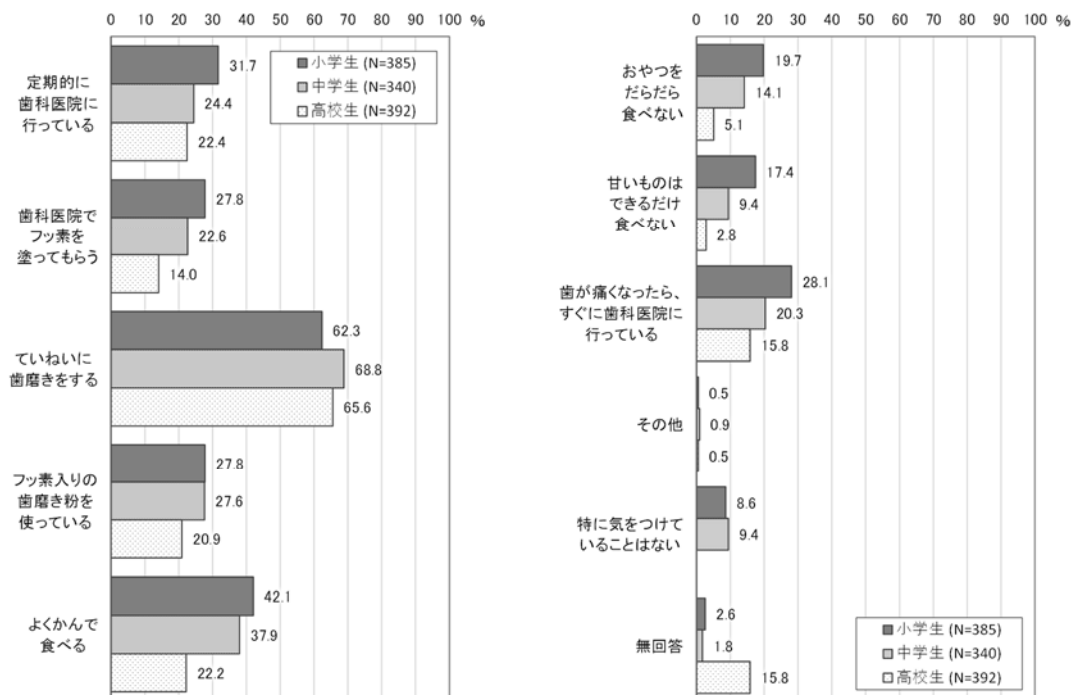
(3) あなたは、学校の歯科検診以外にむし歯予防のために定期的に歯科検診を受けていますか。

▶ 全体でみると、小学生では「受けている」が57.7%と半数を超えているが、中学生・高校生になると「受けていない」が最も高い。



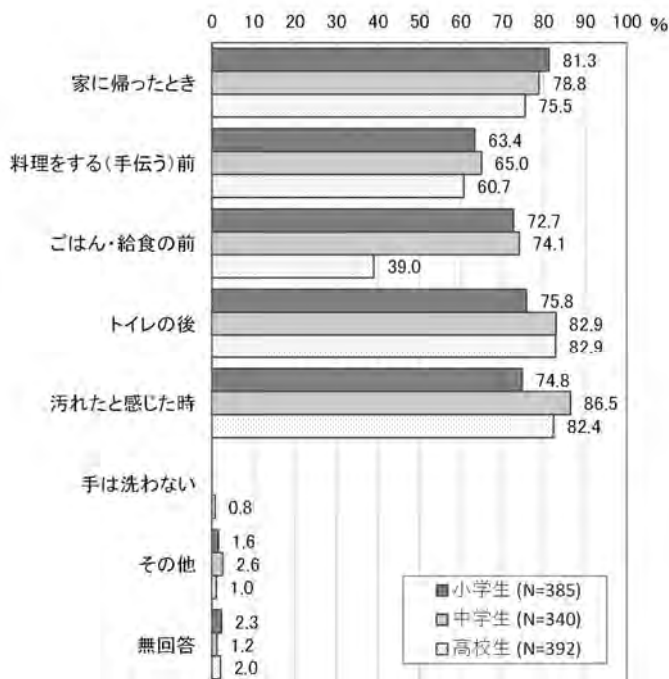
(4) あなたは、歯や歯ぐきの健康のために気をつけていることはありますか。

- ▶ 全体でみると、「ていねいに歯磨きをする」が最も高い。



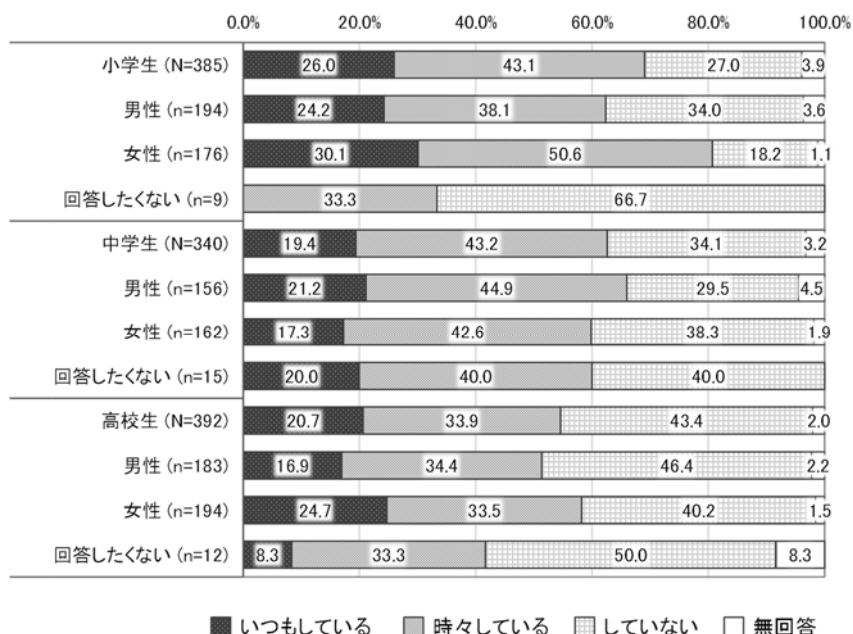
(5) あなたは、いつ手を洗っていますか。

- ▶ 全体でみると、「家に帰ったとき」は小学生が最も高く、小学生から高校生にかけて低くなっている。
- ▶ 中学生では「汚れたと感じた時」が最も高く、高校生は「トイレの後」が最も高くなっている。
- ▶ 「ごはん・給食の前」の割合は、小学生・中学生に比べて高校生ではかなり低い傾向にある。



(6) あなたは、家に帰ってうがいをしていますか。

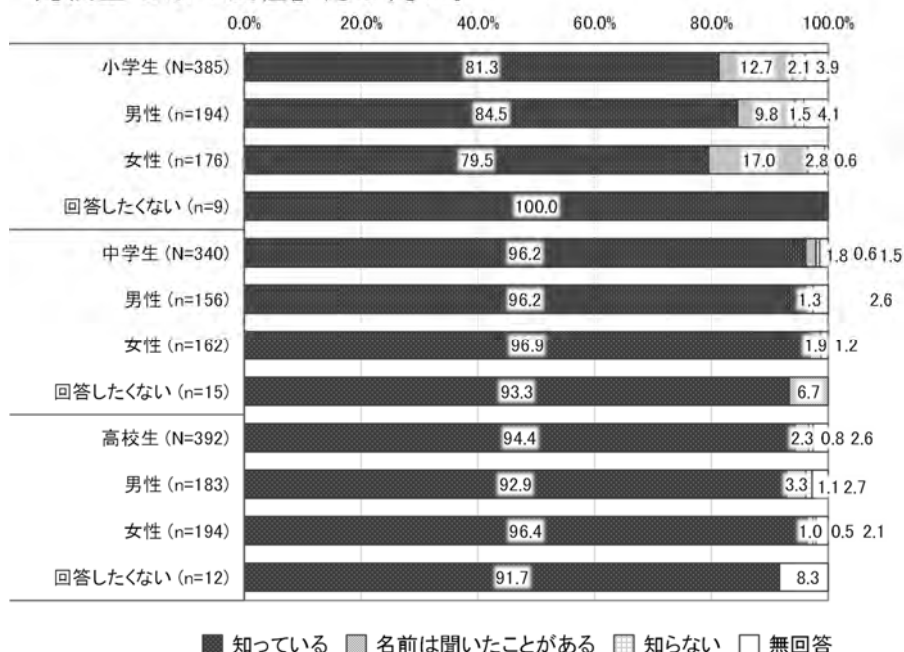
- ▶ 全体で見ると、「していない」割合は高校生が43.4%と最も高く、次いで中学生34.1%、小学生27.0%となっている。
- ▶ 性別では、「していない」割合は小学生・高校生では「男性」の方が高く、中学生では「女性」の方が高い。



7. 健康づくりの取組について

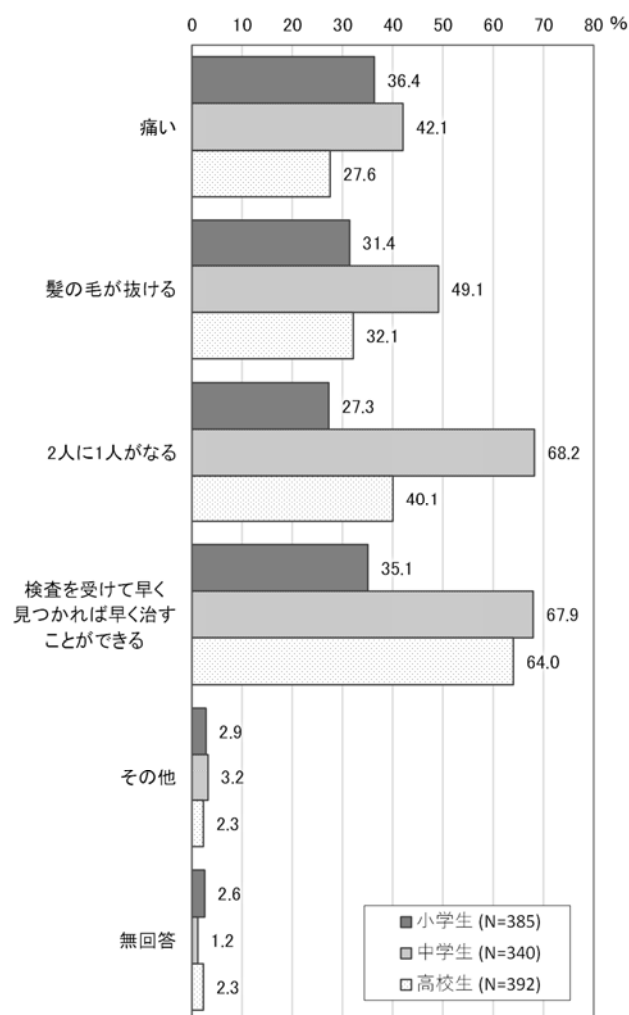
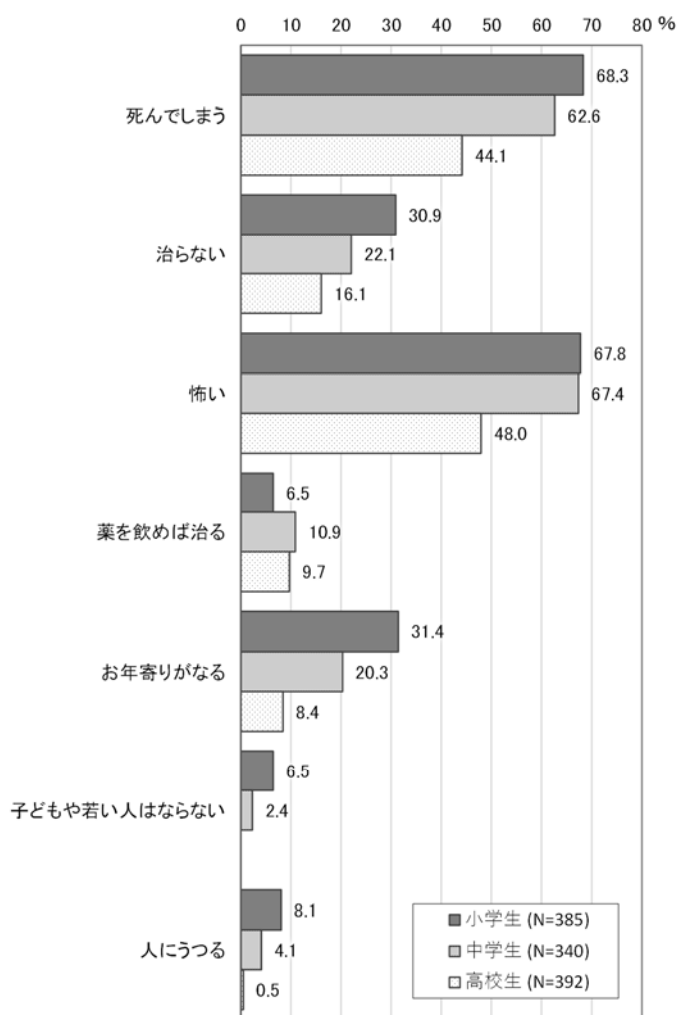
(1) あなたは、『がん』という病気を知っていますか。

- ▶ 全体で見ると、「知っている」が最も高く、8割以上を占める。
- ▶ 性別にみると、「知っている」割合は小学生では「男性」の方が高く、中学生・高校生では「女性」の方が高い。



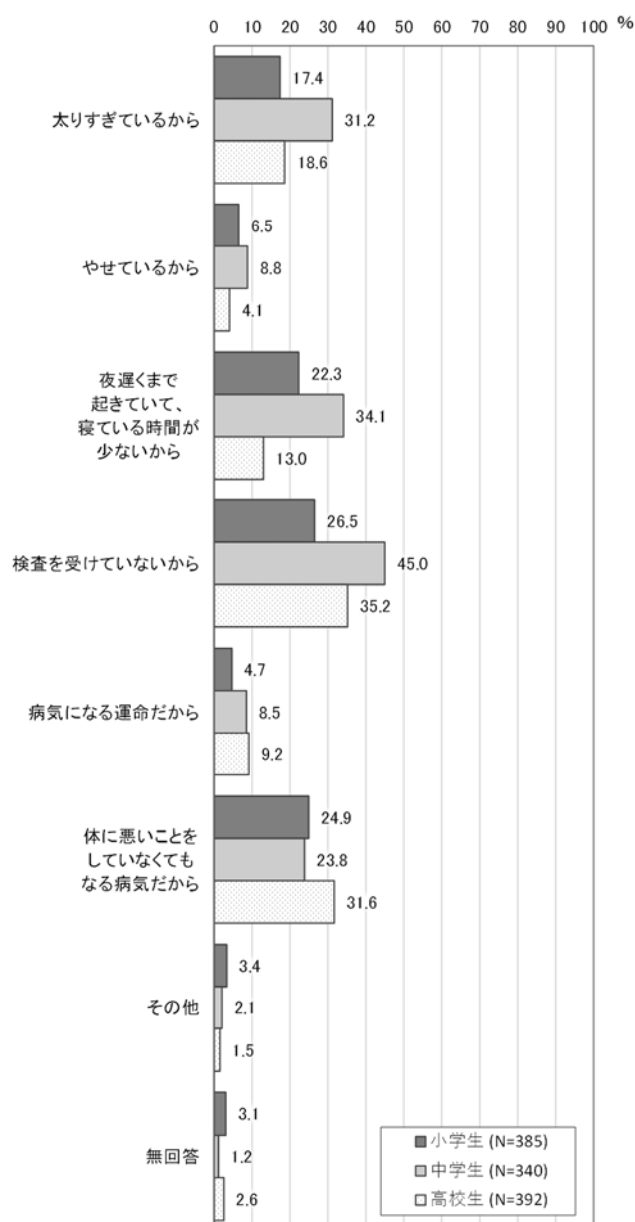
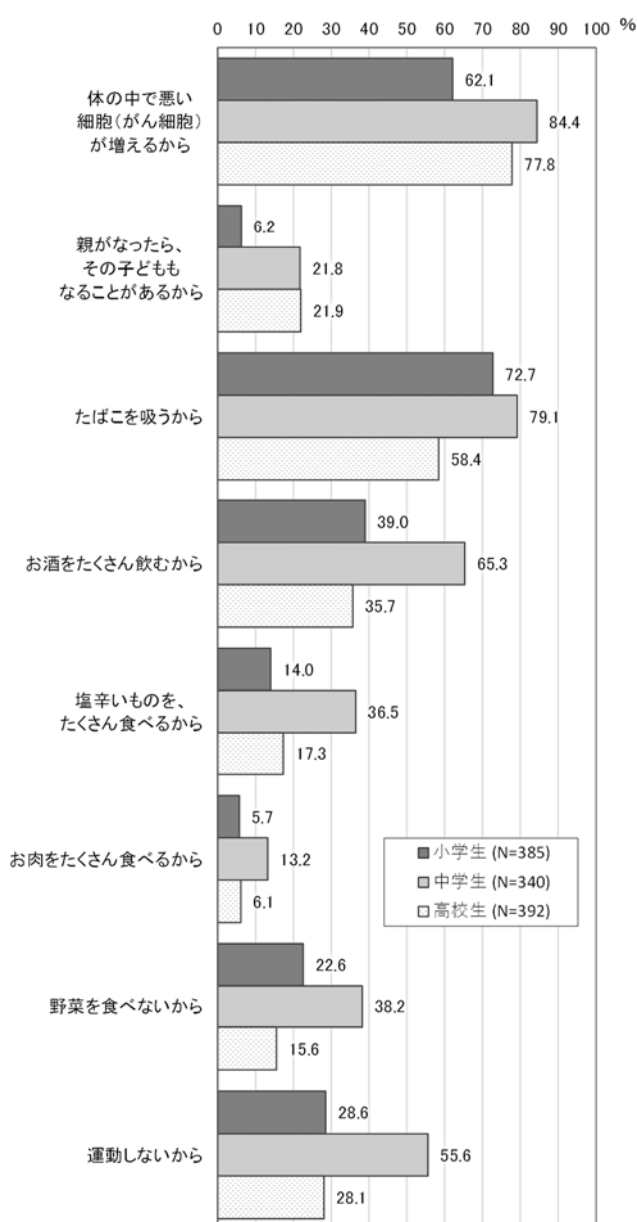
(2) 『がん』は、どういう病気だと思いますか。

- ▶ 小学生は「死んでしまう」の割合が68.3%と最も高く、次いで「怖い」(67.8%)、「痛い」(36.4%)と続く。
- ▶ 中学生は「2人に1人になる」の割合が68.2%と最も高く、次いで「検査を受けて早く見つければ早く治すことができる」(67.9%)、「怖い」(67.4%)と続く。
- ▶ 高校生は「検査を受けて早く見つければ早く治すことができる」の割合が64.0%と最も高く、次いで「怖い」(48.0%)、「死んでしまう」(44.1%)と続く。



(3) なぜ『がん』になると思いますか。

- ▶ 小学生は「たばこを吸うから」の割合が72.7%と最も高く、次いで「体の中で悪い細胞（がん細胞）が増えるから」（62.1%）、「お酒をたくさん飲むから」（39.0%）と続く。
- ▶ 中学生は「体の中で悪い細胞（がん細胞）が増えるから」の割合が84.4%と最も高く、次いで「たばこを吸うから」（79.1%）、「お酒をたくさん飲むから」（65.3%）と続く。
- ▶ 高校生は「体の中で悪い細胞（がん細胞）が増えるから」の割合が77.8%と最も高く、次いで「たばこを吸うから」（58.4%）、「お酒をたくさん飲むから」（35.7%）と続く。



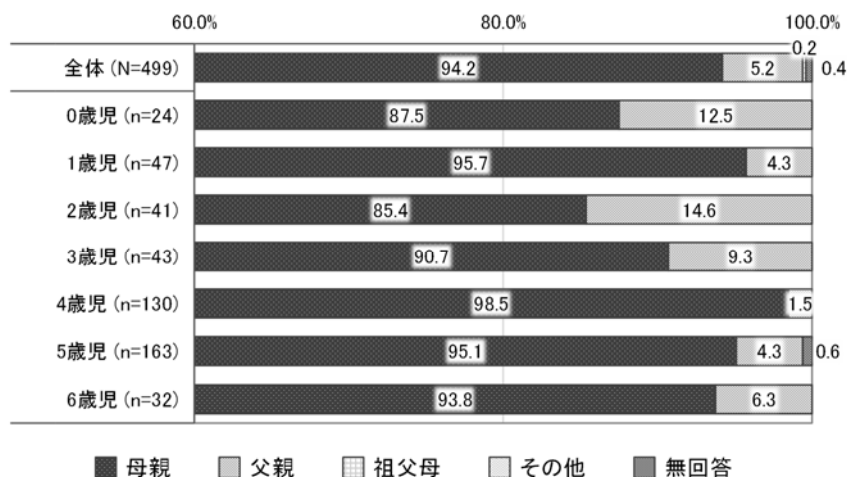
IV. アンケート集計結果（乳幼児の保護者・保育所園児の保護者）

1. あなたとお子さんについて

乳幼児・保育所園児共通の設問

（1）このアンケートを記入される方はどなたですか。

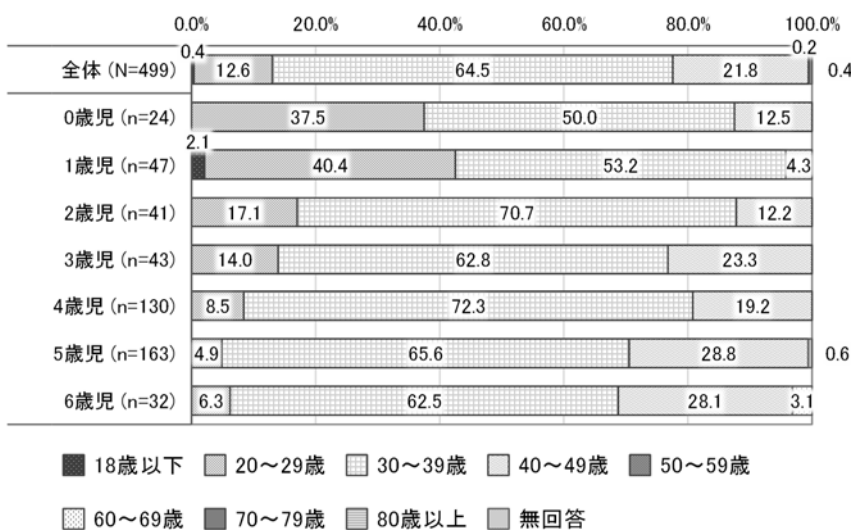
➤ 全体では、「母親」が94.2%と最も高い。



（2）あなたはどの年齢に当てはまりますか。

➤ 全体では、「30～39歳」が64.5%と最も高く、次いで、「40～49歳」（21.8%）、「20～29歳」（12.6%）となっている。

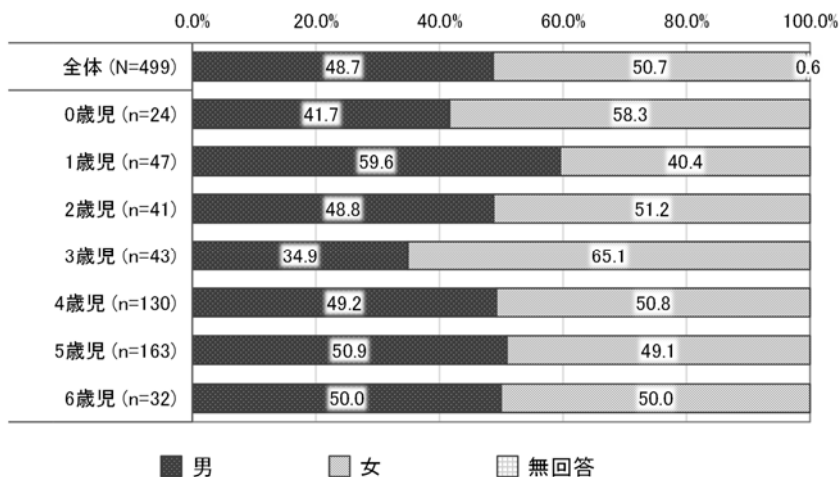
➤ 子どもの年齢があがるにつれて、回答者の年代も高くなっている。



(3) お子さんの性別に○をつけ、年齢をご記入ください。(令和5年6月1日現在)

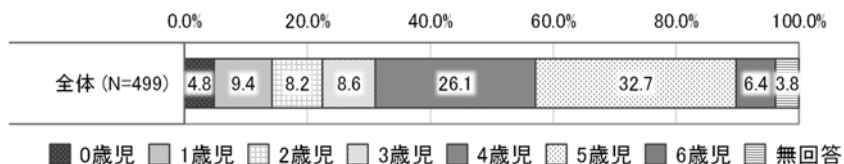
《① 性別》

- 全体では、「男」が48.7%、「女」が50.7%となっている。
- 1歳児、5歳児では、「男」の割合が高く、0歳児、2歳児、3歳児、4歳児「女」の割合が高い。



《② 年齢》

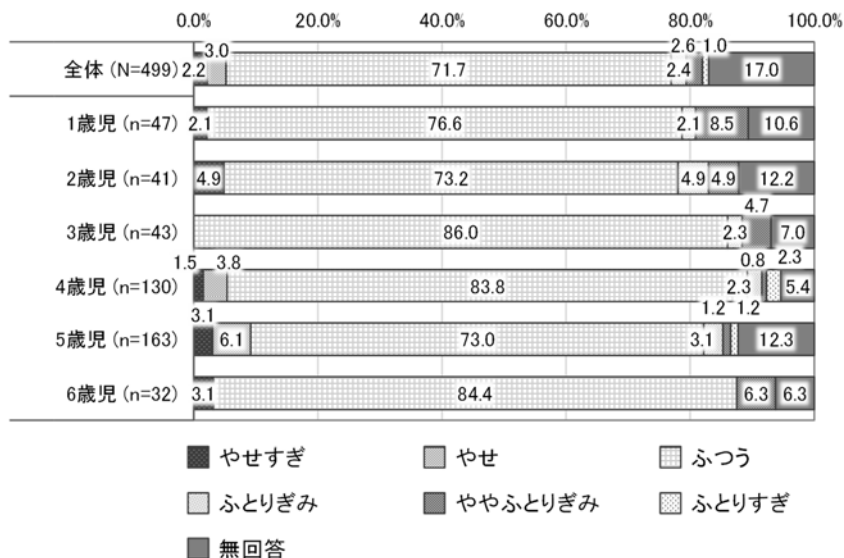
- 全体では、「5歳児」が32.7%と最も高く、次いで、「4歳児」(26.1%)、「1歳児」(9.4%)となっている。



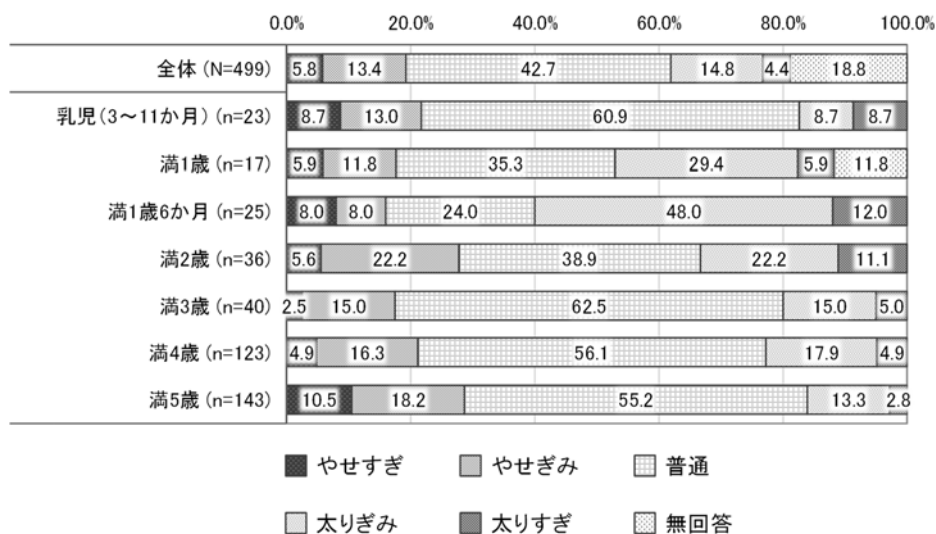
(4) お子さんの肥満の傾向 (※身長と体重から2つの判定方法で算出)

- 両方の判定方法において全体では、「普通」の割合が最も高くなっている。
- 性別身長別標準体重の判定において、やせの傾向は、3歳児では低くなっているが、5歳児では9.2%となっている。
- カウプ指数の判定においては満1歳、満1歳6か月の肥満の傾向が高くなっている。

《性別身長別標準体重による肥満判定(1歳～6歳)》



《カウプ指数による肥満判定(生後3カ月～5歳)》



※肥満度に関して、

標準体重を使用した性別身長別標準体重による肥満度判定と、
乳幼児の成長バランスを身長と体重から計算し、比体重を評価するための指標
であるカウプ指数から判定。

なお、性別身長別標準体重については6歳は学校保健統計調査方式による肥満度判定を使用している。

$$\text{式：} (\text{体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}) \div (\text{身長別標準体重 (kg)}) \times 100$$

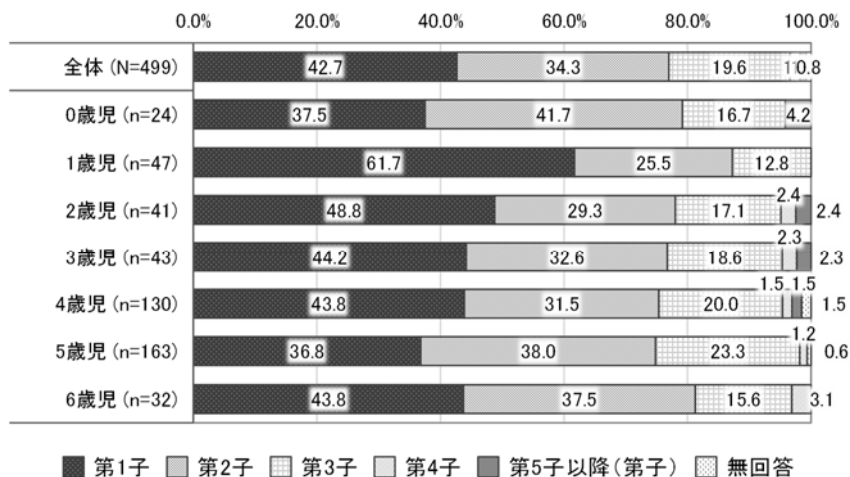
判定	やせすぎ	やせ	ふつう	ふとりぎみ	ややふとりぎみ	ふとりすぎ
1歳～ 5歳指数	-20% 以下	-20%超～ -15%以下	-15%超～ +15%未満	15%以上～ 20%未満	20%以上～ 30%未満	30% 以上
6歳指数	-30% 以下	-30%超～ -20%以下	-20%超～ +20%未満	20%以上～ 30%未満	30%以上～ 50%未満	50% 以上

$$\text{式：カウプ指数} = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (cm)} \times \text{身長 (cm)}) \times 10^4$$

判定基準	指数/判定	やせすぎ	やせぎみ	普通	太りぎみ	太りすぎ
	乳児（3か 月～）	14.5未満	14.5～16未 満	16～18未満	18～20未満	20以上
	満1歳	14.5未満	14.5～ 15.5未満	15.5～ 17.5未満	17.5～ 19.5未満	19.5以上
	満1歳6か 月	14未満	14～15未満	15～17未満	17～19未満	19以上
	満2歳	13.5未満	13.5～15未 満	15～17未満	17～ 18.5未満	18.5以上
	満3歳	13.5未満	13.5～ 14.5未満	14.5～ 16.5未満	16.5～ 18未満	18以上
	満4歳	13未満	13～ 14.5未満	14.5～ 16.5未満	16.5～ 18未満	18以上
	満5歳	13未満	13～ 14.5未満	14.5～ 16.5未満	16.5～ 18未満	18.5以上

(5) お子さんは何番目のお子さんですか。

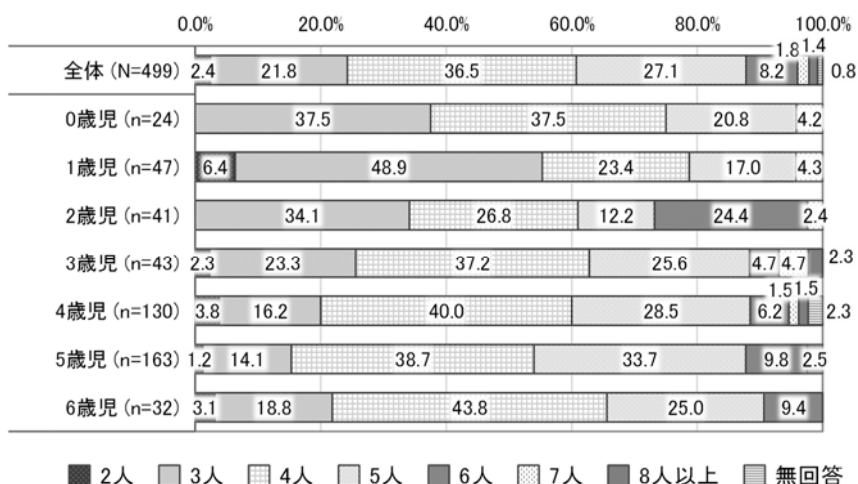
- 全体では、「第1子」が42.7%と最も高く、次いで、「第2子」(34.3%)、「第3子」(19.6%)となっている。
- 年齢別では、1歳児で「第1子」の割合が高くなっている。



(6) お子さんの同居家族は何人ですか。

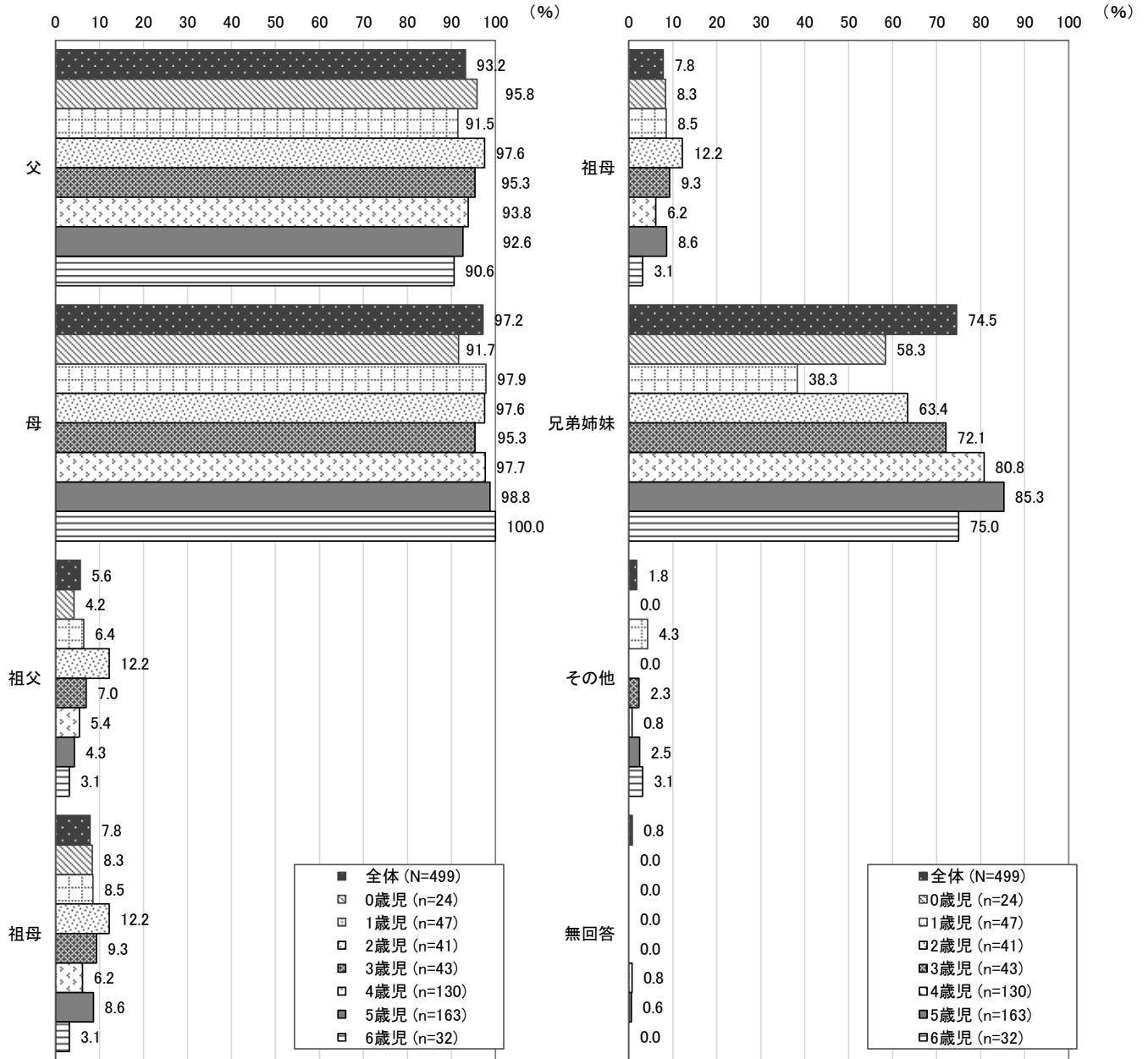
《① 人数(お子さん自身も含めて)》

- 全体では、「4人」が36.5%と最も高く、次いで、「5人」(27.1%)、「3人」(21.8%)となっている。
- 1歳児、2歳児では「3人」の割合が最も高く、他の年齢では「4人」の割合が最も高い。



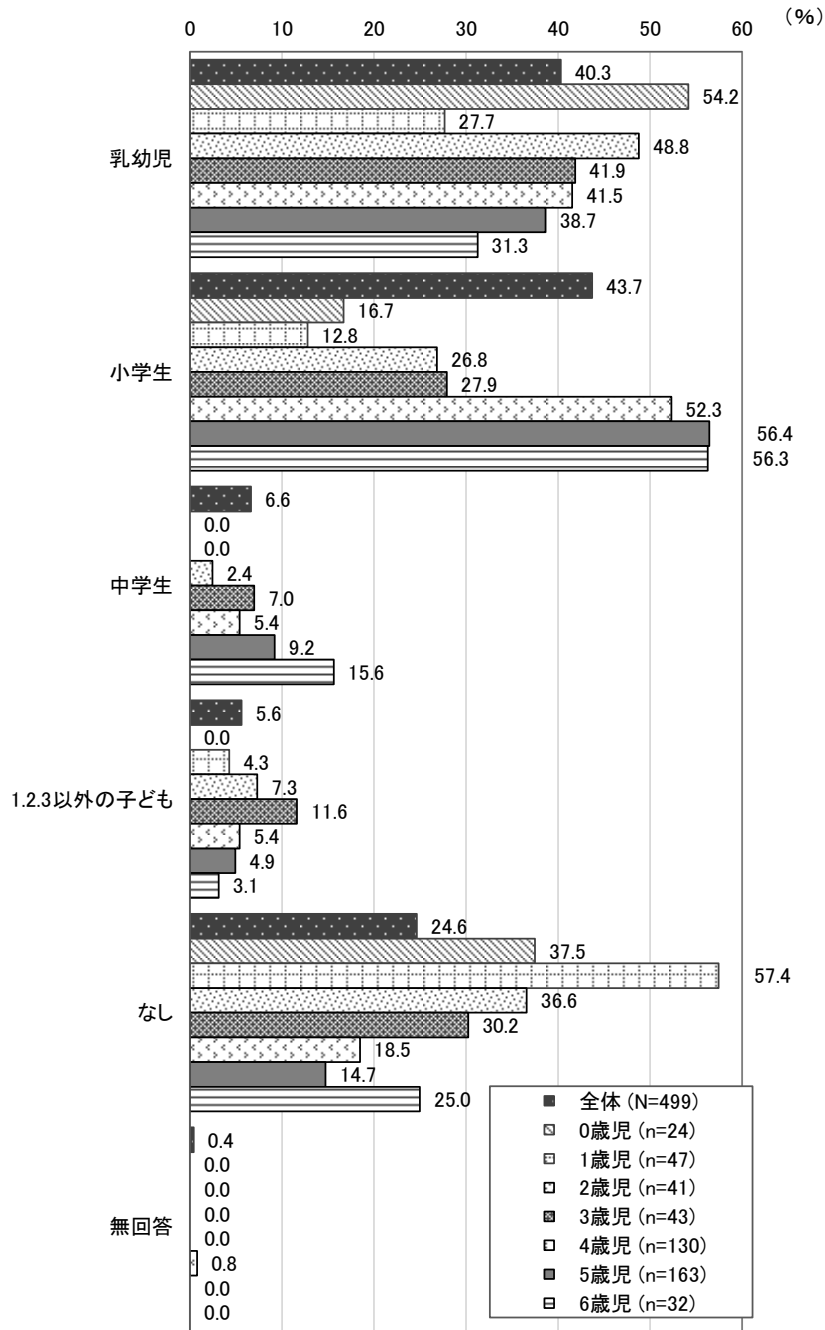
《② 同居相手》

- 全体では、「父」「母」と同居している割合が最も高い。
- 「兄弟姉妹」の割合で、1歳児の割合が低くなっている。



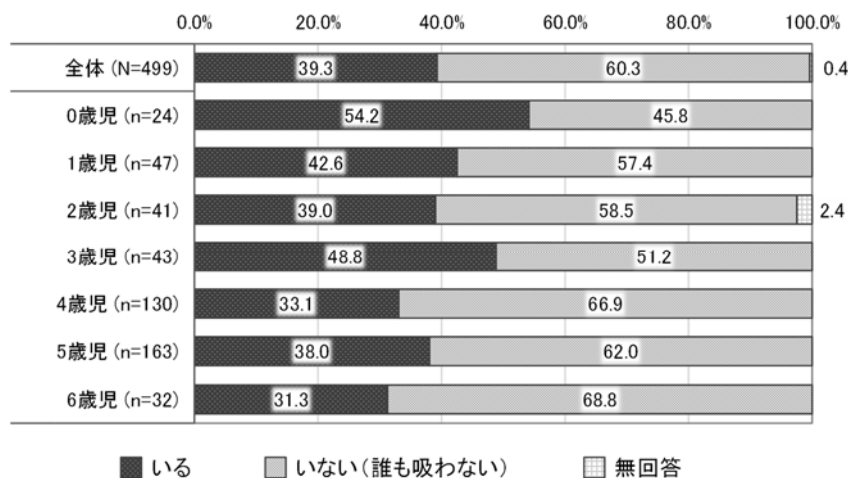
(7) お子さんの同居家族に18歳以下の方がいますか。

- ▶ 全体では、「小学生」が43.7%と最も高く、次いで、「乳幼児」(40.3%)、「なし」(24.6%)となっている。



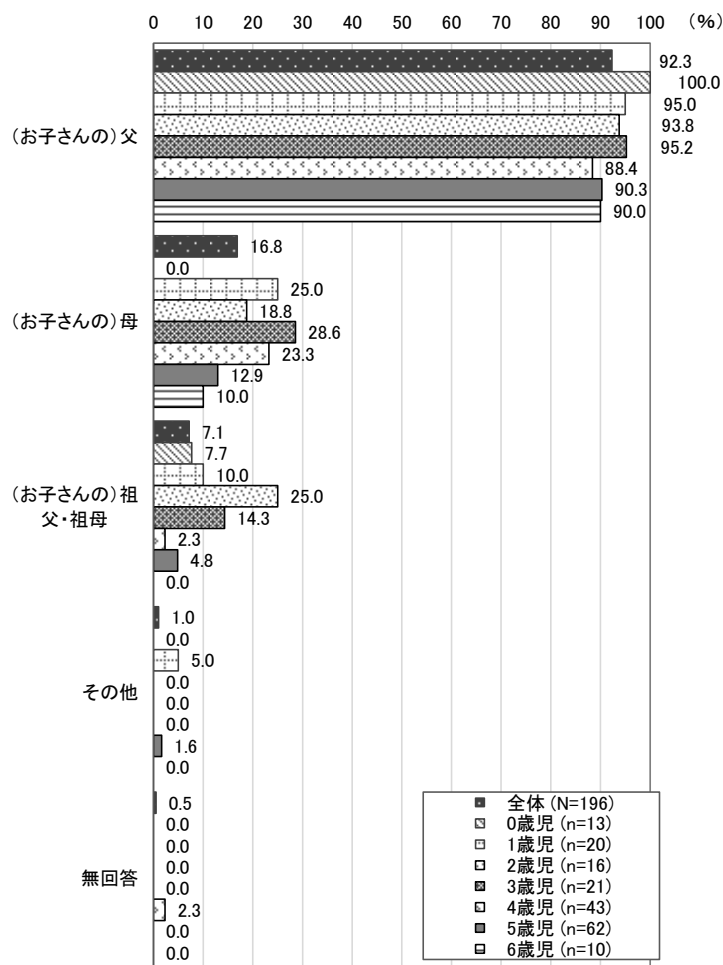
(8) お子さんの同居家族の中に、たばこを吸う人（喫煙者）はいますか。

- 全体では、「いない（誰も吸わない）」が60.3%と最も高く、次いで、「いる」（39.3%）となっている。



(8) -1⁶¹ たばこを吸うのはどなたですか。

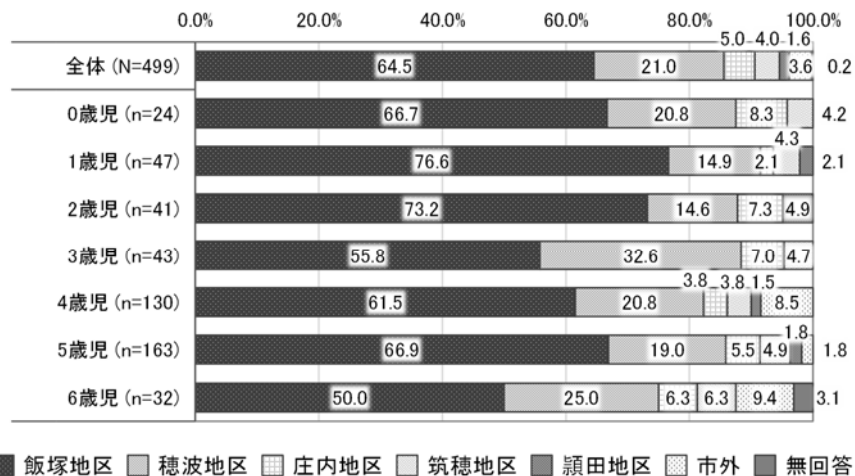
- 全体では、「(お子さんの) 父」が92.3%と最も高く、次いで、「(お子さんの) 母」(16.8%)、「(お子さんの) 祖父・祖母」(7.1%)となっている。



⁶¹ (1) で「いる」に○をつけた方のみ回答。

(9) お子さんがお住まいの地区はどこですか。(※小学校を参照)

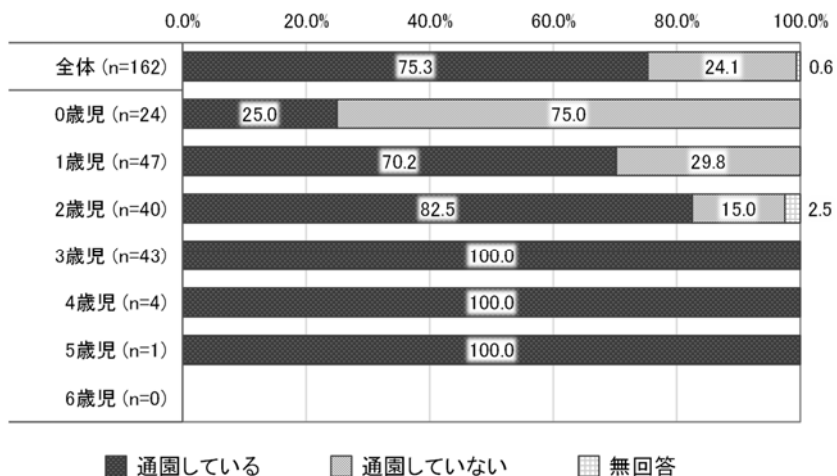
- ▶ 全体では、「飯塚地区」が64.5%と最も高く、次いで、「穂波地区」(21.0%)、「庄内地区」(5.0%)となっている。



乳幼児のみ設問

(1) お子さんは保育所、幼稚園又はこども園等に通園していますか。

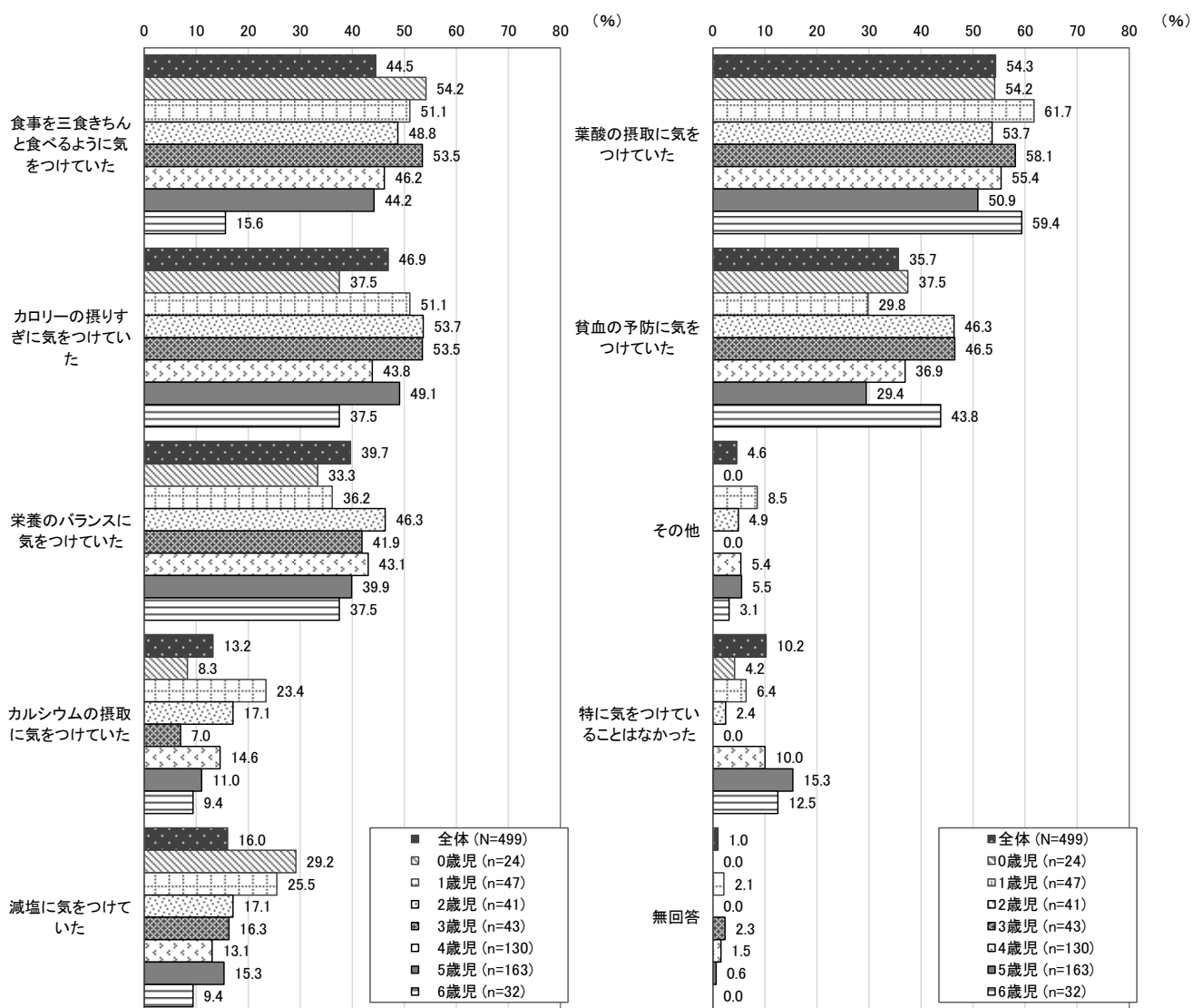
- ▶ 全体では、「通園している」が75.3%と最も高い。
- ▶ 1歳児から、「通園している」割合が高くなっている。



2. お子さんを妊娠中から産後の時のことについて

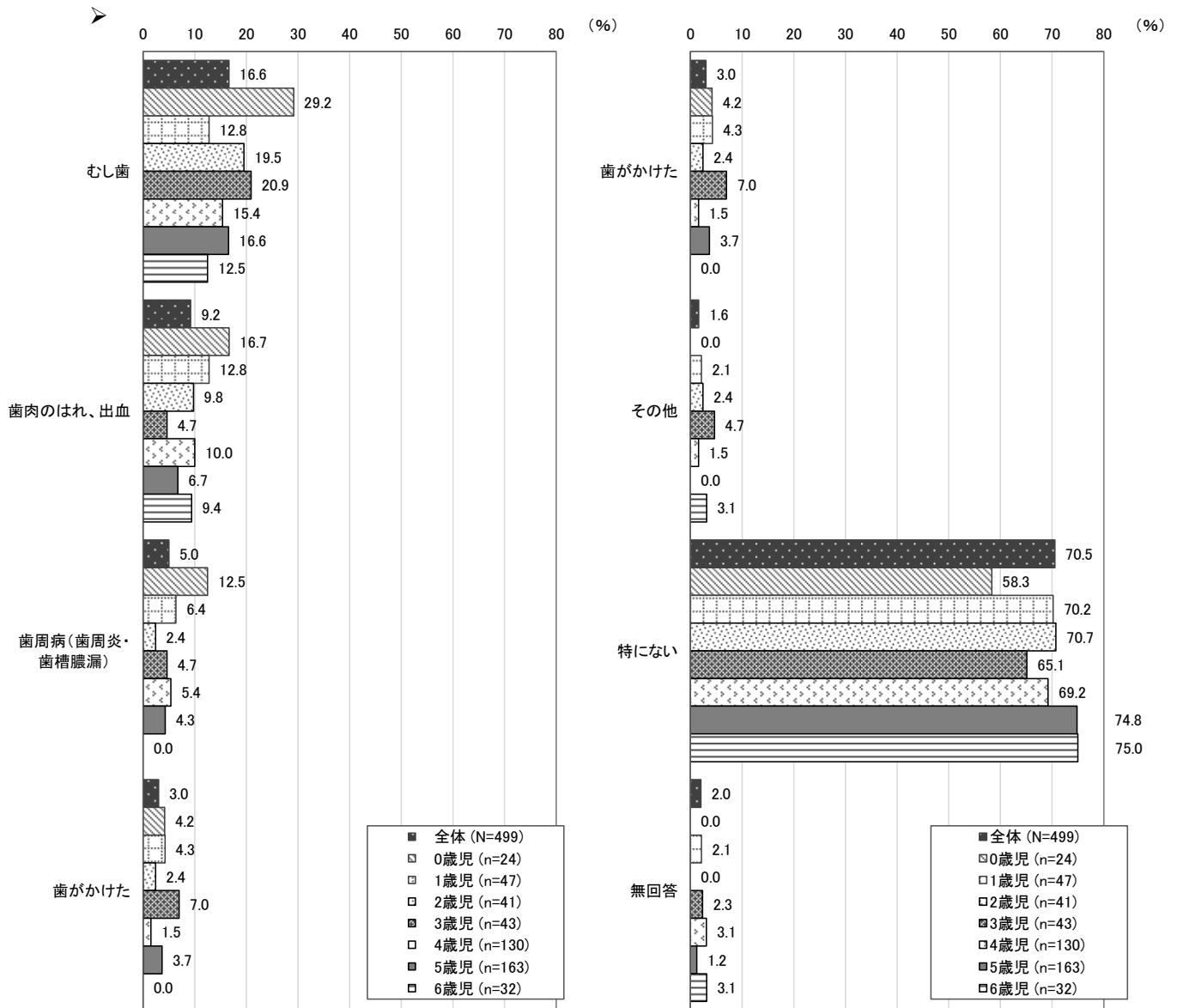
(1) あなたは妊娠中の食事について、どのようなことに気をつけていましたか。

- 全体では、「葉酸の摂取に気をつけていた」が54.3%と最も高く、次いで、「カロリーの摂りすぎに気をつけていた」(46.9%)、「食事を三食きちんと食べるように気をつけていた」(44.5%)となっている。



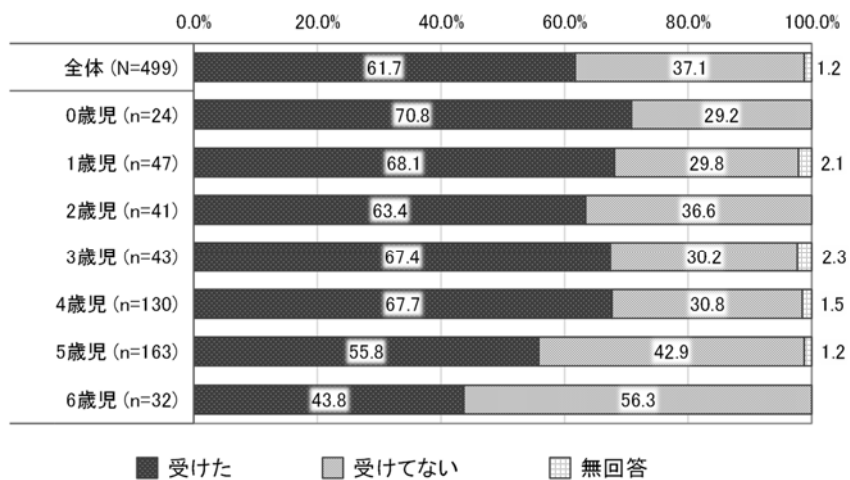
(2) あなたは、妊娠中に次のような口の中に関する症状が起きましたか。

➤ 全体では、「特にない」が70.5%と最も高く、次いで、「むし歯」(16.6%)、「歯肉のはれ、出血」(9.2%)となっている。



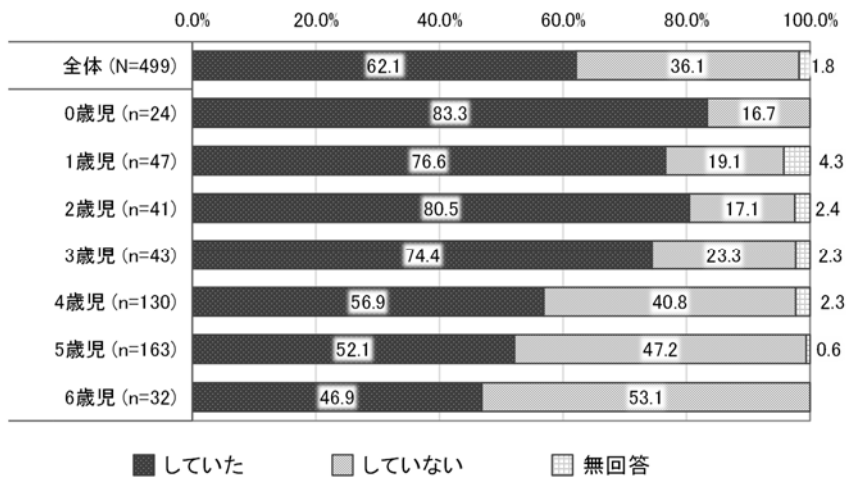
(3) あなたは妊娠中に歯科検診を受けましたか。

- 全体では、「受けた」が61.7%と最も高い。



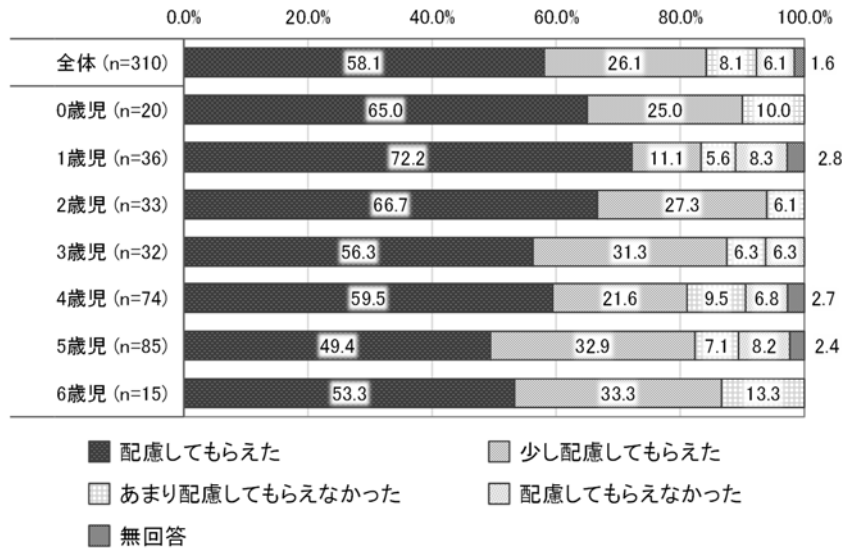
(4) あなたは妊娠した時に仕事をしていましたか。

- 全体では、「していた」が62.1%と最も高い。
➤ 0歳児～3歳児では「していた」の割合が7割以上を占めている。



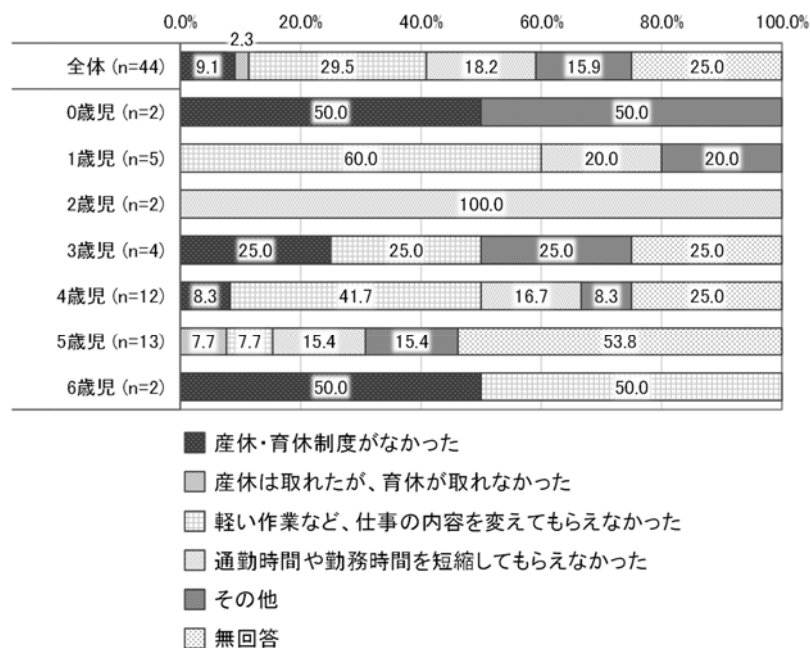
(4) -1⁶² 妊娠していたことで、仕事上配慮してもらえたと思いますか。

- 全体では、「配慮してもらえた」と「少し配慮してもらえた」の割合が8割以上を占める。
- 「配慮してもらえた」と「少し配慮してもらえた」割合は2歳児が最も高い。
- 「あまり配慮してもらえなかった」と「配慮してもらえなかった」割合は4歳児、5歳児が高くなっている。



(4) -2⁶³ どのようなことで配慮してもらえませんでしたか。

- 全体では、「軽い作業など、仕事の内容を変えてもらえなかった」が29.5%と最も高く、次いで、「通勤時間や勤務時間を短縮してもらえなかった」(18.2%)、「その他」(15.9%)となっている。

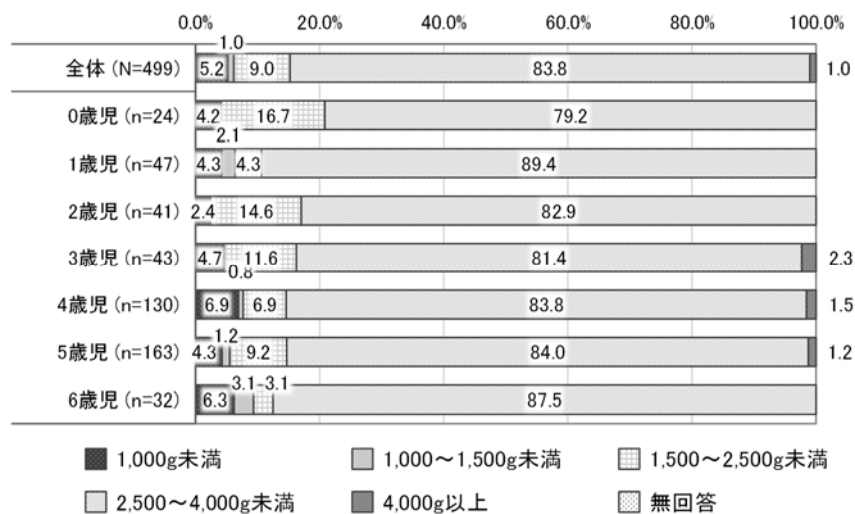


⁶² (4) で「していた」に○をつけた方のみ回答。

⁶³ (4) -1 で「あまり配慮してもらえなかった」「配慮してもらえなかった」に○をつけた方のみ回答。

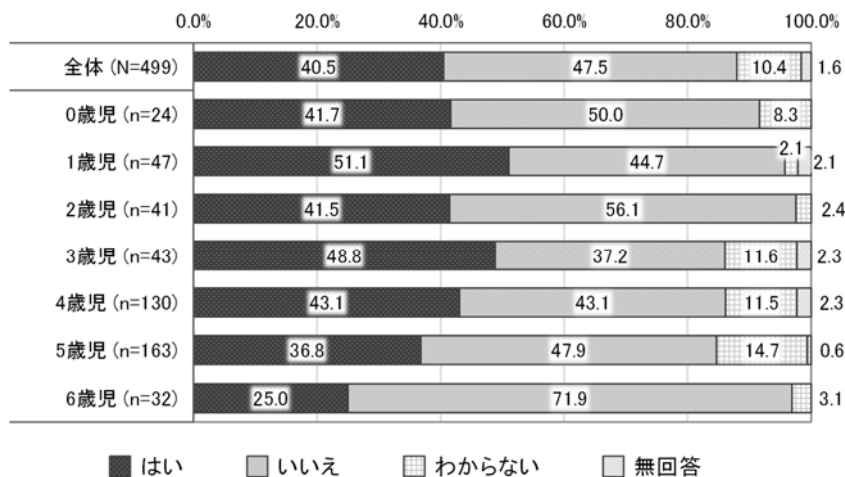
(5) お子さんの出生時の体重をご記入ください。

➤ 全体では、「2,500～4,000g未満」が83.8%と最も高い。



(6) 産後1か月くらいの中に、気分が沈んだり涙もろくなったり、何もする気になれないということがありましたか。

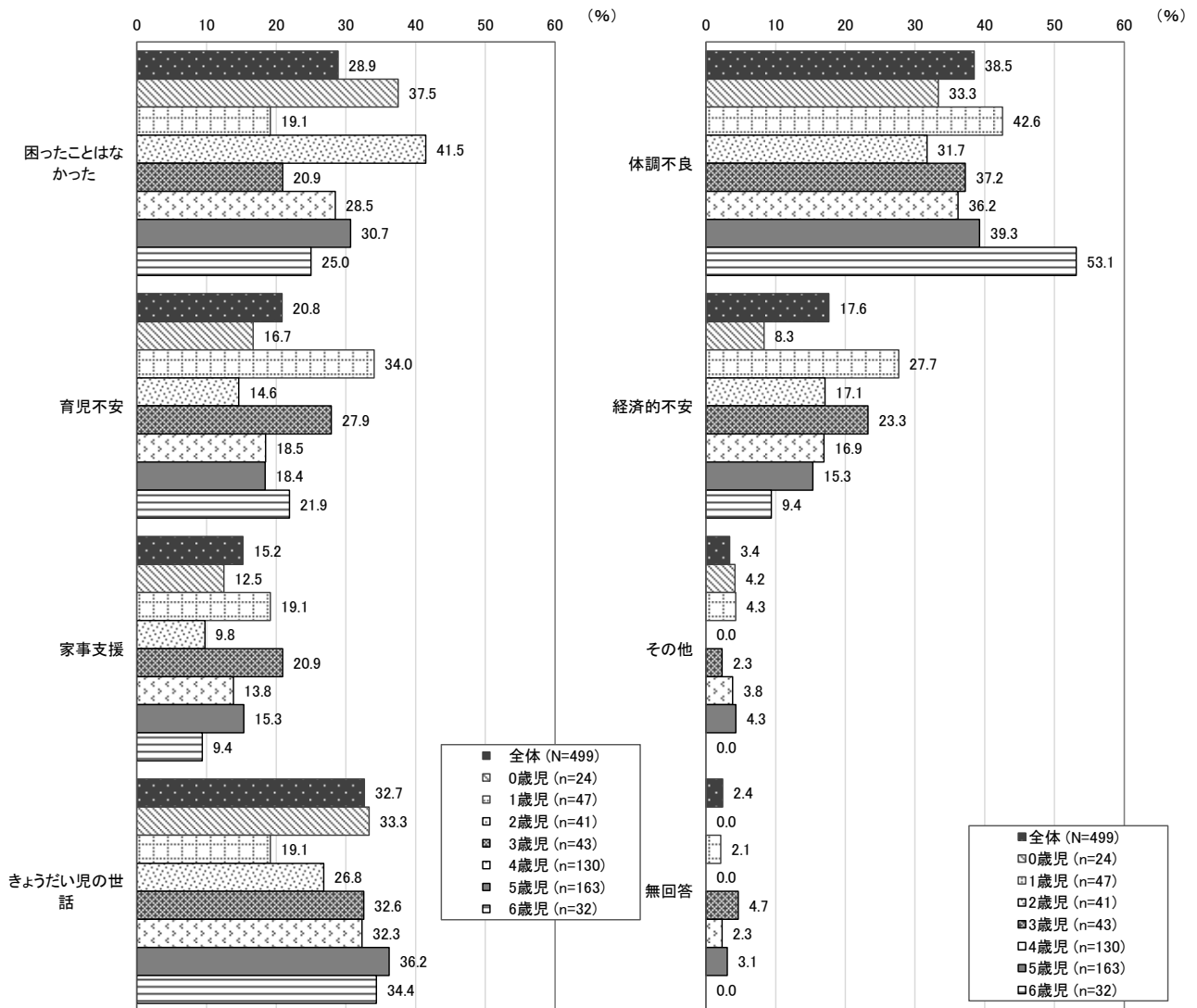
➤ 全体では、「いいえ」が47.5%と最も高い。



(7) 妊娠中あるいは産後1～3か月間の子育てにおいて、どのようなことに困りましたか。

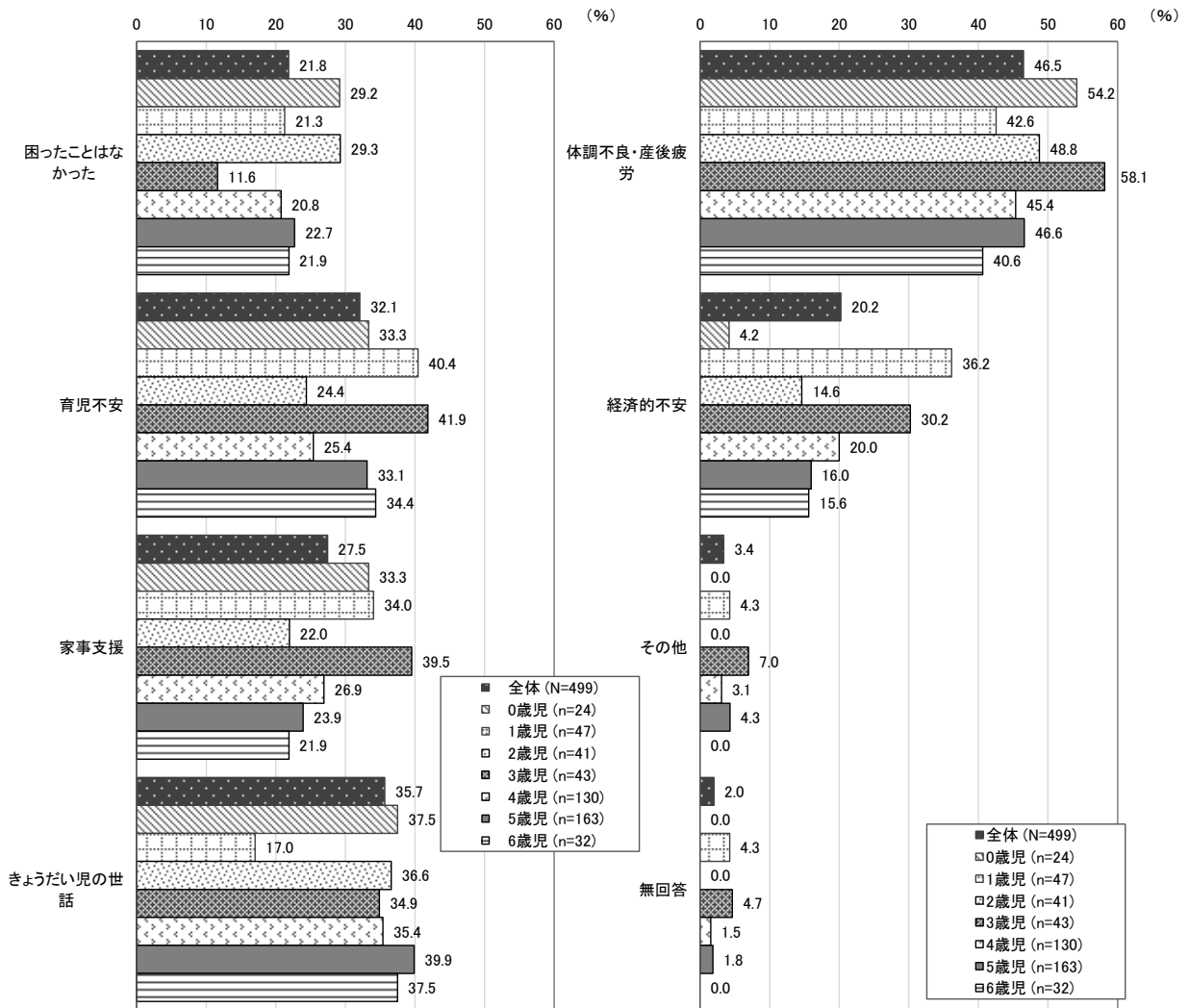
《① 妊娠中》

- 全体では、「体調不良」が38.5%と最も高く、次いで、「きょうだい児の世話」(32.7%)、「困ったことはなかった」(28.9%)となっている。
- 年齢別では、「育児不安」が1歳児と3歳児で高くなっており、「体調不良」が6歳児で高くなっている。



《② 産後》

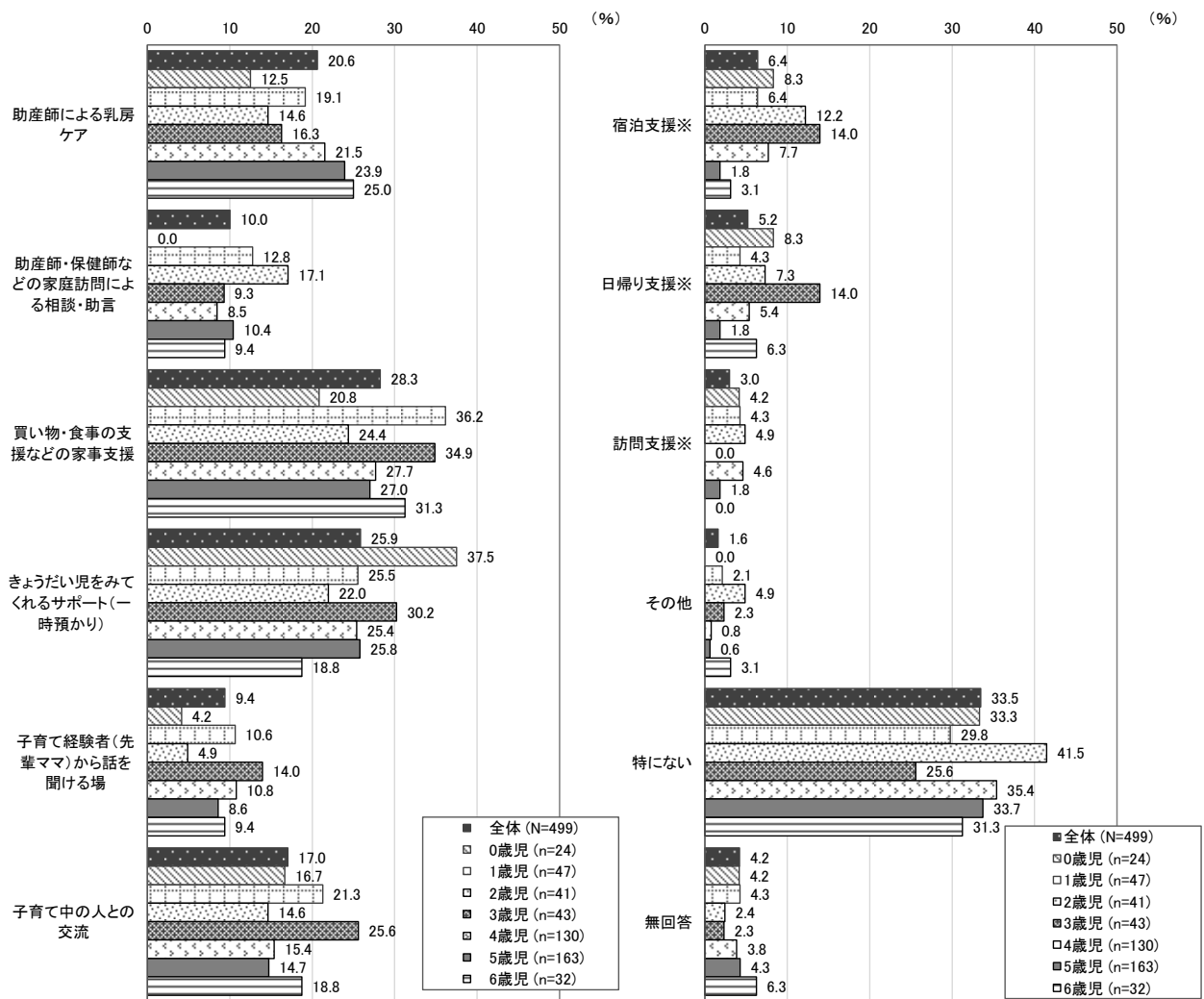
- 全体では、「体調不良・産後疲労」が46.5%と最も高く、次いで、「きょうだい児の世話」(35.7%)、「育児不安」(32.1%)となっている。
- 年齢別では、0歳児で「経済的不安」は低いが、他の不安が高くなっている傾向がある。また、3歳児では「困ったことはなかった」が11.6%と最も低く、「育児不安」や「家事支援」、「体調不良・産後疲労」の割合が高くなっている。



(8) 妊娠中あるいは産後1～3か月間のサポートとして、どのようなサービスを受けたいですか。

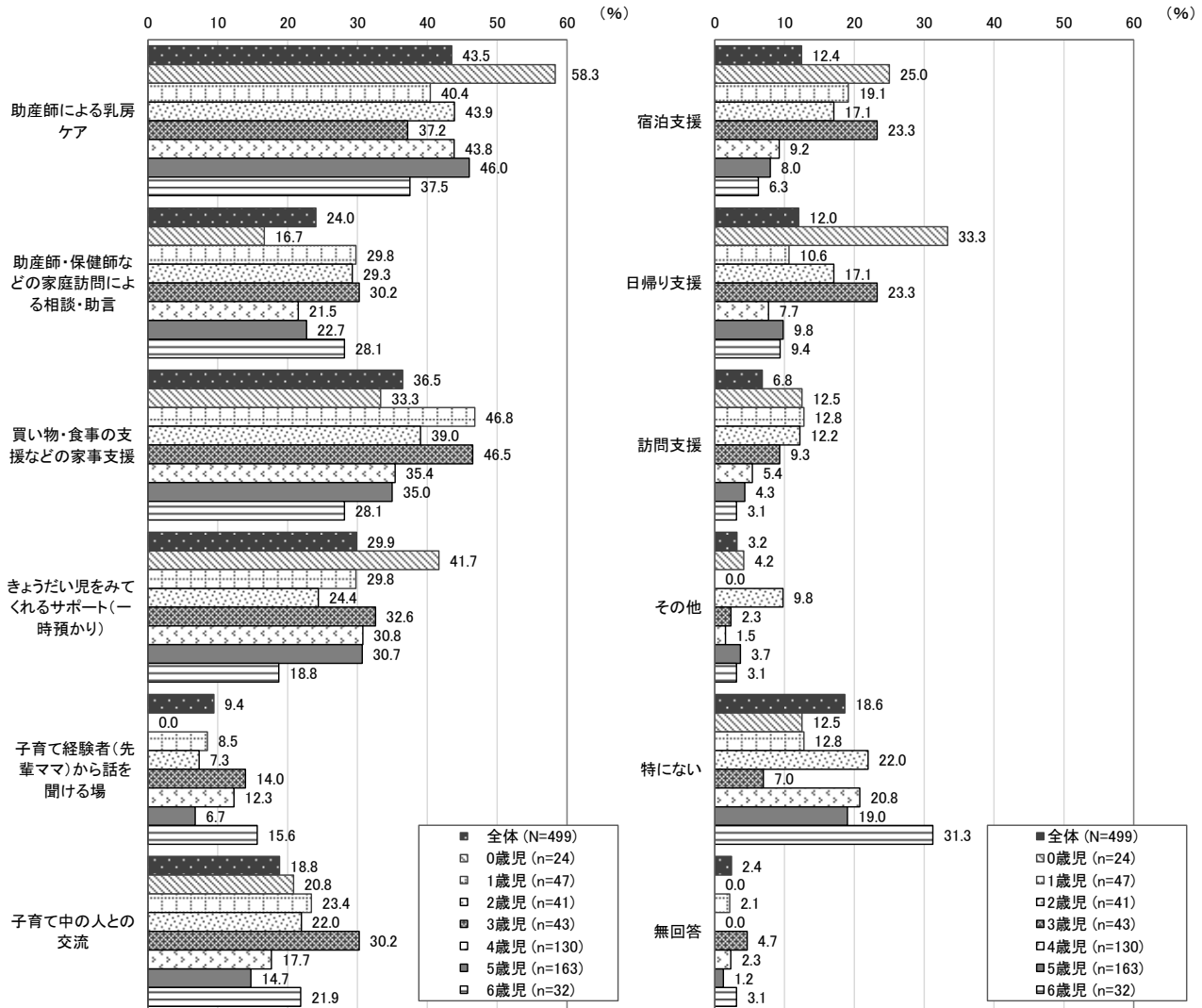
《① 妊娠中》

- 全体では、「買い物・食事の支援などの家事支援」が28.3%と最も高く、次いで、「特にない」(27.9%)、「きょうだい児をみてくれるサポート(一時預かり)」(25.9%)となっている。



《② 産後》

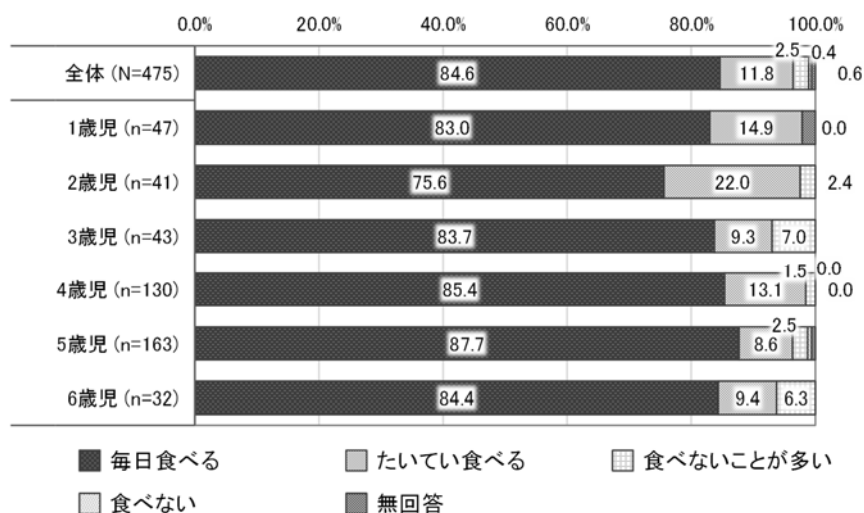
- ▶ 全体では、「助産師による乳房ケア」が43.5%と最も高く、次いで、「買い物・食事の支援などの家事支援」(36.5%)、「きょうだい児をみてるサポート(一時預かり)」(29.9%)となっている。



3. お子さんの食生活について⁶⁴

(1) お子さんは、朝ごはんを食べていますか。

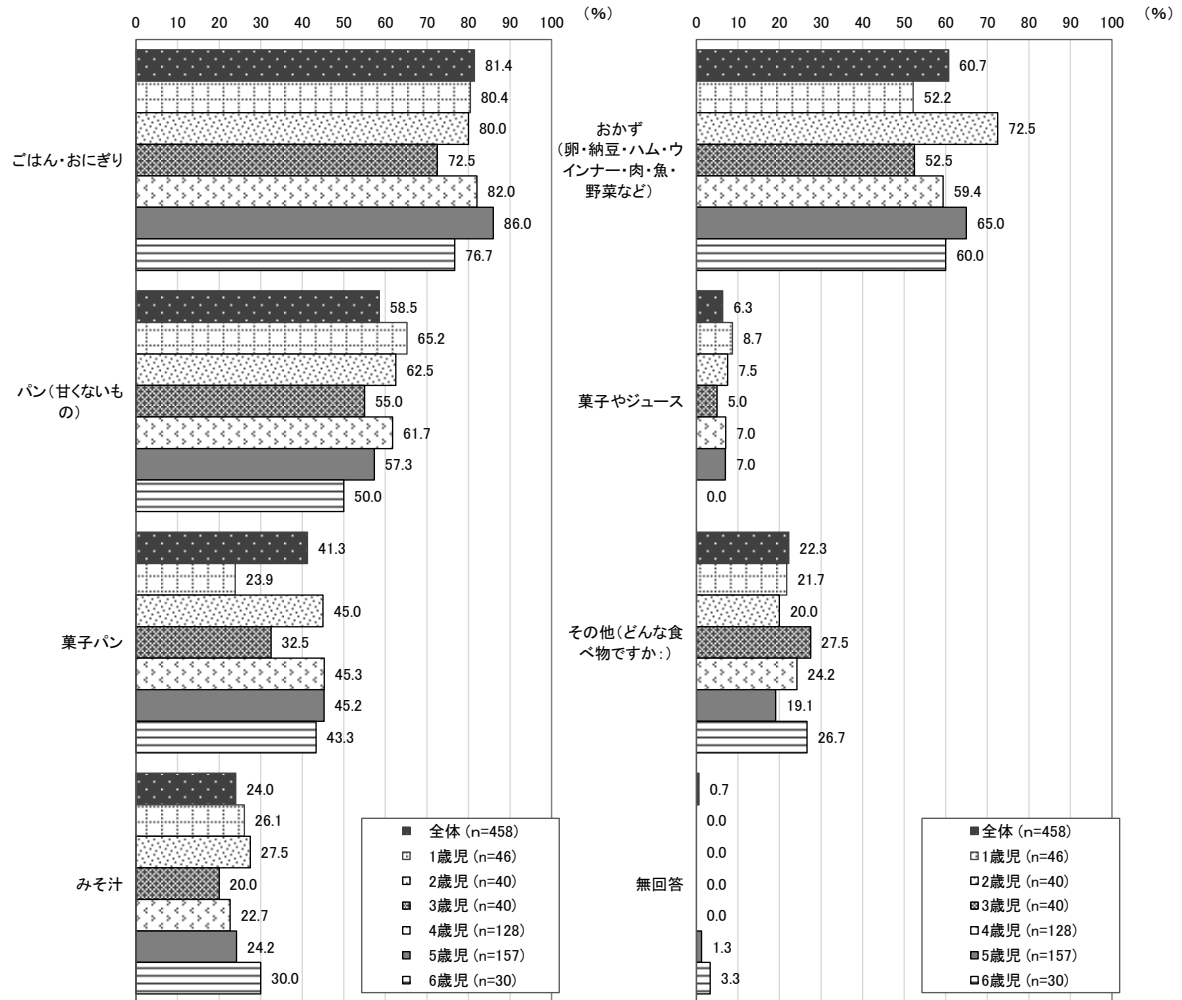
- 全体では、「毎日食べる」が84.6%と最も高い。
- 年齢別では、「毎日食べる」割合は2歳児が最も低い。



⁶⁴ 1歳以上のお子さんだけの設問。

(1) -1⁶⁵ お子さんはふだんどのような朝食を食べていますか。

- ▶ 全体では、「ごはん・おにぎり」が81.4%と最も高く、次いで、「おかず（卵・納豆・ハム・ウインナー・肉・魚・野菜など）」(60.7%)、「パン（甘くないもの）」(58.5%)となっている。



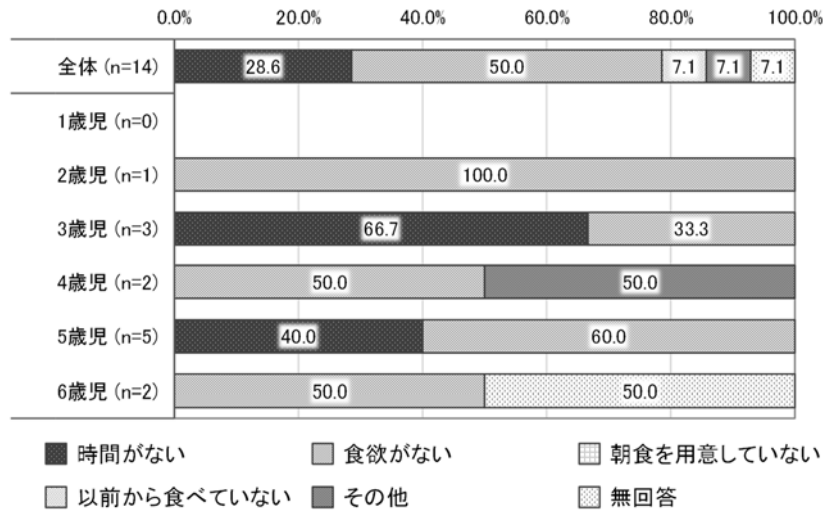
その他に関しては、以下のような回答があった。

- ・「チーズ」・「ヨーグルト」・「バナナ」・「牛乳」
- ・「コーンフレーク」・「フルーツ」・「うどんやラーメンなど麺類」
- ・「プリン」・「栄養補助食品ジュース」・「薬」

⁶⁵ (1) で「毎日食べる」「たいてい食べる」に○をつけた方のみ回答。

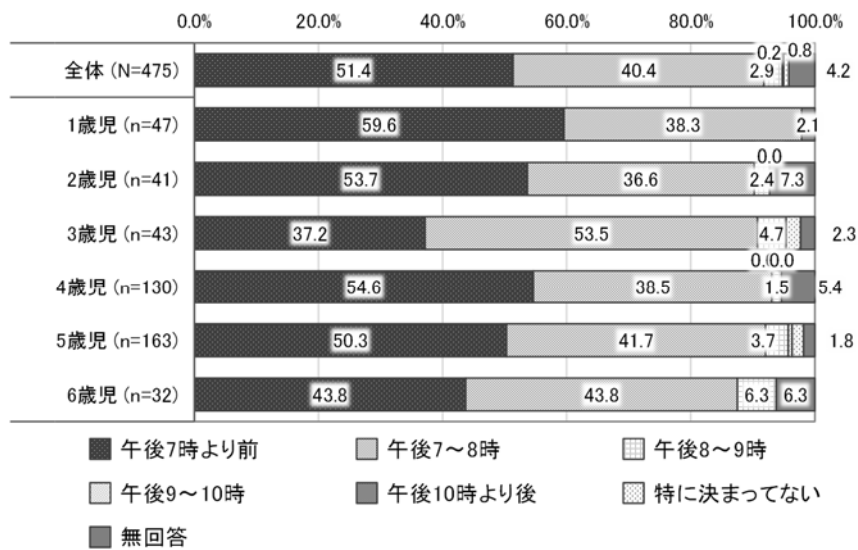
(1) -2⁶⁶ お子さんが食べない一番の理由は何ですか。

- 全体では、「食欲がない」が50.0%と最も高い。
- 1歳児においては、食べないと回答した人はいなかった。



(2) お子さんは、夕食を何時ごろ食べますか。

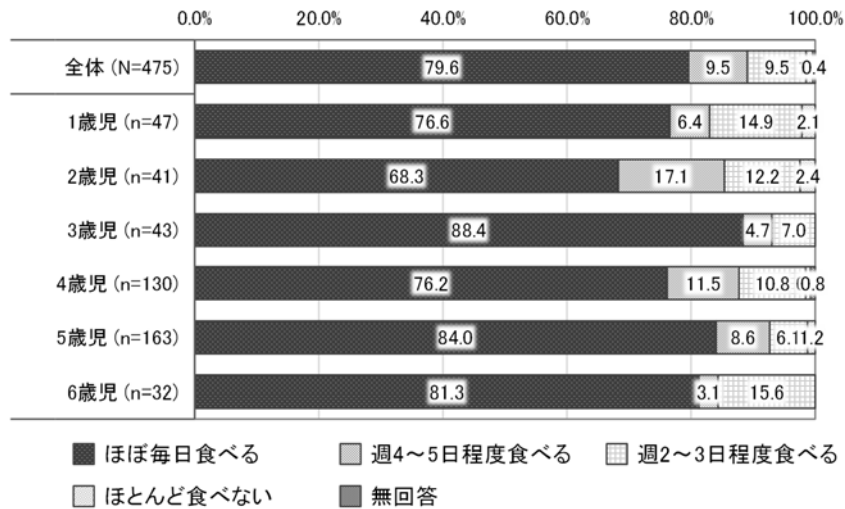
- 全体では、「午後7時より前」が51.4%と最も高く、次いで、「午後7～8時」(40.4%)、「午後8～9時」(2.9%)となっている。
- 年齢別では、大きな差異はみられない。



⁶⁶ (1) で「食べないことが多い」「食べない」に○をつけた方のみ回答。

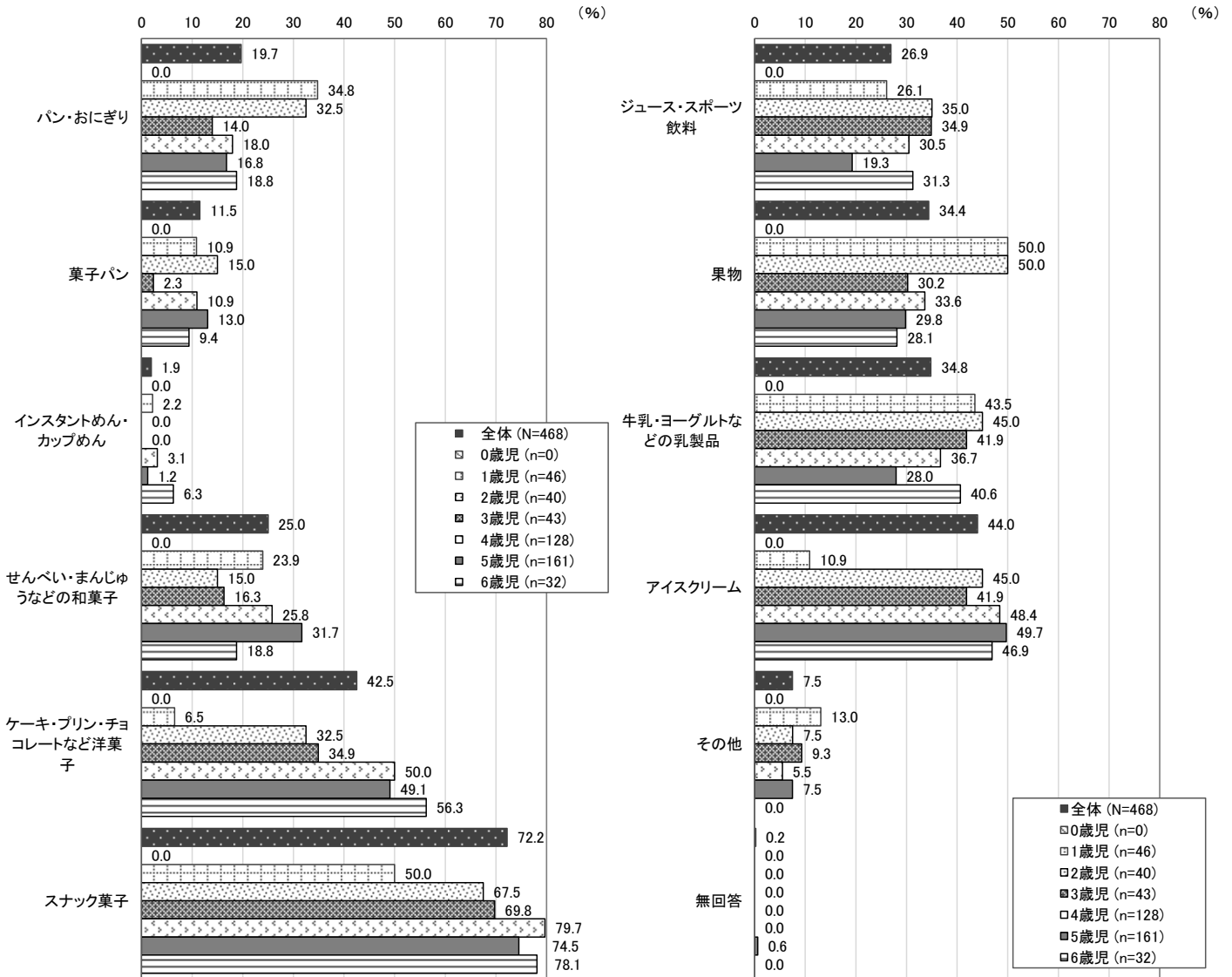
(3) お子さんはおやつ（夜食を含む間食）を週に何回程度食べますか。

- 全体では、「ほぼ毎日食べる」が79.6%と最も高く、次いで、「週2～3日程度食べる」「週4～5日程度食べる」(9.5%)、となっている。
- 年齢別では、「ほぼ毎日食べる」と回答した割合は、2歳児で68.3%と最も低く、3歳児では88.4%と最も高くなっている。



(3) -1⁶⁷ お子さんはどのようなものを食べていますか。

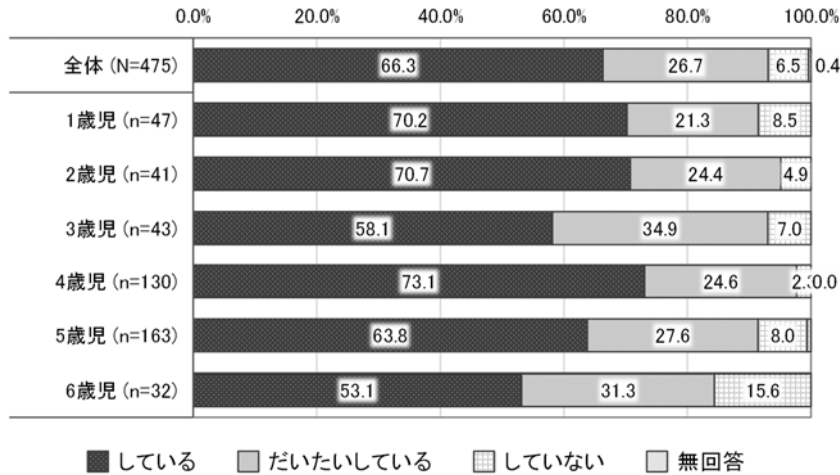
- 全体では、「スナック菓子」が72.2%と最も高く、次いで、「アイスクリーム」(44.0%)、「ケーキ・プリン・チョコレートなど洋菓子」(42.5%)となっている。



⁶⁷ (3) で「ほぼ毎日食べる」「週4～5日程度食べる」「週2～3日程度食べる」に○をつけた方のみ回答。

(4) お子さんは、食事のときに「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。

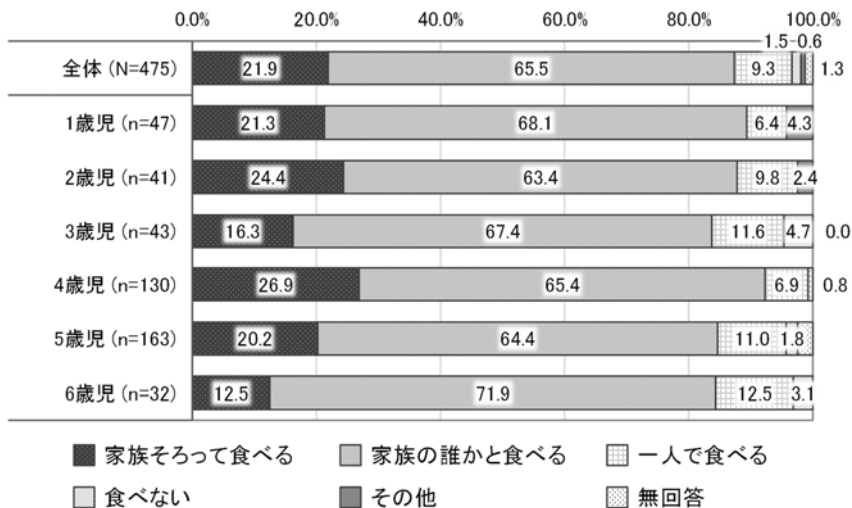
- 全体では、「している」と「だいたいしている」で9割以上を占める。
- 年齢別では、大きな差異はみられない。



(5) お子さんはふだん、誰と食事をすることが多いですか。

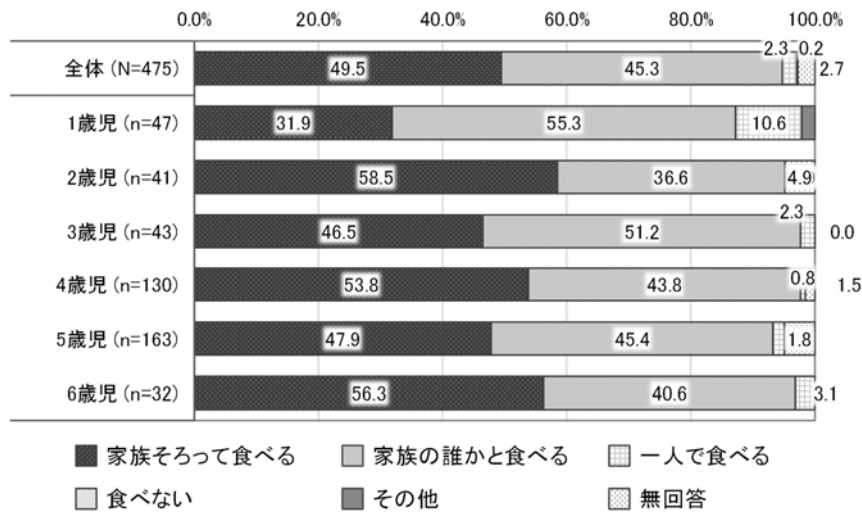
《① 朝食》

- 全体では、「家族の誰かと食べる」が65.5%と最も高い。
- 年齢別では、「家族そろって食べる」割合が3歳児と6歳児で低くなっている。



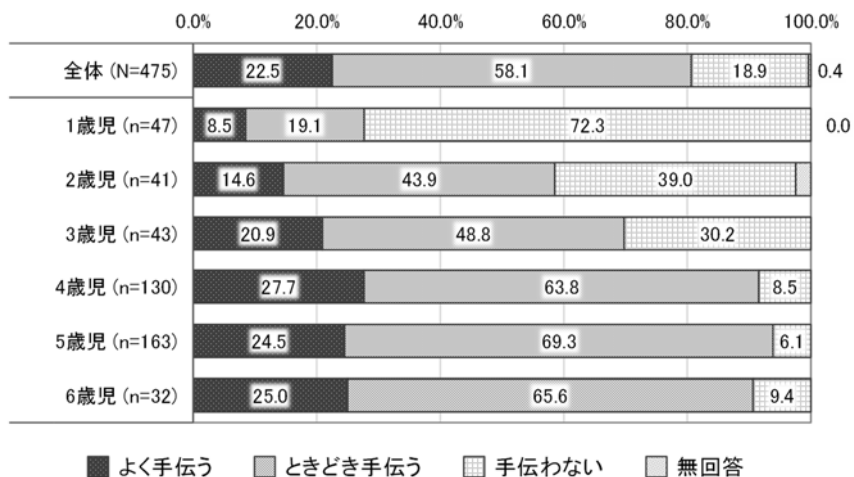
《② 夕食》

- 全体では、「家族そろって食べる」と「家族の誰かと食べる」で9割以上を占める。
- 年齢別では、「家族そろって食べる」割合は1歳児が最も低くなっている。



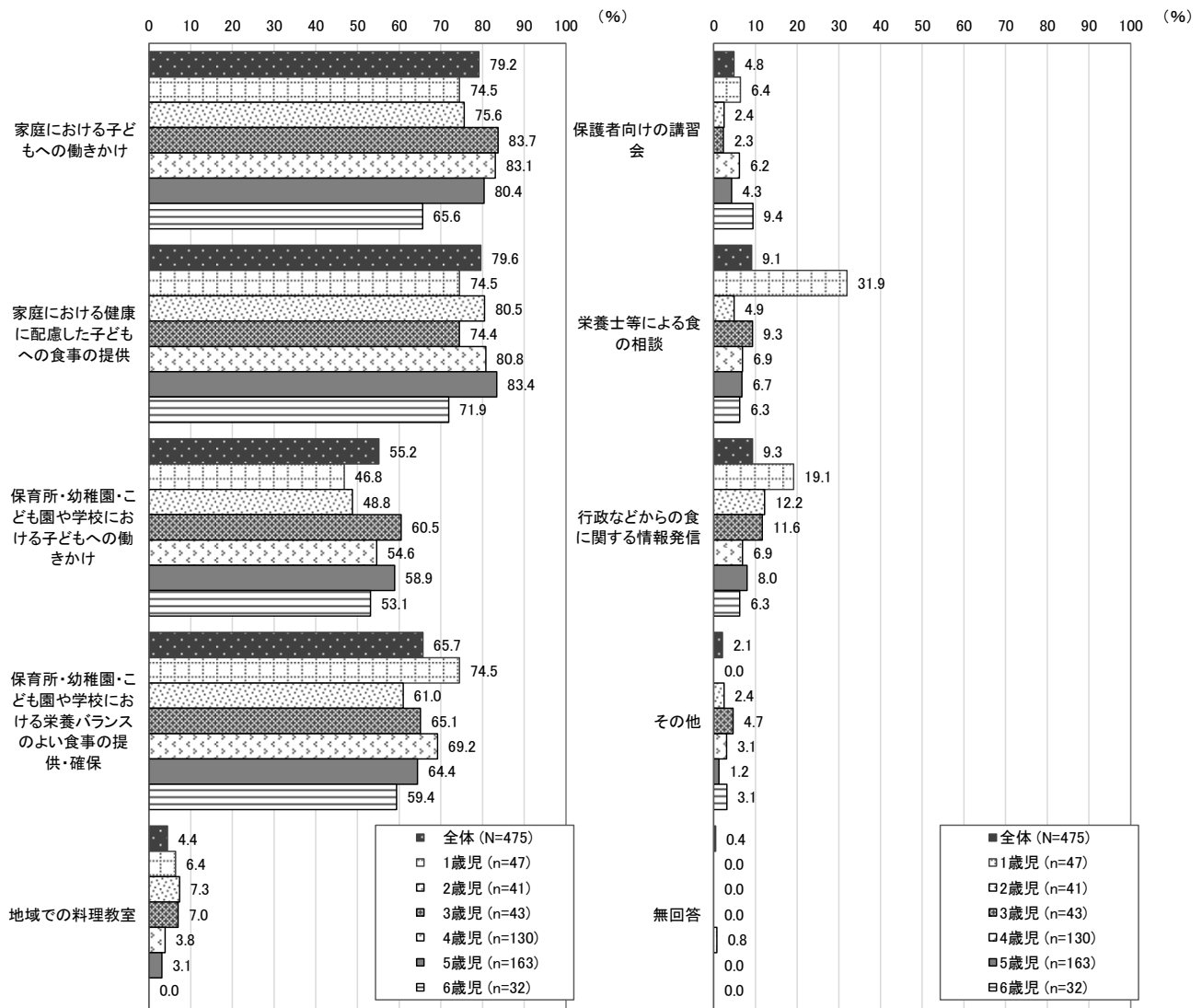
(6) お子さんは、「食器をならべる」「片づける」など、食事の準備や食事づくりを手伝っていますか。

- 全体では、「ときどき手伝う」が58.1%と最も高い。
- 年齢別では、「手伝わない」割合は4歳児以上から低くなっている。



(7) あなたは、お子さんが健康的な食習慣を身につけるためには何が必要だと思いますか。

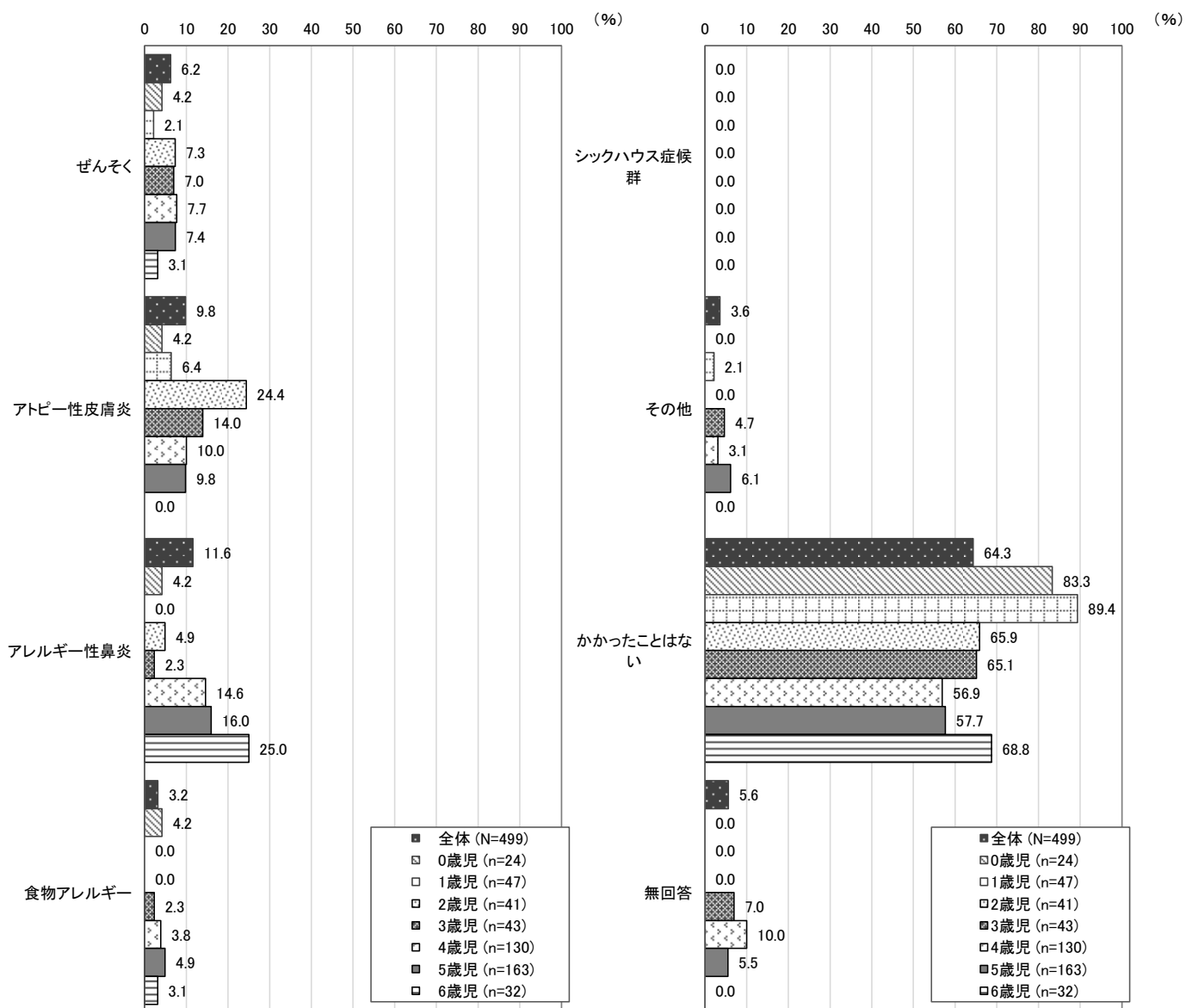
- ▶ 全体では、「家庭における健康に配慮した子どもへの食事の提供」が79.6%と最も高く、次いで、「家庭における子どもへの働きかけ」(79.2%)、「保育所・幼稚園・こども園や学校における栄養バランスのよい食事の提供・確保」(65.7%)となっている。



4. お子さんの健康状態について

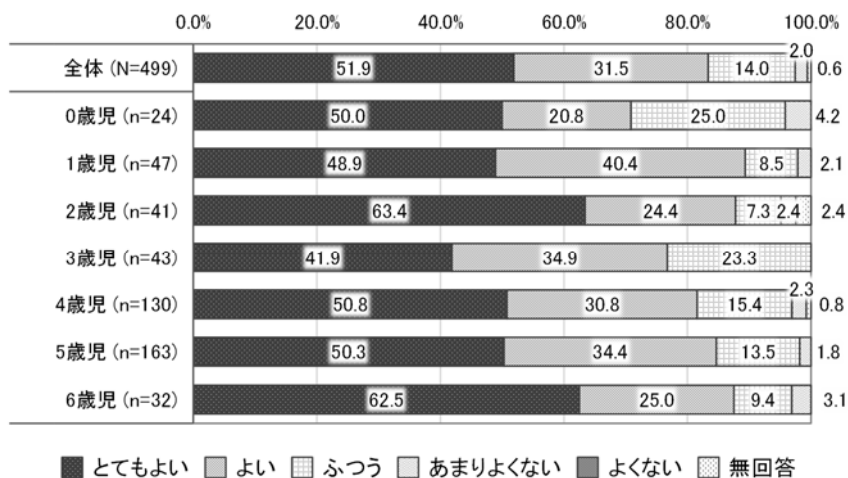
(1) お子さんは現在次のようなアレルギー性の病気で、治療中のものはありますか。

- 全体では、「かかったことがない」が64.3%と最も高い。
- アレルギー内容については「アレルギー性鼻炎」(11.6%)、「アトピー性皮膚炎」(9.8%)が比較的高くなっている。



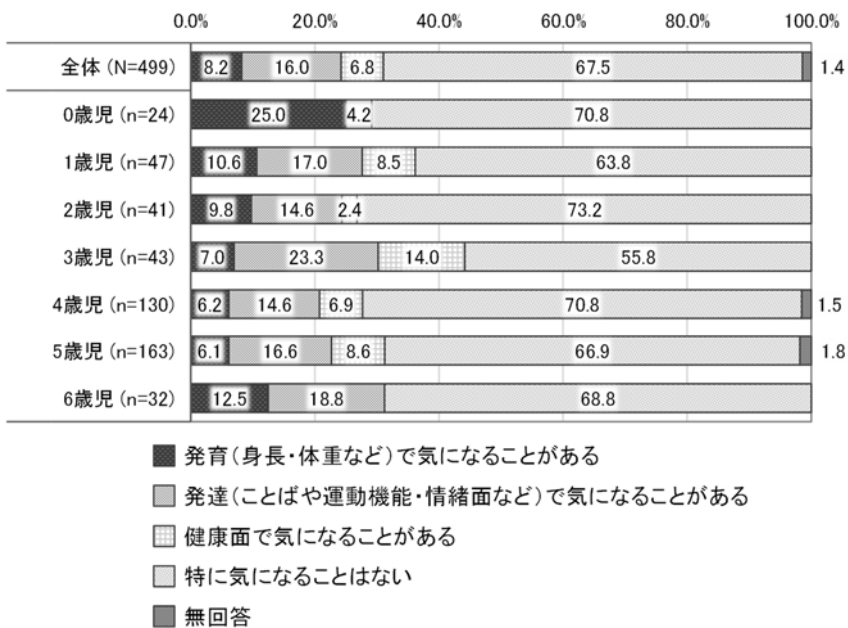
(2) お子さんの現在の健康状態を次の中から選んでください。

- 全体では、「とてもよい」が51.9%と最も高く、次いで、「よい」(31.5%)、「ふつう」(14.0%)となっている。



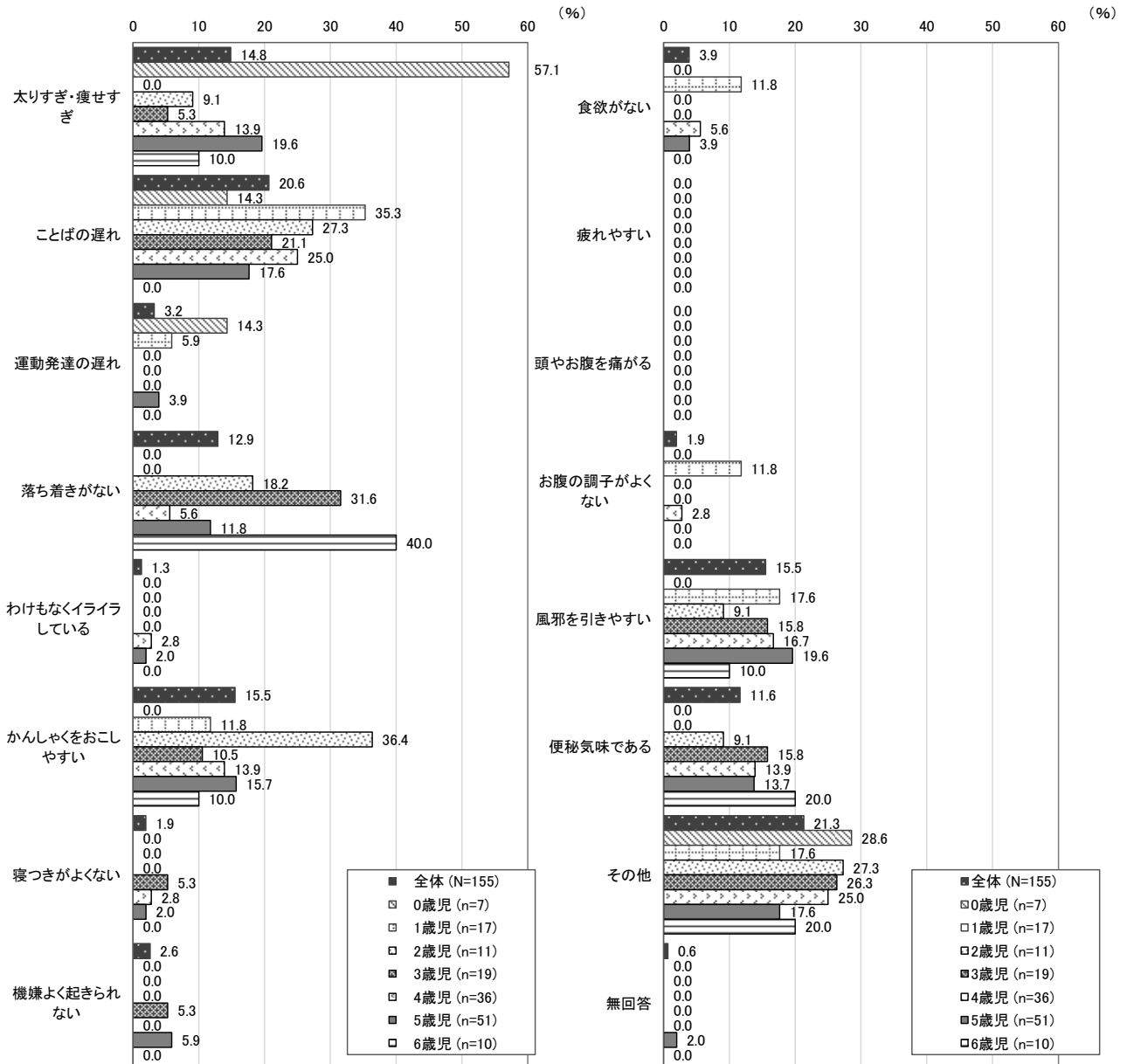
(3) お子さんの様子で、現在気になることはありますか。

- 全体では、「特に気になることはない」が67.5%と最も高く、次いで、「発達(ことばや運動機能・情緒面など)で気になることがある」(16.0%)、「発育(身長・体重など)で気になることがある」(8.2%)となっている。



(3) -1⁶⁸ お子さんの様子で気になることは具体的にどのようなことですか。

- ▶ 全体では、「その他」が21.3%と最も高く、次いで、「ことばの遅れ」(20.6%)、「風邪を引きやすい」「かんしゃくをおこしやすい」(15.5%)となっている。

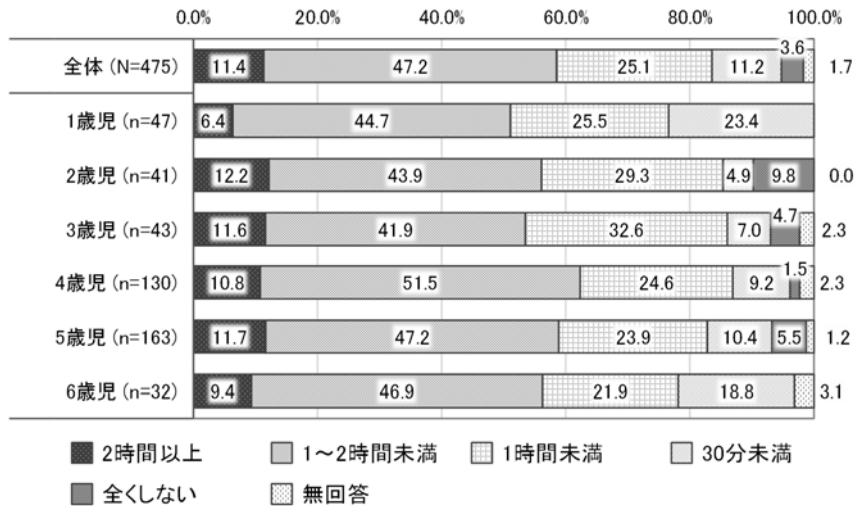


⁶⁸ (3) で気になることがある方のみ回答。

5. お子さんの生活習慣について⁶⁹

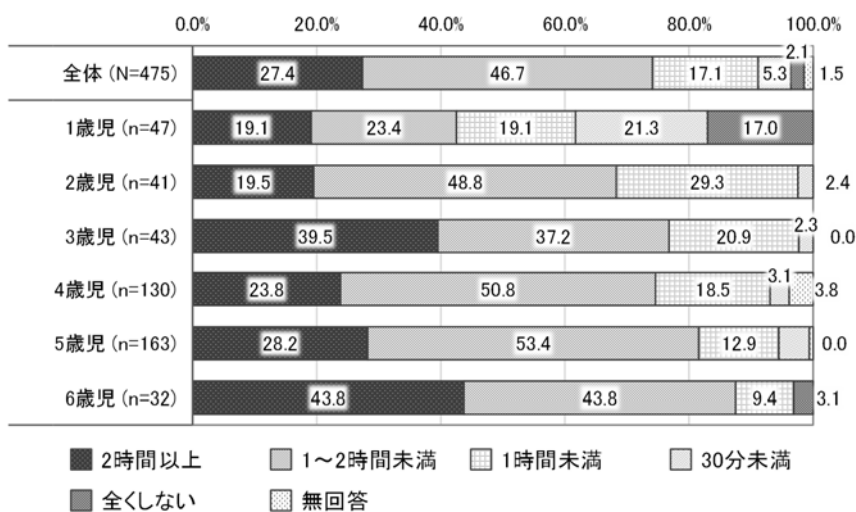
(1) お子さんは、1日どれくらい外遊びをしていますか。

- 全体では、「1～2 時間未満」が 47.2%と最も高く、次いで、「1 時間未満」(25.1%)、「2 時間以上」(11.4%) となっている。



(2) お子さんは、1日にどれくらいテレビやスマホをみたり、ゲームをしますか。

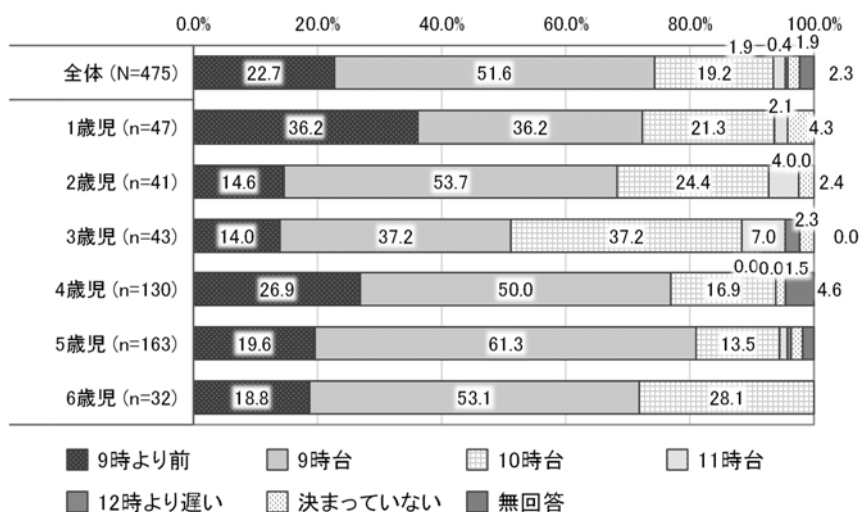
- 全体では、「1～2 時間未満」が 46.7%と最も高く、次いで、「2 時間以上」(27.4%)、「1 時間未満」(17.1%) となっている。
- 2歳児以降、使用する時間が長くなっている。



⁶⁹ 1歳以上のお子さんだけの設問。

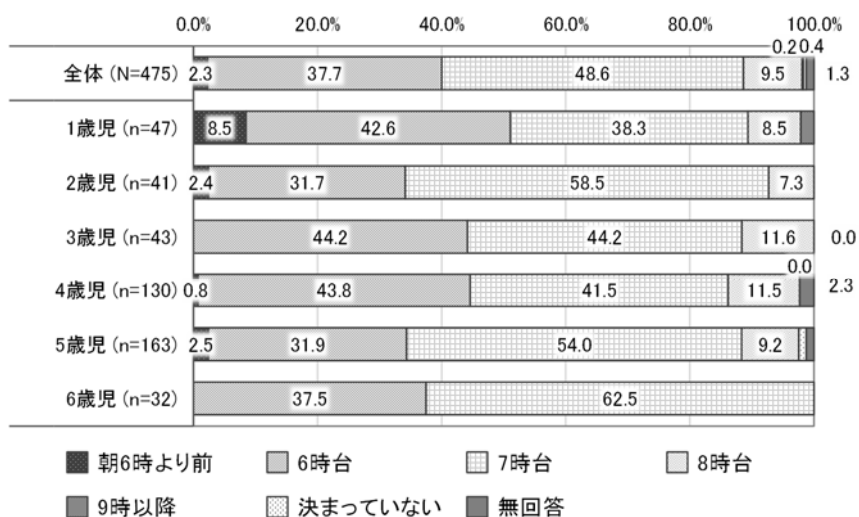
(3) お子さんは、ふだん何時ごろ寝ますか。

- 全体では、「9時台」が51.6%と最も高く、次いで、「9時より前」(22.7%)、「10時台」(19.2%)となっている。



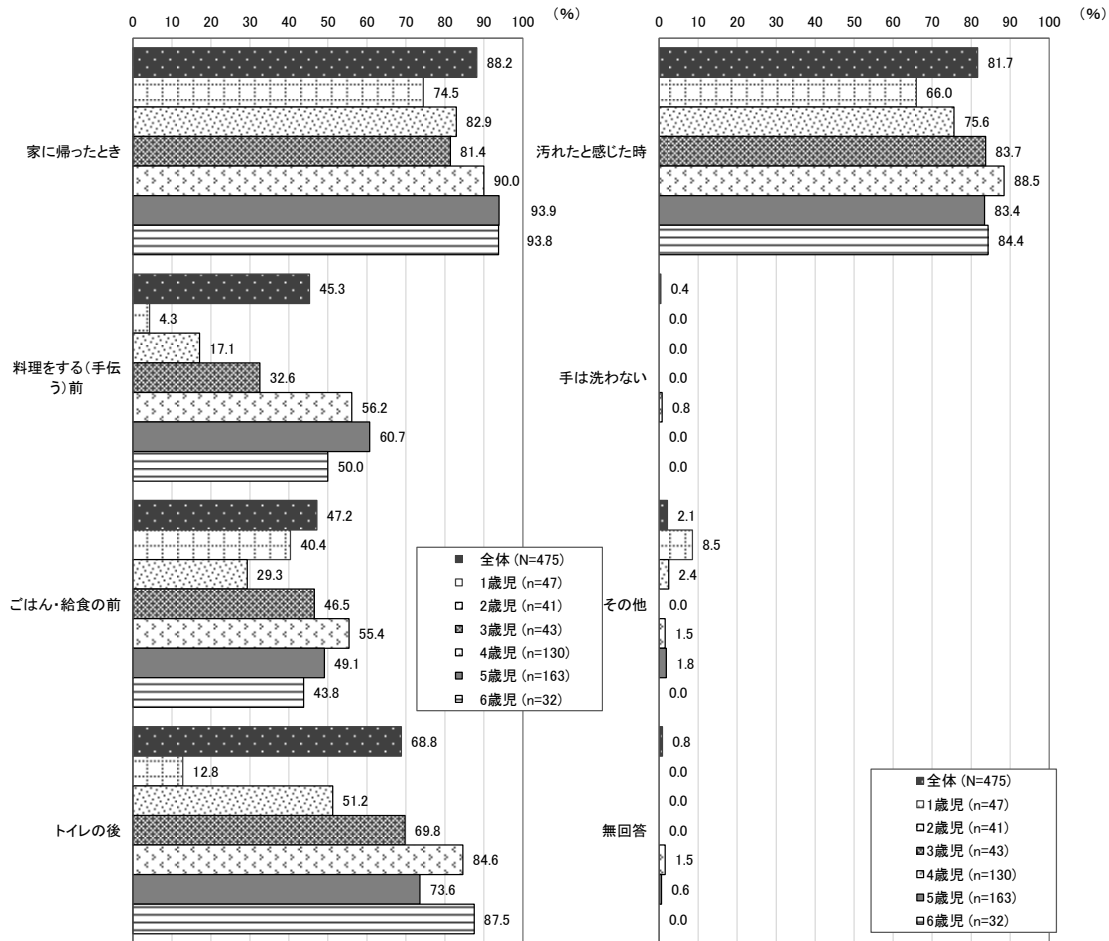
(4) お子さんは、ふだん何時ごろ起きますか。

- 全体では、「7時台」が48.6%と最も高く、次いで、「6時台」(37.7%)、「8時台」(9.5%)となっている。



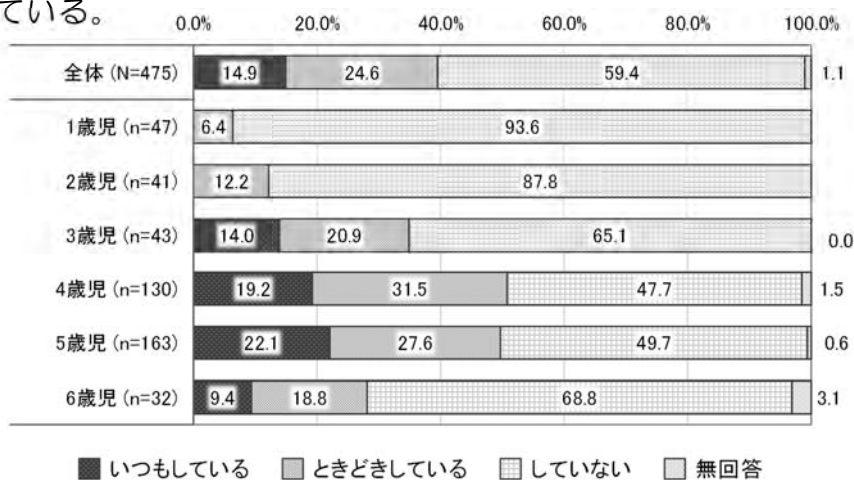
(5) お子さんは、いつ手を洗っていますか。

- ▶ 全体では、「家に帰ったとき」が88.2%と最も高く、次いで、「汚れたと感じた時」(81.7%)、「トイレの後」(68.8%)となっている。



(6) お子さんは、家に帰ってうがいをしていますか。

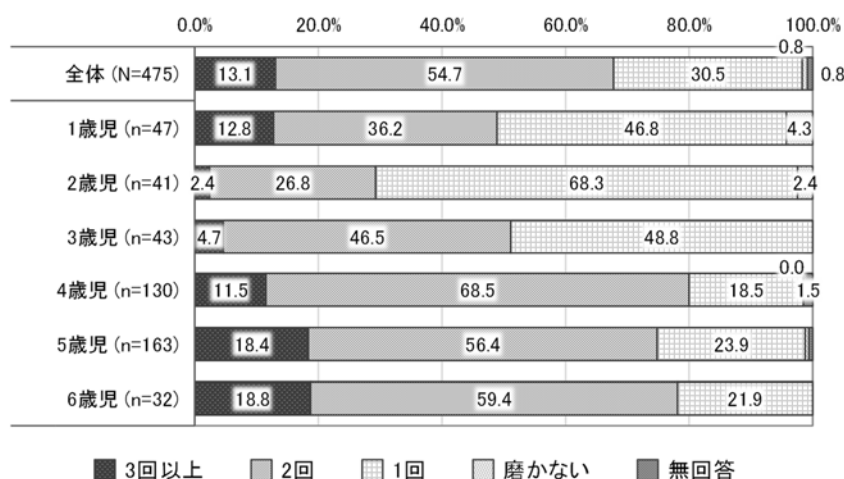
- ▶ 全体では、「していない」が59.4%と最も高い。
- ▶ 年齢別があがるにつれて、「いつもしている」「ときどきしている」割合は増えている。



6. お子さんの歯や口のことについて⁷⁰

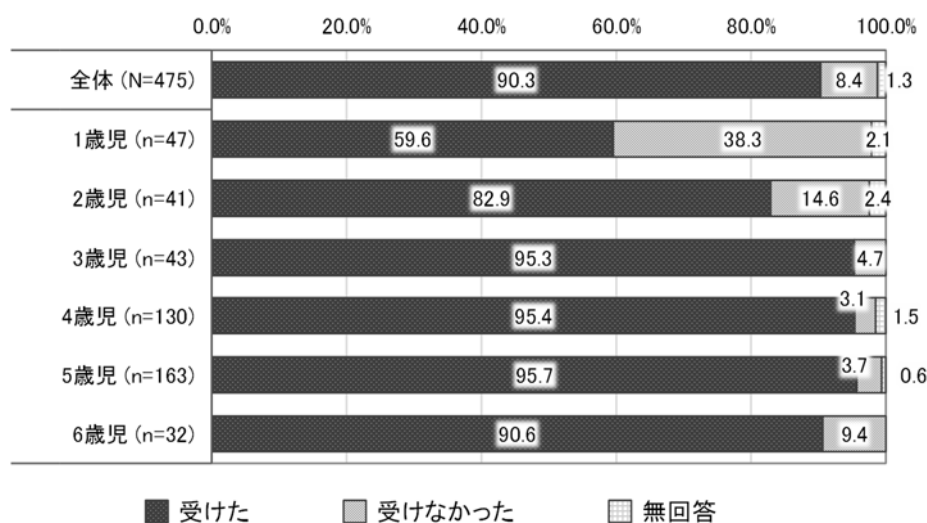
(1) お子さんは、1日の歯磨きの回数は何回ですか。

- 全体では、「2回」が54.7%と最も高く、次いで、「1回」(30.5%)、「3回以上」(13.1%)となっている。
- 年齢があがるにつれて、歯磨きの回数は増える傾向にある。



(2) お子さんは、この1年間に歯科検診を受けましたか。

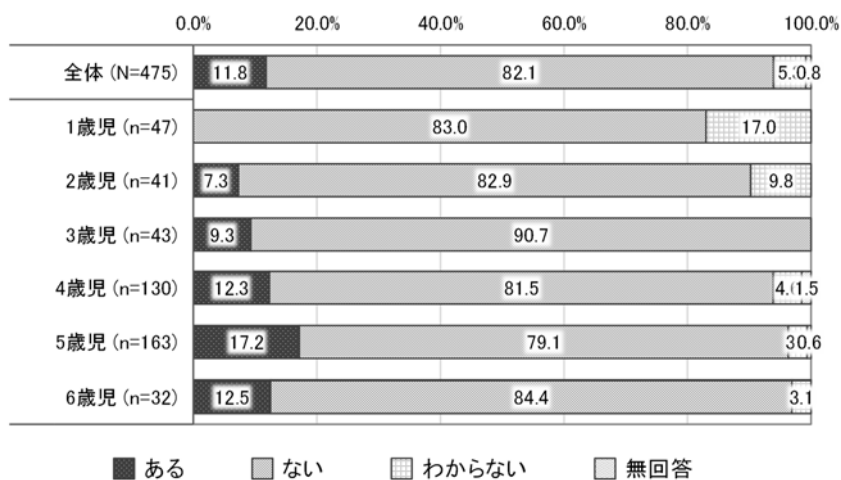
- 全体では、「受けた」が90.3%と最も高い。
- 年齢別では、2歳児以降から、「受けた」割合が高くなっている。



⁷⁰ 1歳以上のお子さんだけの設問。

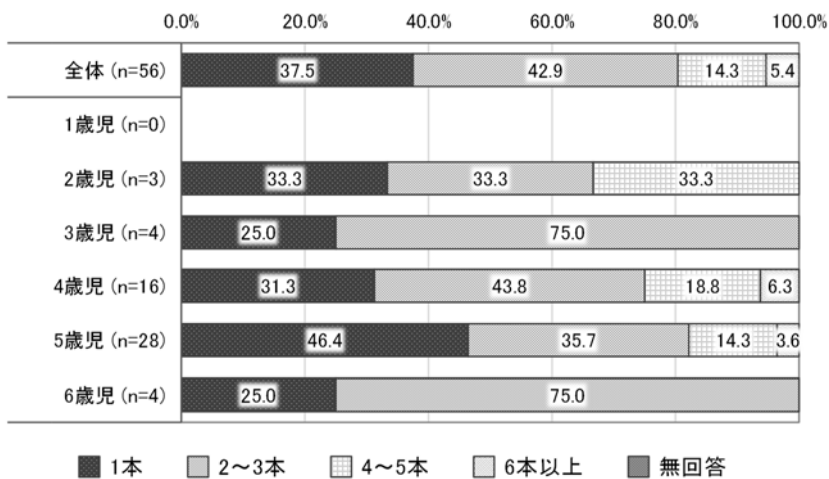
(3) お子さんは、今、治療が必要な虫歯がありますか。

- 全体では、「ない」が82.1%と最も高い。
- 1歳児は虫歯が確認されていない。



(3) -1⁷¹ むし歯は何本ありますか。

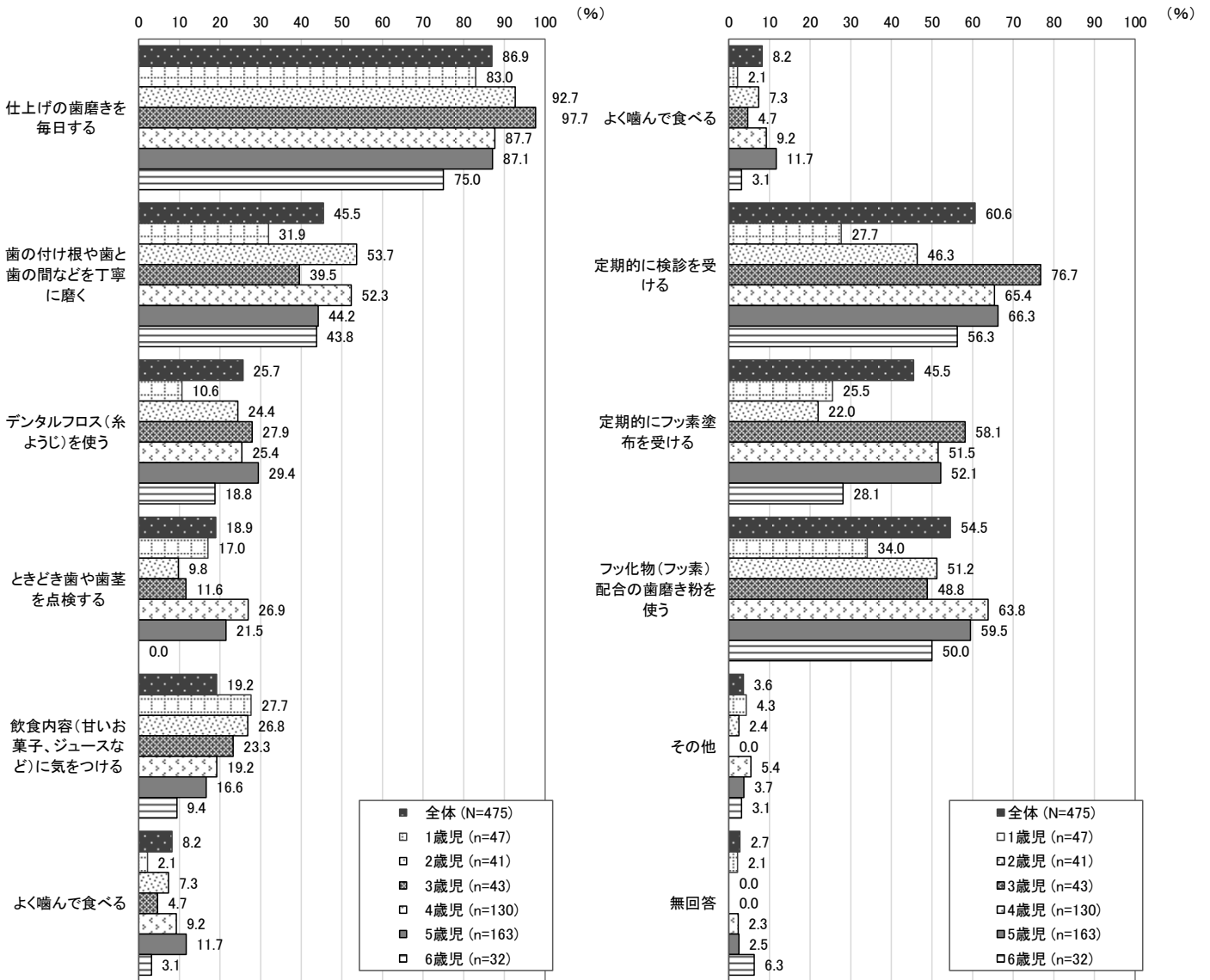
- 全体では、「2~3本」が42.9%と最も高く、次いで、「1本」(37.5%)、「4~5本」(14.3%)となっている。



⁷¹ (3) で「ある」に○をした方のみ回答。

(4) お子さんの歯の健康のために気をつけていることは何ですか。

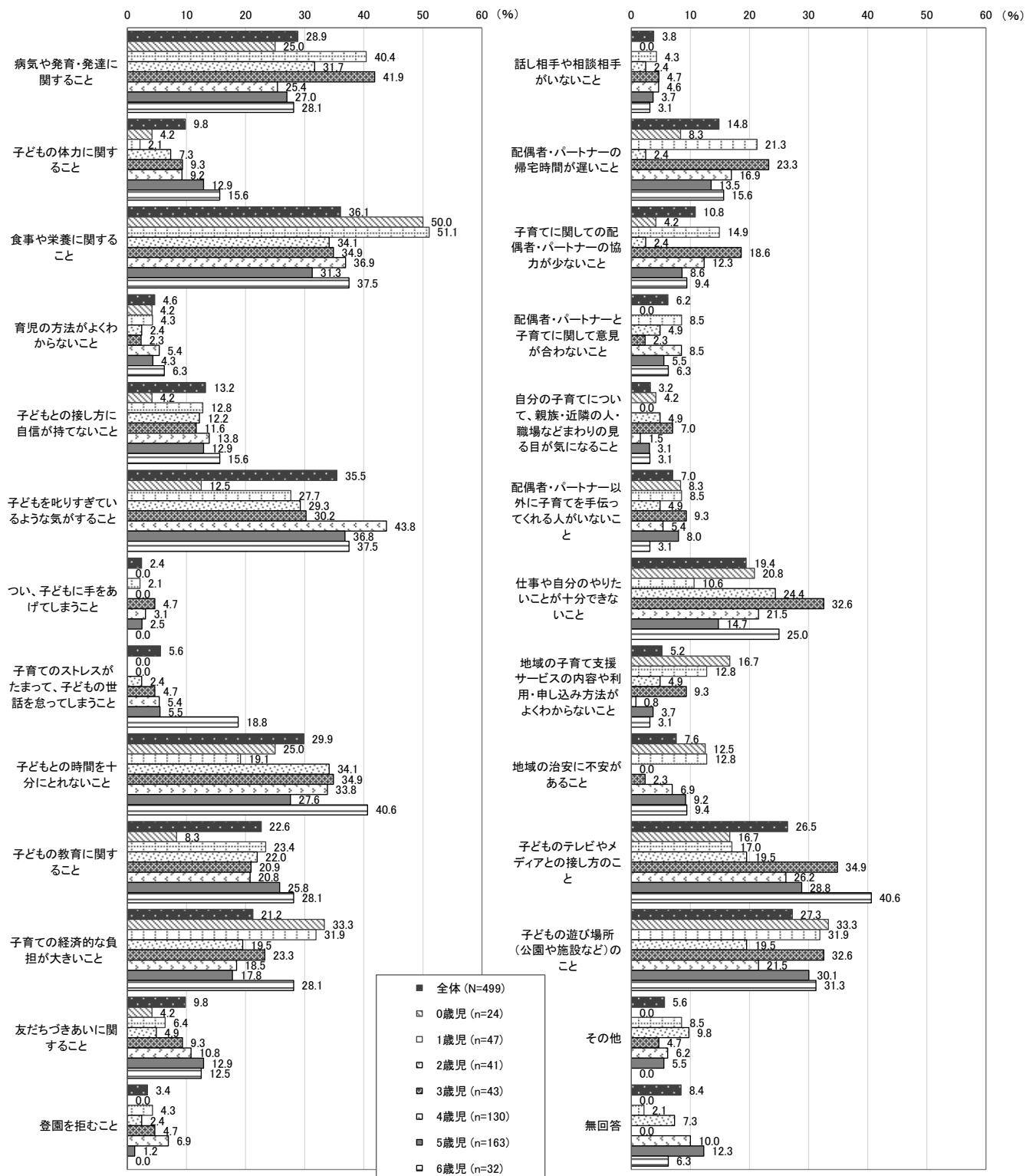
- ▶ 全体では、「仕上げの歯磨きを毎日する」が86.9%と最も高く、次いで、「定期的に検診を受ける」(60.6%)、「フッ化物(フッ素)配合の歯磨き粉を使う」(54.5%)となっている。



7. 子育てについて

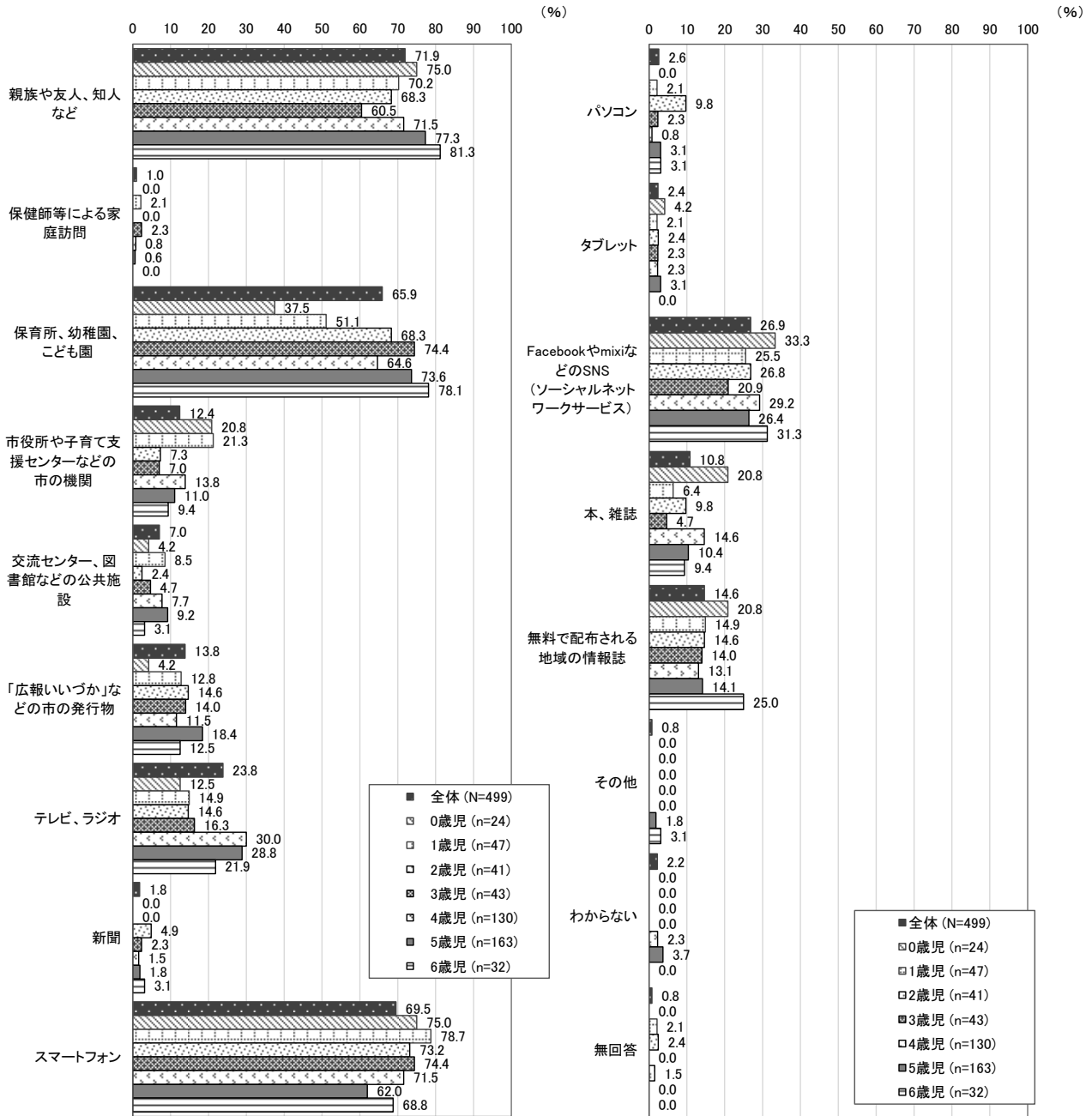
(1) 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

- ▶ 全体では、「食事や栄養に関すること」が36.1%と最も高く、次いで、「子どもを叱りすぎているような気がする」（35.5%）、「子どもとの時間を十分にとれないこと」（29.9%）となっている。



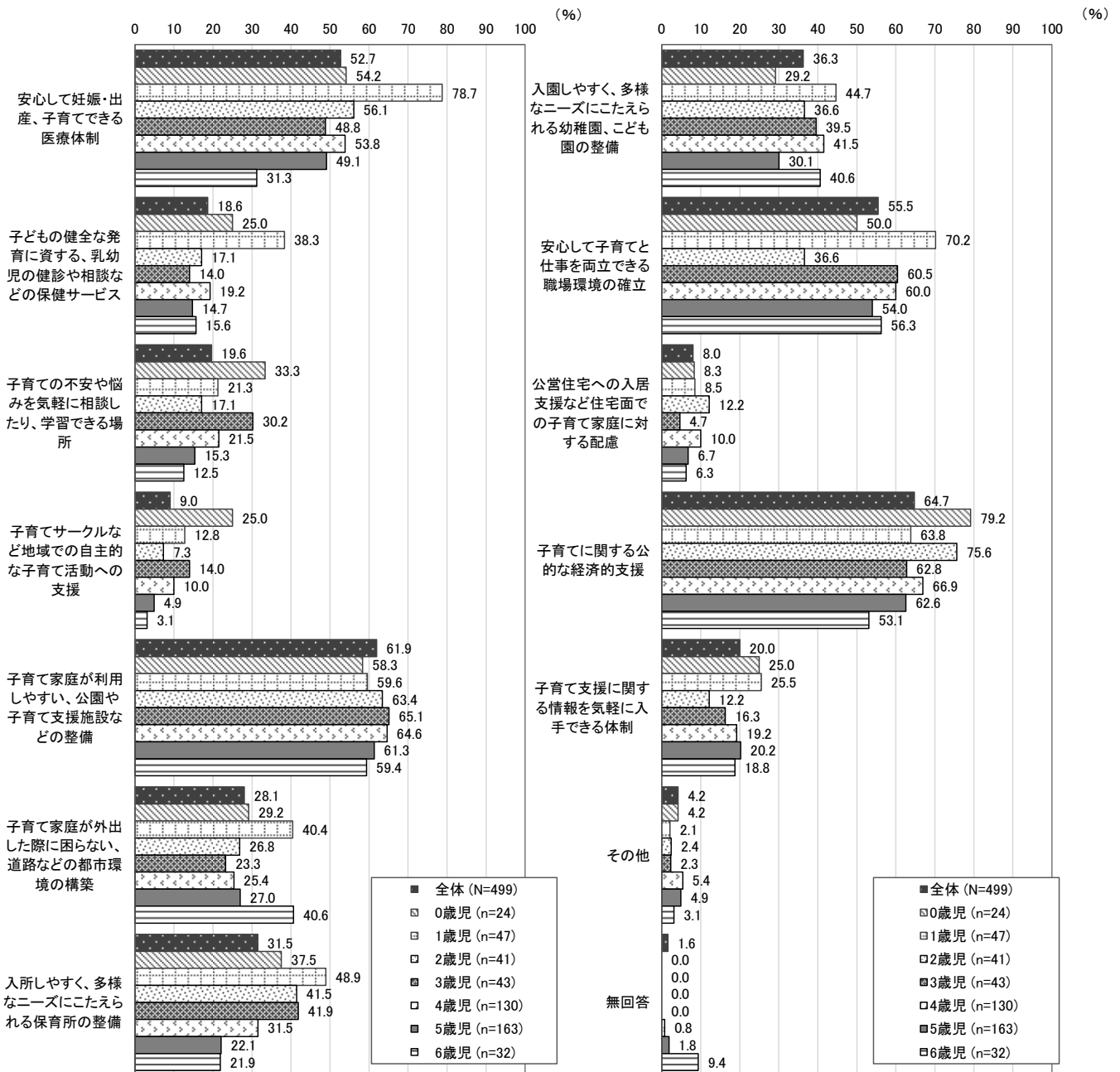
(2) 子育てに関する情報を、通常どのように入手されていますか。

- ▶ 全体では、「親族や友人、知人など」が71.9%と最も高く、次いで、「スマートフォン」(69.5%)、「保育所、幼稚園、こども園」(65.9%)となっている。



(3) 今後、子育て支援の充実に向けて、より力を入れて欲しい支援策は何ですか。

- ▶ 全体では、「子育てに関する公的な経済的支援」が64.7%と最も高く、次いで、「子育て家庭が利用しやすい、公園や子育て支援施設などの整備」(61.9%)、「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境の確立」(55.5%)となっている。



(4) あなたは、子育てが地域の人に支えられていると感じていますか。

- ▶ 全体では、「どちらかといえば感じている」が29.7%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」(29.1%)、「ほとんど感じていない」(18.0%)となっている。
- ▶ 年齢別では、0歳児、2歳児、3歳児で、「とても感じている」割合が低くなっている。

